

市内中小企業の景況について
(第 100 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので、報告致します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 23 年 9 月
- ・ 調査対象期間 平成 23 年 7 月～9 月期 (3 箇月実績) / 平成 23 年 10～12 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 389 社, 非製造業 411 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。539 社が回答 (回収率 67.4%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	251 (46.6)	非製造業	288 (53.4)
西陣	24 (4.5)	卸売	70 (13.0)
染色	34 (6.3)	小売	67 (12.4)
印刷	30 (5.6)	情報通信	29 (5.4)
窯業	19 (3.5)	飲食・宿泊	33 (6.1)
化学	23 (4.3)	サービス	44 (8.2)
金属	25 (4.6)	建設	45 (8.3)
機械	24 (4.5)	不明	0 (0.0)
その他の製造	72 (13.4)	合 計	539 (100.0)

- ▶ DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

- ▶ 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html

調査結果概要

1. 景気動向調査について

- 製造業、非製造業ともに、企業景気DIは前期と比べて改善。震災直後の自粛ムードは和らいでいるが、業種によって改善幅に差が見られ本格的な景気回復には程遠い。
- 来期の企業景気見通しDIも、製造業、非製造業ともに震災からの復興が進むにつれ、先行きの期待感などから小幅ながら上昇したが、景気回復とまでには至らず、不透明感は依然として拭えない。

(1) 今期実績 平成23年7月～9月期

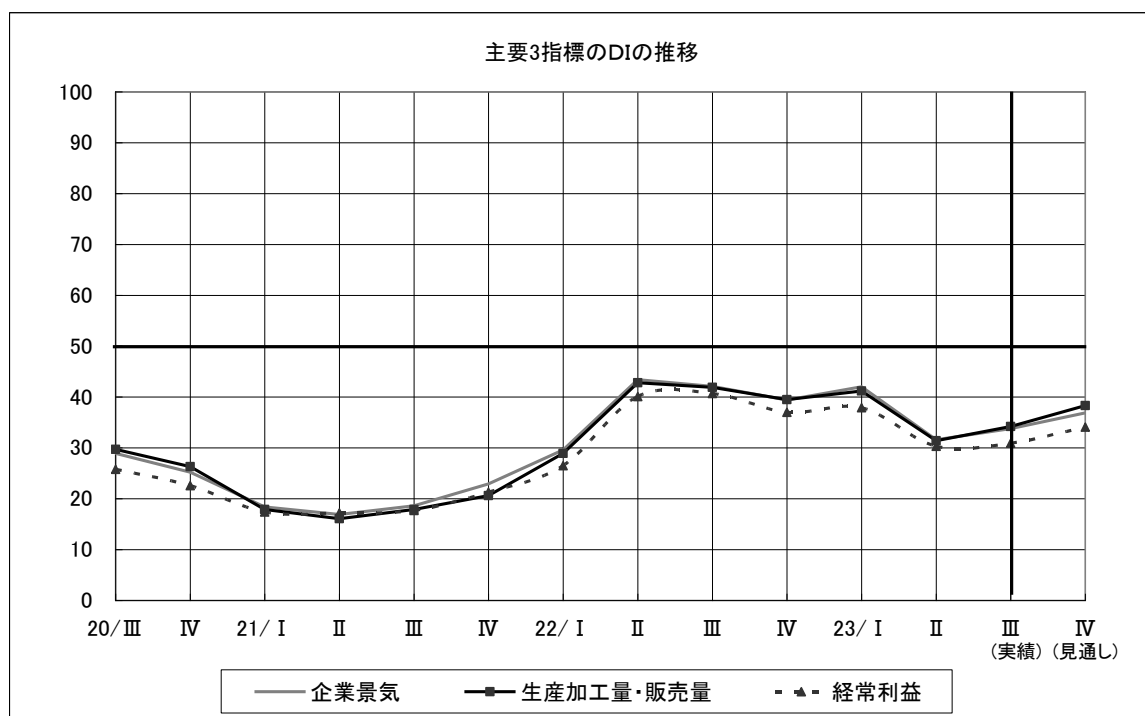
今期（平成23年7月～9月期）の全業種の主要3指標DIは、企業景気DIが33.8と前期と比較し、2.2ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、34.2で同2.8ポイント上昇、経常利益DIは、30.9で同0.6ポイントの上昇となり、主要3指標DIはいずれも上昇した。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	33.8 (△2.2)	34.2 (△2.8)	30.9 (△0.6)
(製造業)	35.9 (△0.8)	36.2 (△1.4)	32.8 (▼0.1)
(非製造業)	31.9 (△3.5)	32.3 (△4.4)	29.2 (△1.4)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



前期（平成23年4月～6月期）に平成23年3月の東日本大震災の影響から製造業、非製造業ともに、10ポイント以上低下した企業景気DIは、震災の影響が和らぐにつれ小幅ながら改善した。業種によって改善幅に差が見られ、中でも、飲食・宿泊、金属が前期と比べて10ポイント以上の上昇となった。

製造業においては、「原材料の高騰、他社との競合等により昨年より減収」（南区/印刷）、「用紙、インキ、その他資材関連の値上げ」（下京区/印刷）、「競合先との価格競争により売上利益が減少、その反面仕入価格は上昇して苦しい状況」（南区/機械）、「電子部品業界の設備投資が減少。震災により部品供給の遅れもある」（山科区

／機械)、「震災、電力問題等で得意先業界が対前年比で悪化」(右京区／化学)といった、震災の影響が続いていることや他社との競合、原材料価格の高騰、設備投資の低迷などにより機械、印刷、化学の企業景気DIが低下した。

一方、地場産業の西陣や染色については「価格を下げてまとまった販売を実施した」(上京区／西陣)、「受注面が比較的安定」(伏見区／染色)といった、低迷が続く中でも環境の変化や自助努力により企業景気DIは改善した。また、「内需は少ないが、輸出関係が増えている」(南区／金属)、「輸出向け設備の増産による受注増」(南区／金属)、「節電対策グッズとして大幅増」(下京区／その他製造)といった、海外での需要増を反映した業況回復や節電に伴う需要増、営業力の強化などにより、金属、窯業、その他製造の企業景気DIが上昇した。特に、金属は前期と比べ14.0ポイント上昇し、製造業全体の企業景気DIを押し上げた形となった。

非製造業においては、「消費者の高級物品の購入意欲の低下及び購入意識の手控え」(下京区／小売)、「競争激化に加え、一般顧客の消費反応が鈍く先行きの見通しが厳しい」(下京区／小売)、「受注の減少に加え、メーカーからの単価ダウン要請により先行きが苦しい」(山科区／情報通信)といった、消費低迷や競合激化、営業力不足などにより、小売と情報通信の企業景気DIは低下した。

一方で、「取引先が安定しており、販売が堅調で業績は好転」(伏見区／卸売)、「受注量の増加」(南区／建設)、「昨年が大変悪すぎたので、数字的には増になっている」(左京区／飲食・宿泊)、「扱っている商品がほとんど変わらず、取引筋も固定化している」(伏見区／サービス)、「同業者乱立の中、特異性を活かし現状維持から上昇へ」(中京区／卸売)といった、震災の影響が和らぐにつれ受注が回復していることや、扱い品の特殊性や安定性が奏功して業況を保っていることなどにより、飲食・宿泊、サービス、建設、卸売の4業種のDIが上昇した。特に飲食・宿泊の企業景気DIは前期と比べ17.5ポイント上昇し、非製造業全体の企業景気DIを上げた格好となった。

観光関連についても、「東日本大震災に伴う外国人観光客の減少」(上京区／卸売)、「受注量減少、同業他社との競争が厳しい」(下京区／情報通信)といった、業種によって震災の影響が長引いていることや競争の激化による受注減といったことがある一方で、「スピリチュアルやパワースポット、歴史ブームなどで社寺を拝観される方が増えた」(上京区／西陣)、「震災の影響が続くと思われたが、7月頃より少しずつ回復し増加している」(左京区／その他製造)といった震災の影響からの改善の声が聞かれ、企業景気DIは10.9ポイントと大きく上昇した。

今回の調査では、京都市内の一部の中小企業において、「震災の影響が徐々に薄れている」、「東北の各社で復旧の目処が立った」、「震災で西日本方面へ注文が移動してきた」、「震災による観光客減も落ち着き、前年並の売上になった」など、業種によっては、復興が進むにつれて震災の影響による落ち込みから回復しつつある状況や、自助努力による業績維持や持ち直しの動きも聞かれた。しかしながら、震災及び原発事故により依然として風評被害や部品調達難に見舞われているほか、原材料価格の高騰や円高、一般消費動向の停滞の影響を受けている業種も見られており、企業景気DIが小幅ながら改善されたとはいえ、本格的な景気回復には至っていない状況にある。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中4業種であり、いずれも低下した業種は3業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	28.9 (△ 7.5)	25.0 (△ 5.0)	26.3 (△ 6.3)
金属	64.0 (△ 14.0)	68.0 (△ 15.9)	62.0 (△ 9.9)
飲食・宿泊	31.8 (△ 17.5)	33.3 (△ 18.3)	28.1 (△ 14.9)
サービス	37.5 (△ 6.0)	42.9 (△ 10.6)	35.5 (△ 7.1)
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	33.3 (▼ 7.1)	33.3 (▼ 5.2)	31.7 (▼ 4.8)
機械	39.6 (▼ 10.4)	39.1 (▼ 10.9)	33.3 (▼ 9.8)
情報通信	41.4 (▼ 1.8)	40.7 (▼ 4.0)	36.2 (▼ 8.5)

注：カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。)

(2) 来期見通し 平成23年10月～12月期

来期（平成23年10月～12月期）の全業種の主要3指標見通しDIは、企業景気DIが36.9となり、今期と比較し3.1ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、38.3で同4.1ポイント上昇、経常利益DIは、34.1で同3.2ポイントの上昇となり、主要3指標全てにおいて上昇した。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	36.9 (△3.1)	38.3 (△4.1)	34.1 (△3.2)
(製造業)	38.5 (△2.6)	40.2 (△4.0)	35.0 (△2.2)
(非製造業)	35.4 (△3.5)	36.5 (△4.2)	33.2 (△4.0)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期、△は上昇を示す。）

企業景気DIの来期見通しは、製造業、非製造業ともに上昇した。

製造業では、「低価格競争に対応できず海外移転も視野に入れているが、資金等の壁が大きい」（南区／化学）、「震災の後、景気が非常に悪くなってきた」（南区／化学）、「急速に進む円高を始め、不安材料の混在」（南区／金属）、「売上高が減る一方。放射能問題の影響で豆の仕入れ単価が上昇し、豆を確保するのも大変」（下京区／その他製造）といった、震災の影響の長期化を懸念する意見や他社との競争、原材料や資金の調達難等を懸念する意見が挙げられ、化学、金属、その他の製造の企業景気見通しDIは低下した。

一方で、地場産業の西陣、染色では、「震災後ストップしていた工場等が動き出した」（中京区／染色）、「景気回復の期待感」（上京区／西陣）といった震災の復興需要による期待感もあり、企業景気DIの来期見通しは上昇した。また、「国内外の受注が少し増加し、上向き傾向」（南区／機械）、「今までの営業活動の成果が出始めている。これからも社内改革など尚一層の努力が必要」（西京区／印刷）のように、内外需ともに受注が増加していることや、独自の営業開拓の成果などから企業景気DIの来期見通しは機械、印刷で10ポイント以上の上昇が見込まれており、製造業全体では2.6ポイント上昇した。

非製造業においては、「公共事業・民間設備投資の減少」（南区／建設）、「工事材料が東北地方に優先的に廻されており、入手が難しくなっている」（下京区／建設）などにより、唯一建設の企業景気DIの来期見通しが1.9ポイント低下している。

一方で、「新刊ガイドブックの発行」（中京区／情報通信）、「食品製造部門の新設や直営店舗の新規開拓などにより、売上増につながる土台が出来つつある」（右京区／小売）、「東日本大震災の影響は今が底。寒くなってきたら徐々に回復に向かうと考えている」（右京区／飲食・宿泊）といった声のように、新規分野への進出や積極的な営業展開、震災後の復興や取り巻く環境の好転への期待感などから、建設を除くすべての業種で景況感の改善が予測されており、非製造業全体の企業景気DIの来期見通しは3.5ポイント上昇した。

なお、観光関連では、原子力発電所事故による風評被害などにより外国人客のキャンセルが相次ぎ観光客が減少していたが、各ホテルの需要喚起策の効果や国内旅行における震災に伴う自粛ムードが緩和されたことにより、客数は幾分持ち直しつつあり、企業景気DIの来期見通しは5.5ポイント上昇している。

国内経済においては、震災からの復興の進展に伴い景気回復の期待感が高まっているものの、電力不足の影響を受けやすい製造業は弱含みで推移している。また、一部の業種では被災地の復旧のための受注が見受けられるものの、依然として本格的な景気回復には至っていない。

市内中小企業においては、震災からは回復傾向という企業や、引き続き安定した顧客の確保や自社開発製品の投入など自助努力で業況を回復、維持している企業もある一方で、資材の調達難などが解消されていく中であっても、取引先の実状によっては震災の影響を未だに受けている企業も多数存在している。また、円高や原材料価格の高騰などにより厳しい競争が続いているとともに、一般消費動向についても本格的に回復していないことから、依然として、景気の先行きは不透明な状況である。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は9業種、いずれも低下と予測している業種は1業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
西陣	28.3	(△ 7.4)	34.1	(△ 1.5)	18.2	(△ 7.3)
染色	25.0	(△ 2.9)	28.8	(△ 6.1)	23.5	(△ 4.4)
印刷	43.3	(△ 10.0)	41.7	(△ 8.3)	40.0	(△ 8.3)
窯業	36.1	(△ 7.2)	32.4	(△ 7.4)	33.3	(△ 7.0)
機械	50.0	(△ 10.4)	50.0	(△ 10.9)	45.8	(△ 12.5)
卸売	31.2	(△ 1.9)	33.3	(△ 5.3)	28.7	(△ 1.9)
小売	32.6	(△ 6.5)	30.8	(△ 3.1)	31.1	(△ 3.8)
情報通信	51.8	(△ 10.4)	51.9	(△ 11.2)	48.2	(△ 12.0)
飲食・宿泊	37.5	(△ 5.7)	41.7	(△ 8.3)	34.4	(△ 6.3)

<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
化学	37.0	(▼ 4.3)	39.1	(▼ 2.2)	28.3	(▼ 6.5)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	31.6	33.8	36.9	31.4	34.2	38.3	30.3	30.9	34.1
製造業	35.1	35.9	38.5	34.8	36.2	40.2	32.9	32.8	35.0
非製造業	28.4	31.9	35.4	27.9	32.3	36.5	27.8	29.2	33.2

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	35.1	35.9	38.5	34.8	36.2	40.2	32.9	32.8	35.0
西陣	18.2	20.8	28.3	21.4	32.6	34.1	15.9	10.9	18.2
染色	17.1	22.1	25.0	16.2	22.7	28.8	19.1	19.1	23.5
印刷	40.4	33.3	43.3	38.5	33.3	41.7	36.5	31.7	40.0
窯業	21.4	28.9	36.1	20.0	25.0	32.4	20.0	26.3	33.3
化学	42.9	41.3	37.0	38.1	41.3	39.1	42.9	34.8	28.3
金属	50.0	64.0	62.5	52.1	68.0	68.8	52.1	62.0	60.4
機械	50.0	39.6	50.0	50.0	39.1	50.0	43.1	33.3	45.8
その他の製造	36.5	37.5	35.4	36.5	34.0	36.1	32.4	37.5	34.0
非製造業	28.4	31.9	35.4	27.9	32.3	36.5	27.8	29.2	33.2
卸売	27.5	29.3	31.2	26.3	28.0	33.3	29.2	26.8	28.7
小売	27.0	26.1	32.6	24.6	27.7	30.8	27.5	27.3	31.1
情報通信	43.2	41.4	51.8	44.7	40.7	51.9	44.7	36.2	48.2
飲食・宿泊	14.3	31.8	37.5	15.0	33.3	41.7	13.2	28.1	34.4
サービス	31.5	37.5	38.4	32.3	42.9	40.7	28.4	35.5	37.8
建設	31.9	33.3	31.4	33.0	32.9	33.8	29.8	26.7	28.8

観光関連企業	19.3	30.2	35.7	20.0	30.0	33.3	19.8	26.8	30.0
--------	------	-------------	------	------	-------------	------	------	-------------	------

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	15.5	21.8	16.7

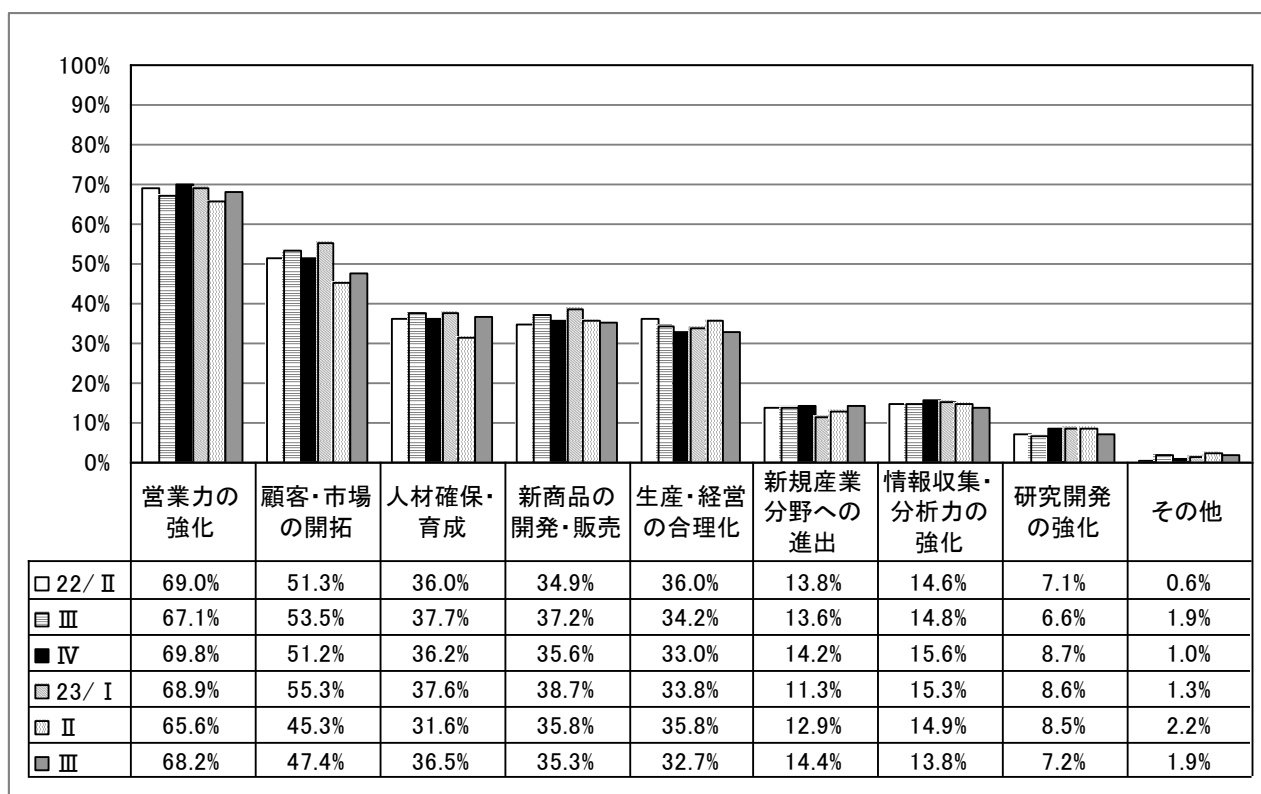
2. 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」を挙げる企業が68.2%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の68.2%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が47.4%で続き、以下「人材確保・育成」36.5%、「新商品の開発・販売」35.3%、「生産・経営の合理化」が32.7%の順となっている。

回答数上位5項目について前期と比較すると、「人材確保・育成」が4.9%上昇と最も伸びており、次いで「営業力の強化」が2.6%、「顧客・市場の開拓」が2.1%とそれぞれ上昇している。「生産・経営の合理化」は3期連続で上昇していたが今期は3.1%低下し、「新商品の開発・販売」も0.5%低下と僅かながら減少した。

その他の意見としては、「サービスのレベルアップ」（中京区／サービス）、「サービスの向上」（中京区／飲食・宿泊）といった、他社との差別化を図って業績向上を目指すといった前向きな意見や、「人員削減」（下京区／卸売）といった厳しい意見があった。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

3. 経営上の不安要素について

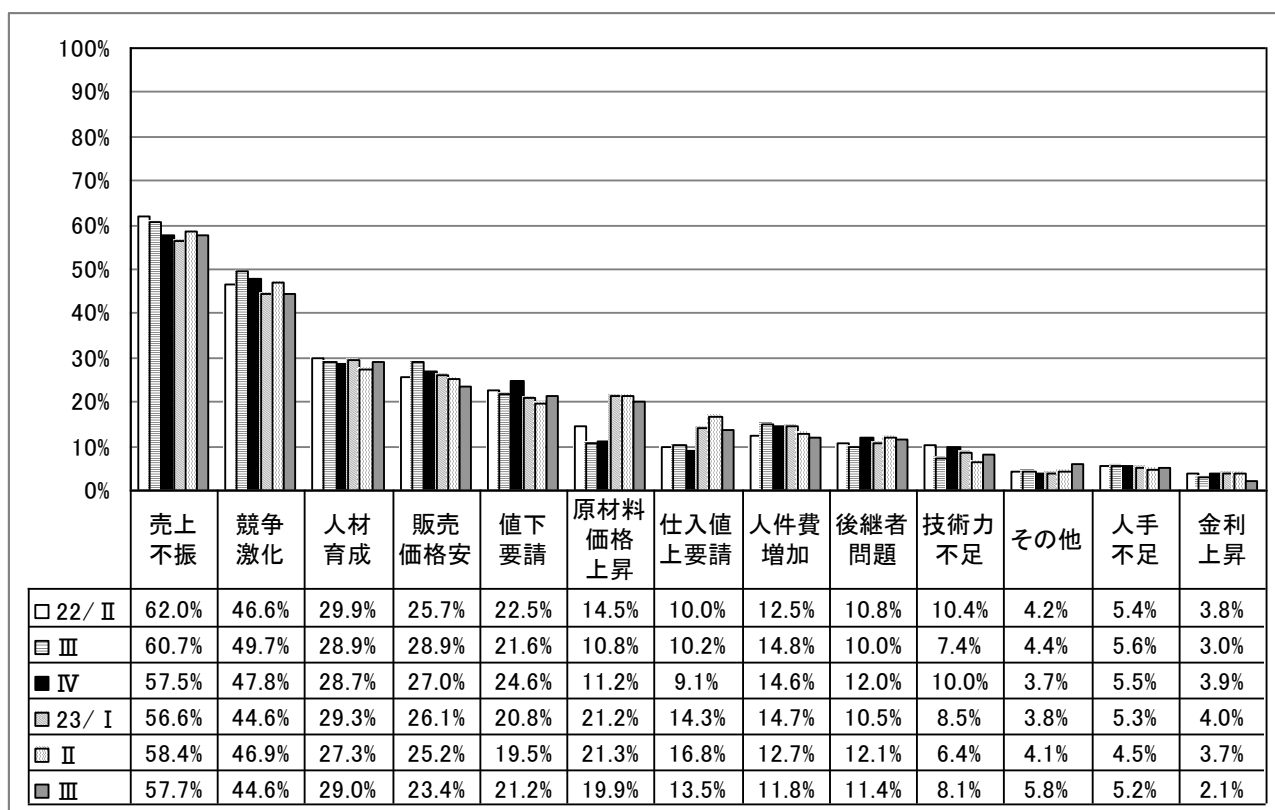
- 「売上不振」を挙げる企業が57.7%で依然トップ。
- 「人材育成」, 「値下要請」, 「技術力不足」, 「その他」の4項目が前期比で1.7%増加。
- その他の意見として8社が「円高・為替」の不安要素を抱える。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が57.7%を占めており、引き続き2位の「競争激化」44.6%を引き離して最も多くなっている。以下、「人材育成」29.0%、「販売価格安」23.4%、「値下要請」21.2%、「原材料価格上昇」19.9%の順となっている。

前期と比較すると、上位5項目では、「人材育成」、「値下要請」がそれぞれ1.7%増加し、「競争激化」が2.3%低下、「販売価格安」が1.8%低下している。

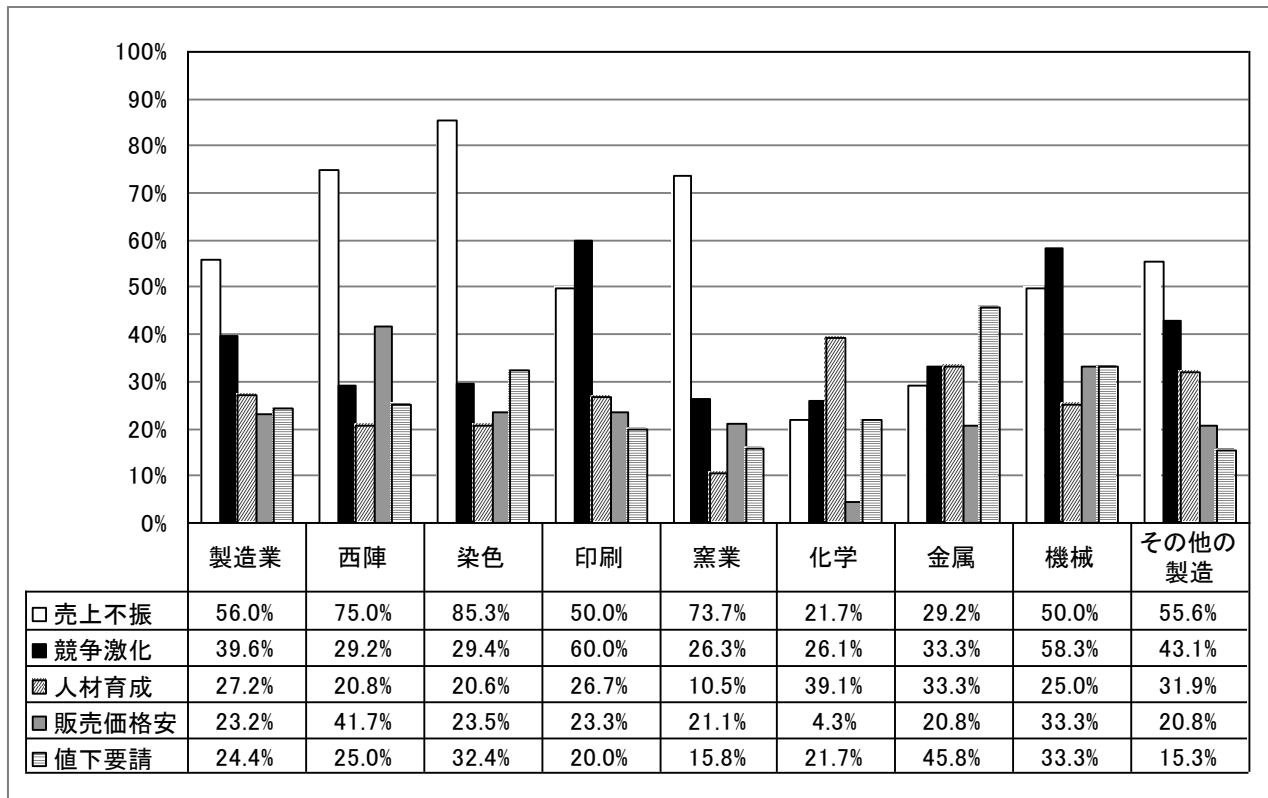
業種別では前期に続いて「売上不振」を挙げる業種が最も多く、印刷、機械、サービス、建設では、「競争激化」が「売上不振」を上回った。また化学は「人材育成」と「原材料価格上昇」が同率で最も高く、金属では「値下要請」が最も高い結果となった。

「その他」の意見の中では、「円高・為替」が化学を中心に8社あったほか、「放射能汚染問題の広がり」（中京区/卸売）、「セシウムによる風評被害」（下京区/卸売）といった震災絡みの影響被害を不安とする企業、加工賃の低迷、請負金額が安いなどといった損益面での不安、資金繰りや資金調達を不安とする企業があった。

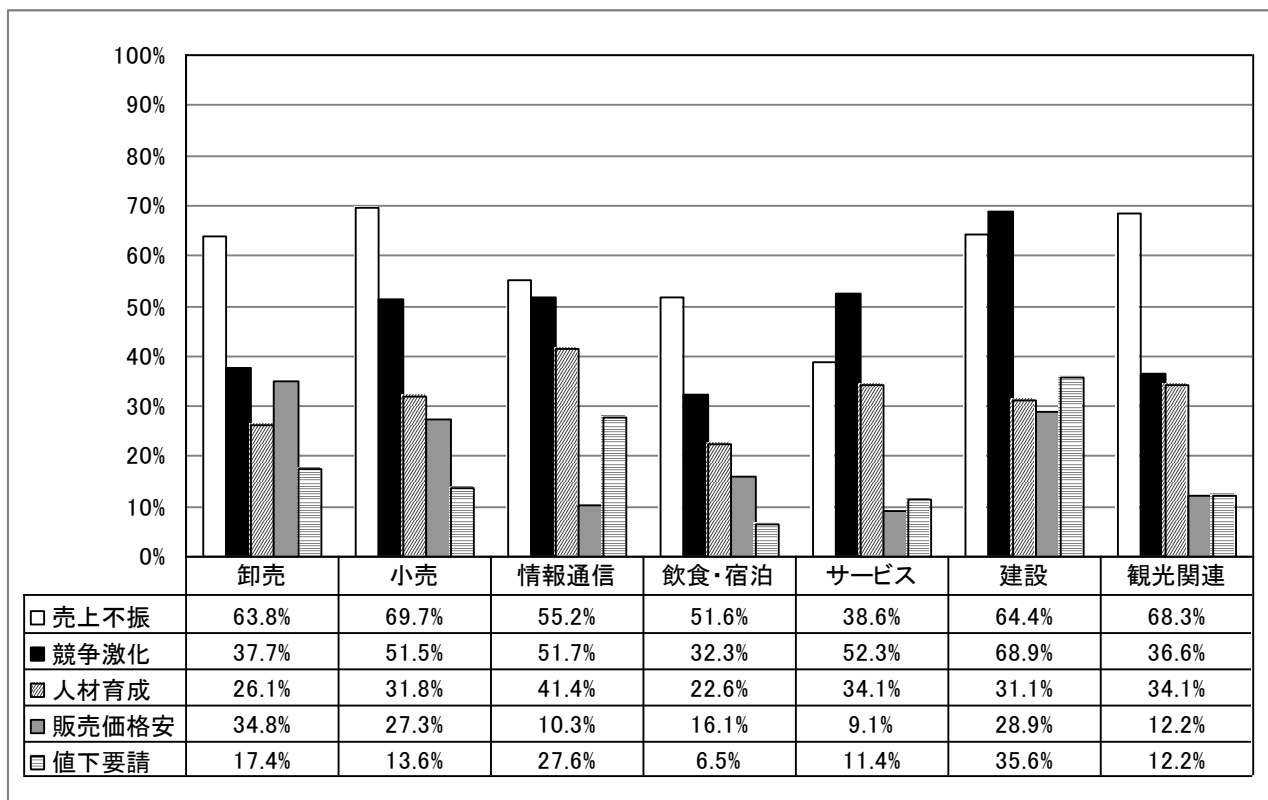


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

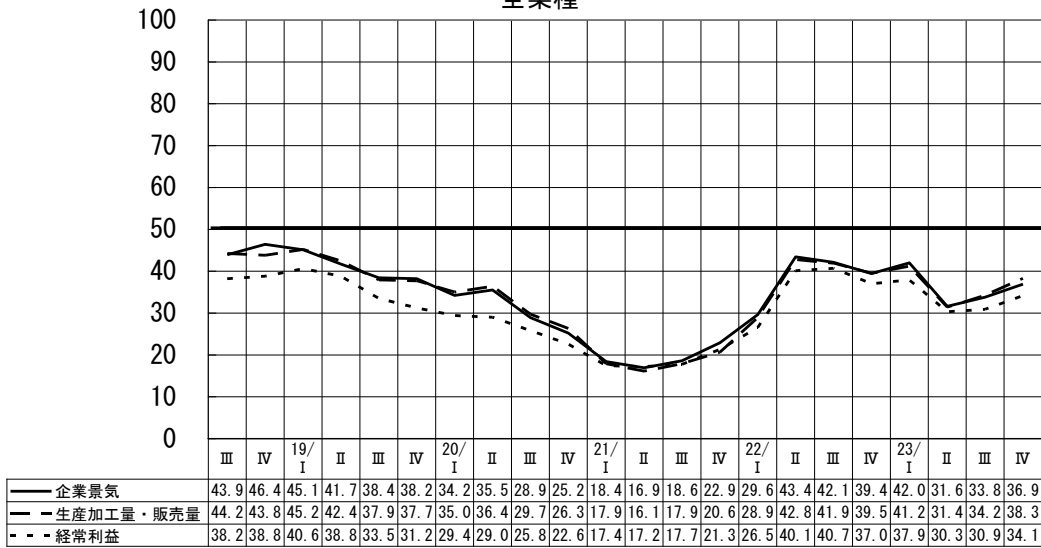


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



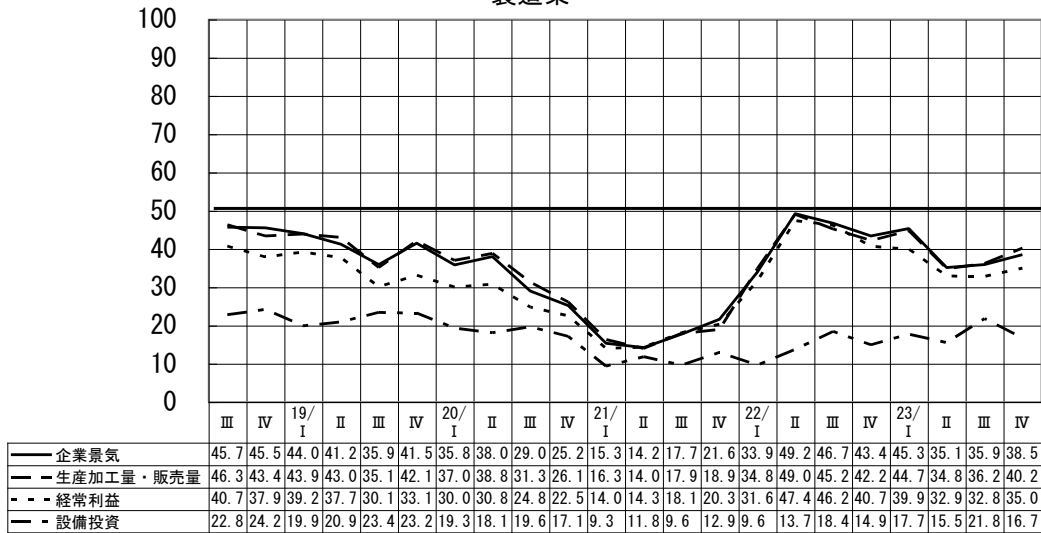
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



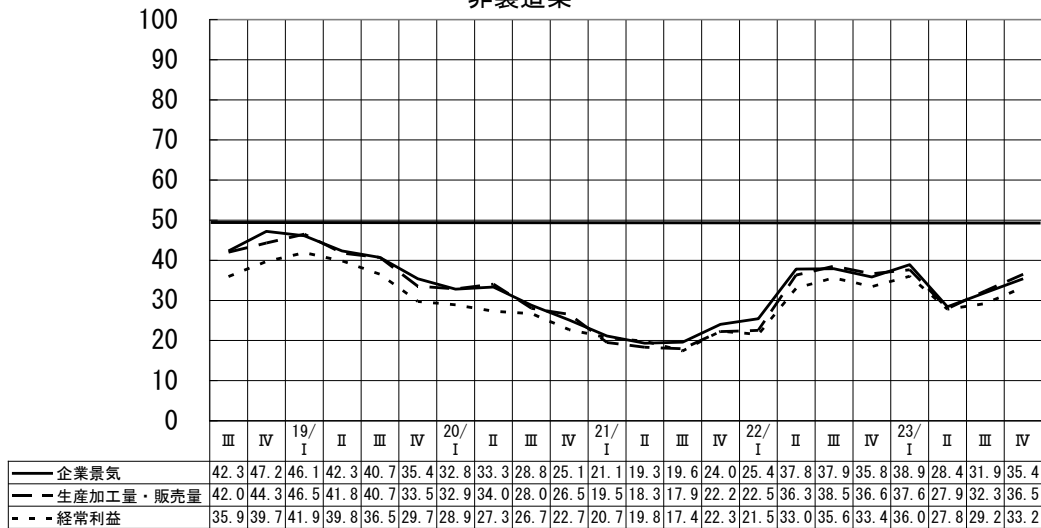
(見通し)

製造業



(見通し)

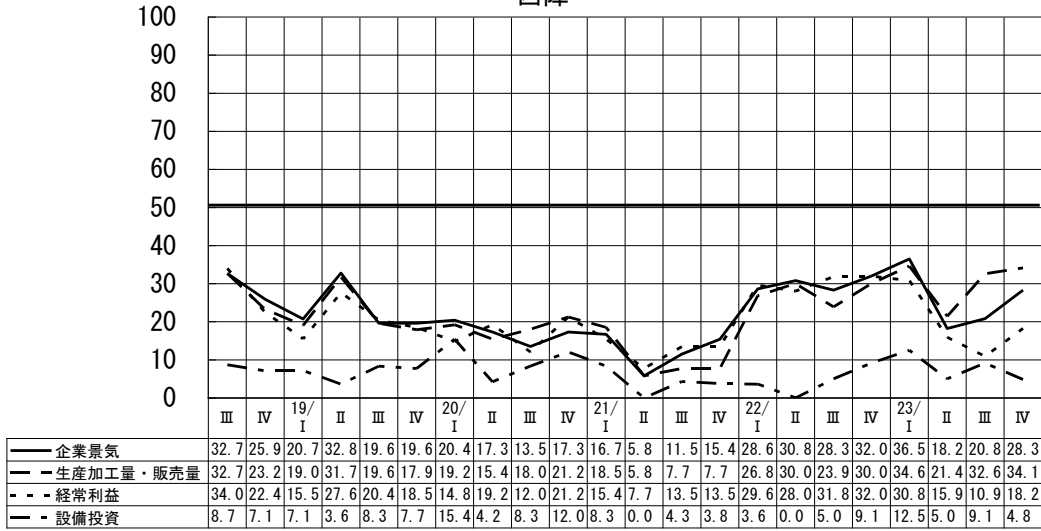
非製造業



(見通し)

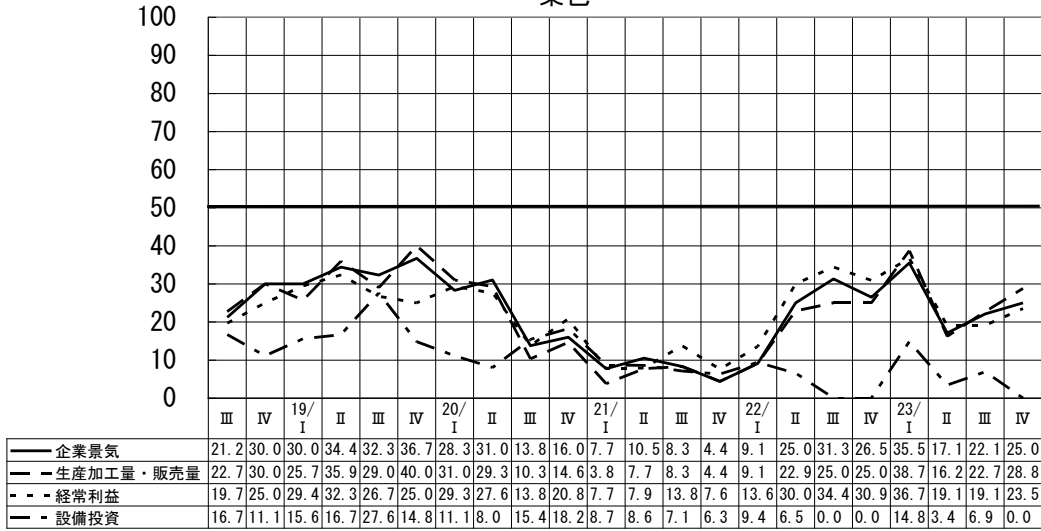
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



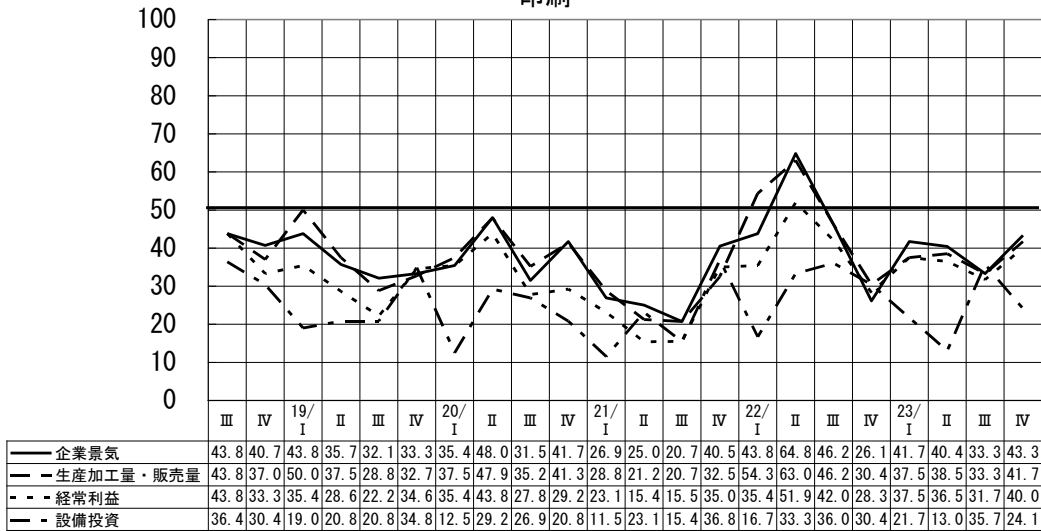
(見通し)

染色



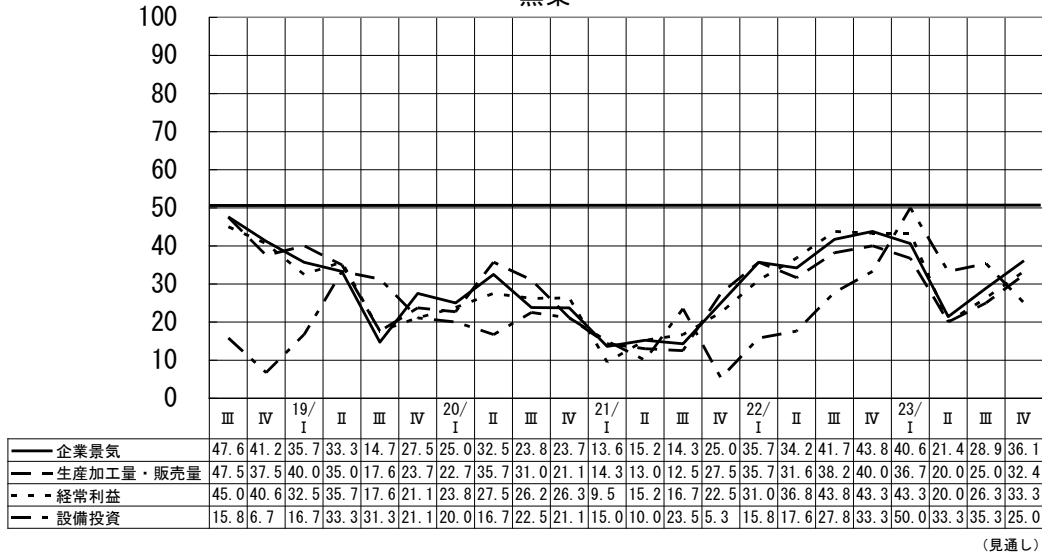
(見通し)

印刷

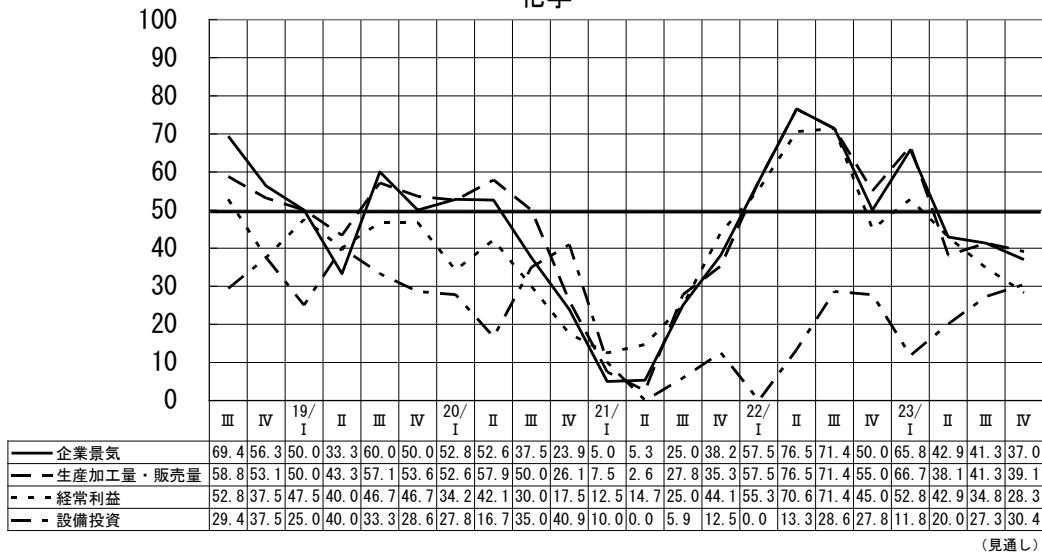


(見通し)

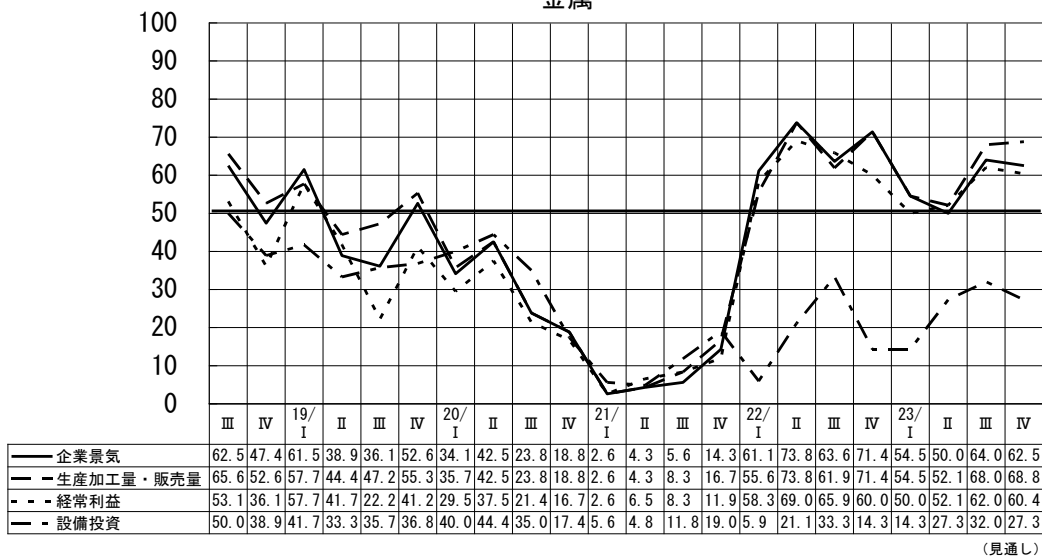
窯業



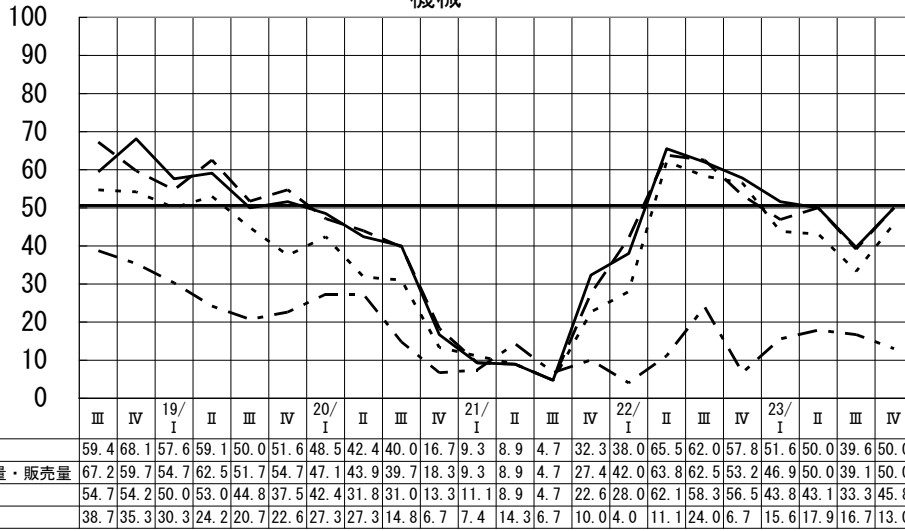
化学



金属

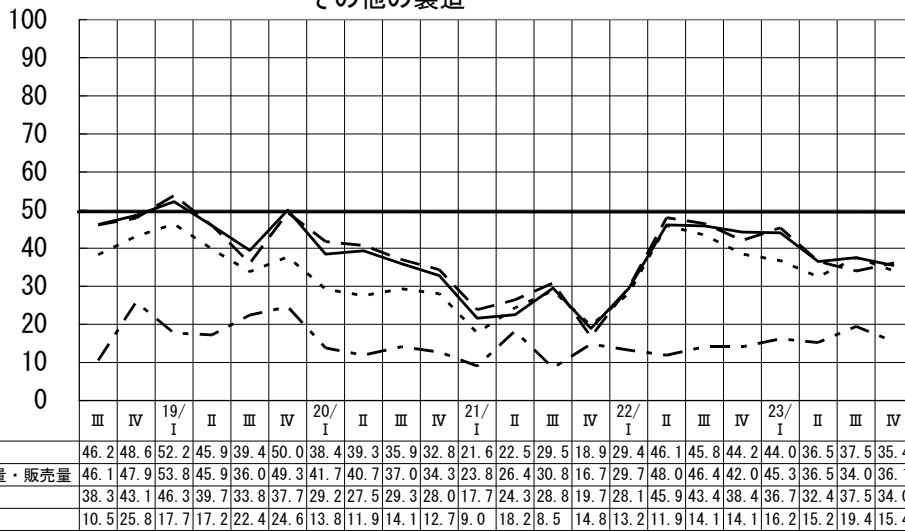


機械



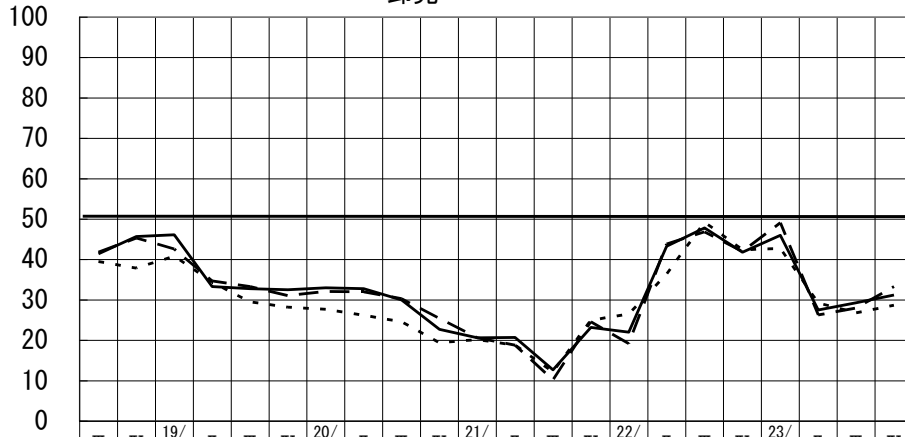
(見通し)

その他の製造



(見通し)

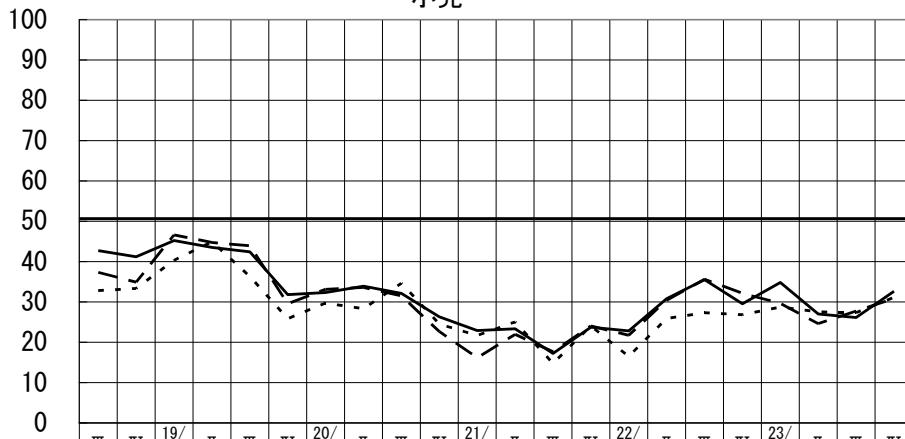
卸売



	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV
— 企業景气	41.4	45.7	46.1	33.3	32.8	32.5	33.0	32.8	30.0	22.7	20.6	20.7	12.7	23.2	22.0	43.3	47.8	41.8	46.0	27.5	29.3	31.2
- - 生産加工量・販売量	41.8	45.3	42.6	34.7	33.3	31.1	32.1	32.0	30.3	25.4	20.6	18.8	10.2	24.6	19.2	43.8	46.8	42.0	49.1	26.3	28.0	33.3
- - 経常利益	39.5	37.9	40.8	34.4	29.5	28.2	27.7	26.2	24.6	19.4	20.2	18.8	12.1	25.0	26.5	36.4	49.2	42.4	42.7	29.2	26.8	28.7

(見通し)

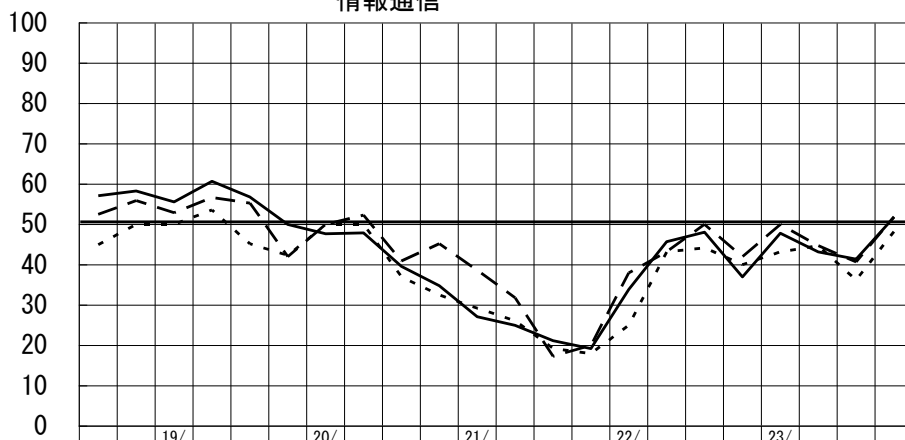
小売



	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV
— 企業景气	42.7	41.2	45.2	43.5	42.4	31.8	32.3	33.9	32.1	26.3	22.9	23.3	17.2	23.7	22.8	30.8	35.5	29.5	34.8	27.0	26.1	32.6
- - 生産加工量・販売量	37.3	34.9	46.6	44.7	43.9	29.5	33.1	33.6	31.5	22.6	16.1	21.9	17.6	24.0	21.7	30.4	35.6	32.1	29.6	24.6	27.7	30.8
- - 経常利益	32.8	33.3	40.3	44.9	36.3	25.8	29.7	28.3	34.6	24.5	21.6	25.0	14.7	24.0	16.4	25.9	27.3	26.8	28.7	27.5	27.3	31.1

(見通し)

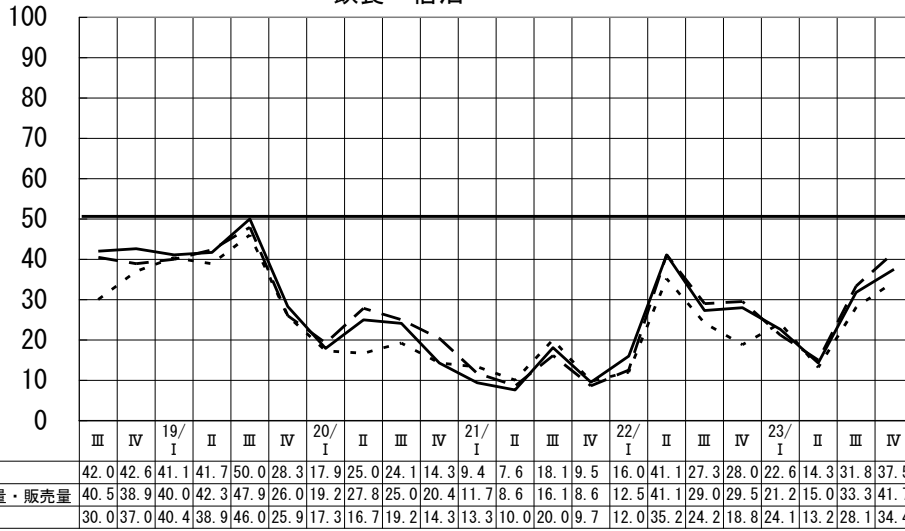
情報通信



	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV
— 企業景气	57.1	58.3	55.6	60.7	56.8	50.0	47.7	47.9	39.6	34.8	27.1	25.0	21.2	19.2	33.9	45.7	48.1	37.0	47.8	43.2	41.4	51.8
- - 生産加工量・販売量	52.5	55.9	52.9	56.7	55.3	42.0	50.0	52.3	40.9	45.2	38.6	31.8	17.3	20.0	38.0	43.2	50.0	42.0	50.0	44.7	40.7	51.9
- - 経常利益	45.0	50.0	50.0	53.6	45.2	42.3	50.0	50.0	37.0	32.5	29.2	26.1	19.2	18.0	25.0	43.2	44.2	40.0	43.2	44.7	36.2	48.2

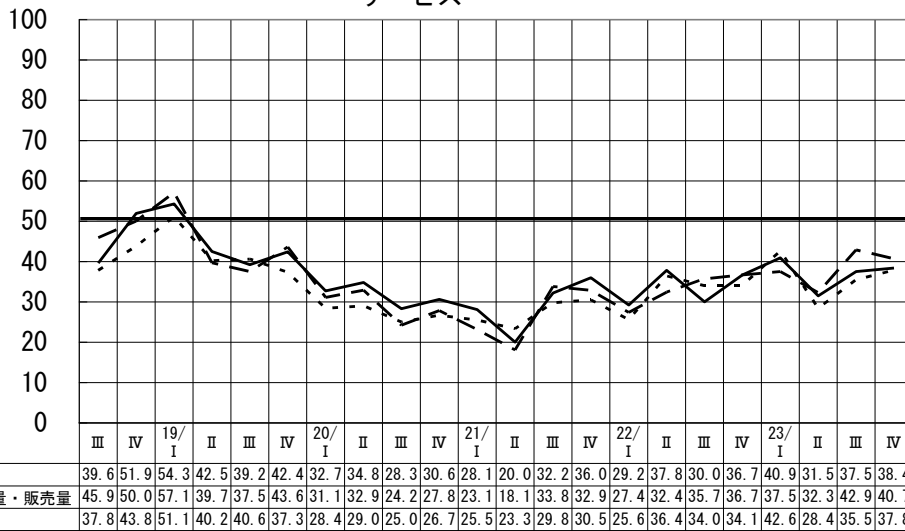
(見通し)

飲食・宿泊



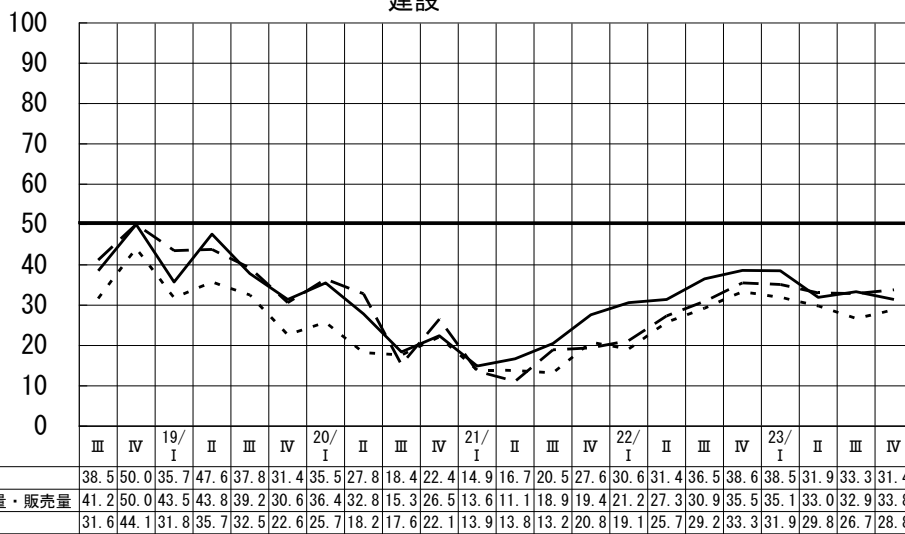
(見通し)

サービス



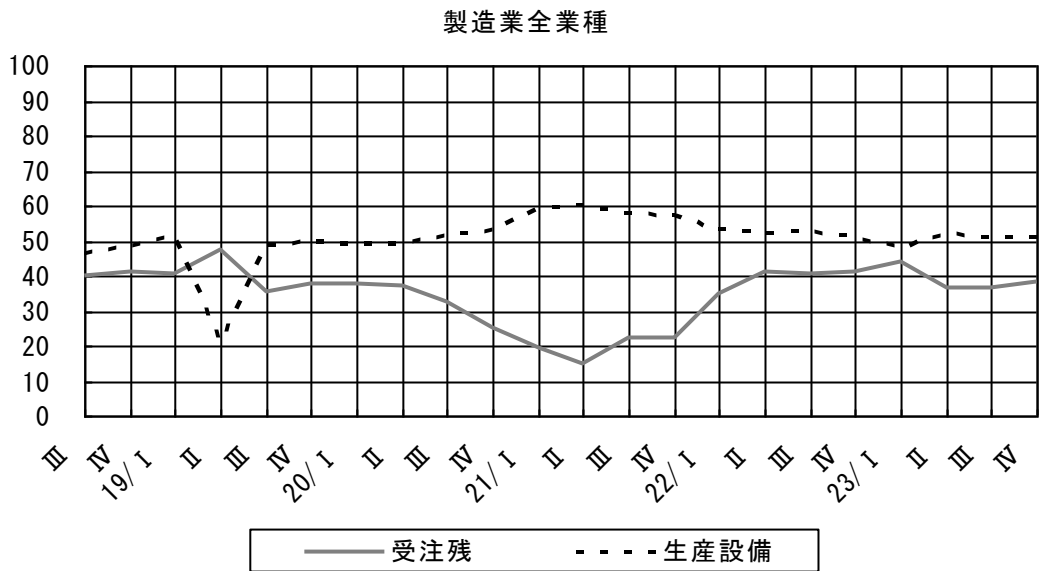
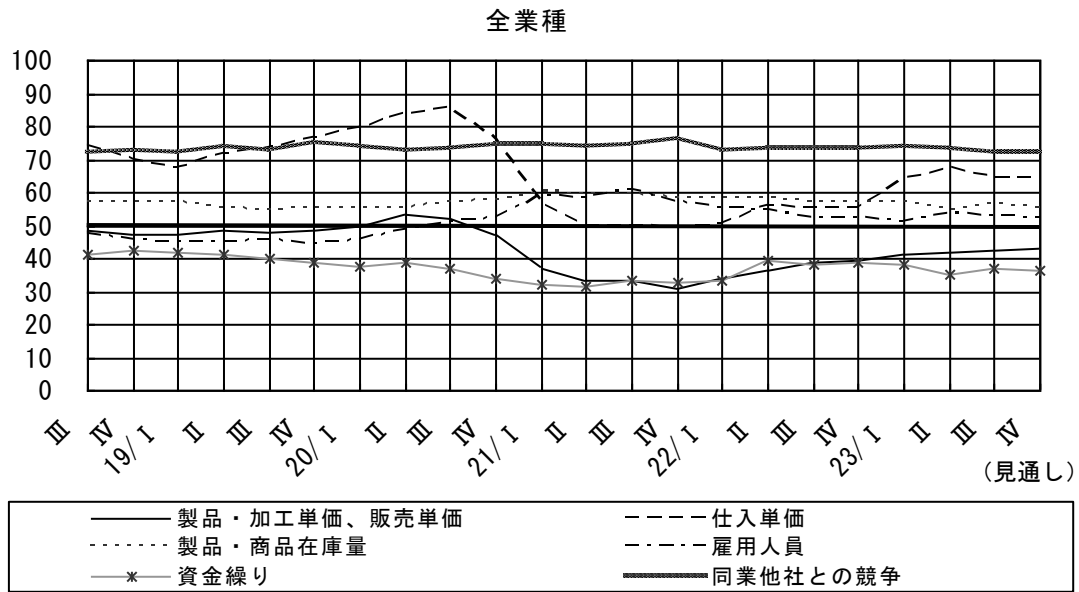
(見通し)

建設

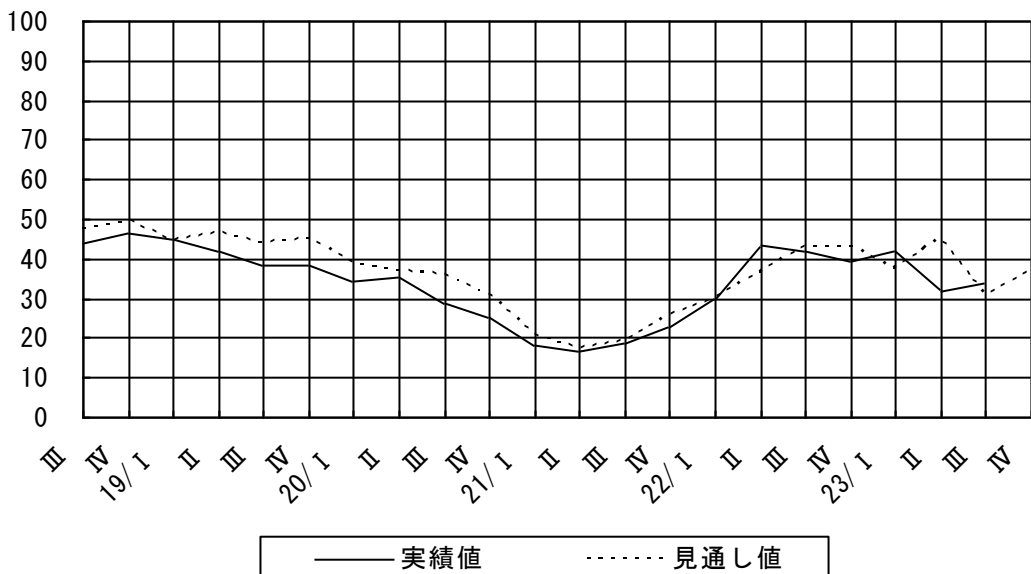


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
企業景気.....	17
生産加工量・販売量.....	19
経常利益.....	21
製品・加工単価, 販売単価.....	23
仕入単価.....	25
製品・商品在庫量.....	27
雇用人員.....	29
資金繰り.....	31
同業他社との競争.....	33
受注残.....	35
生産設備.....	36
設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	57

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

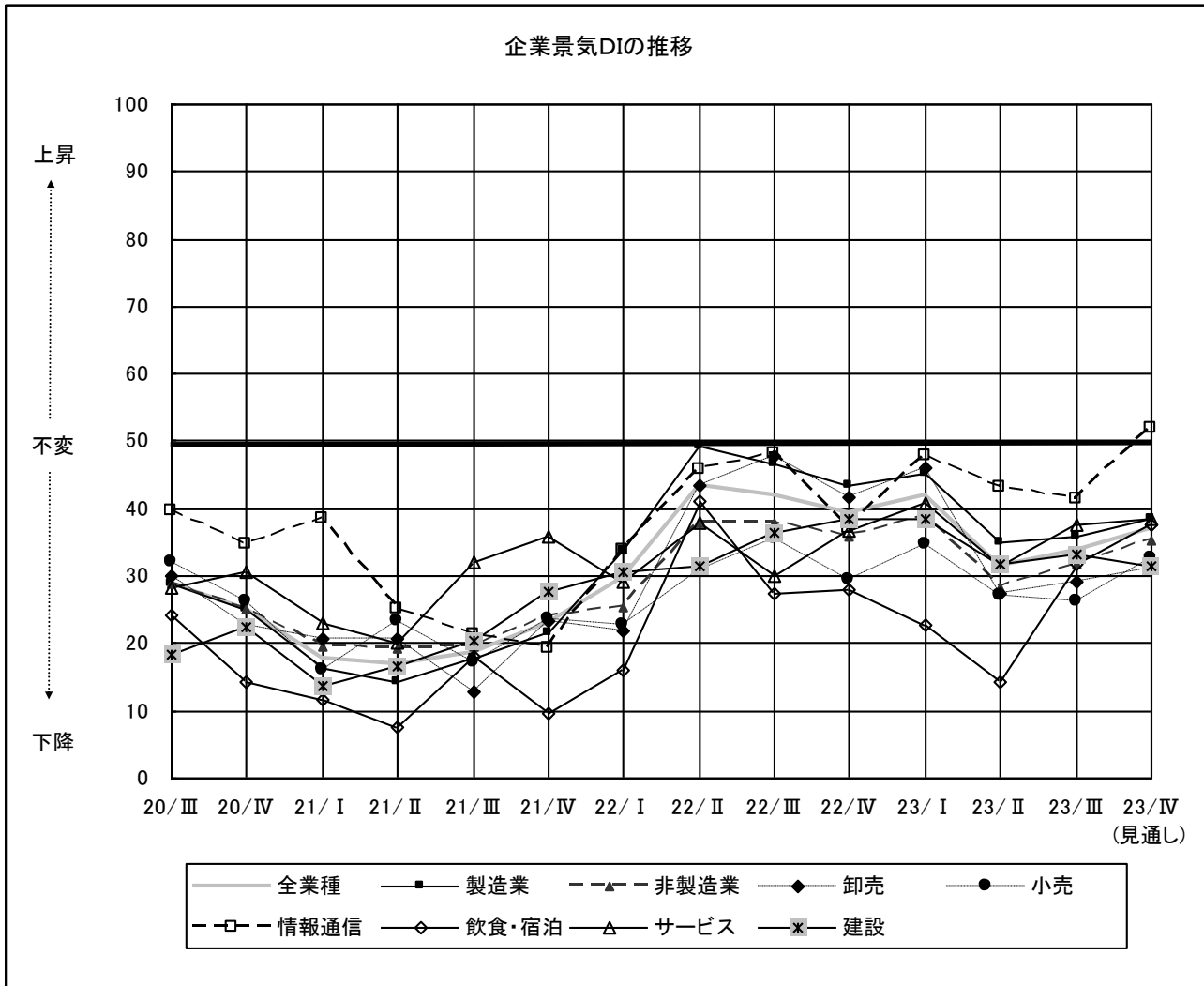


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

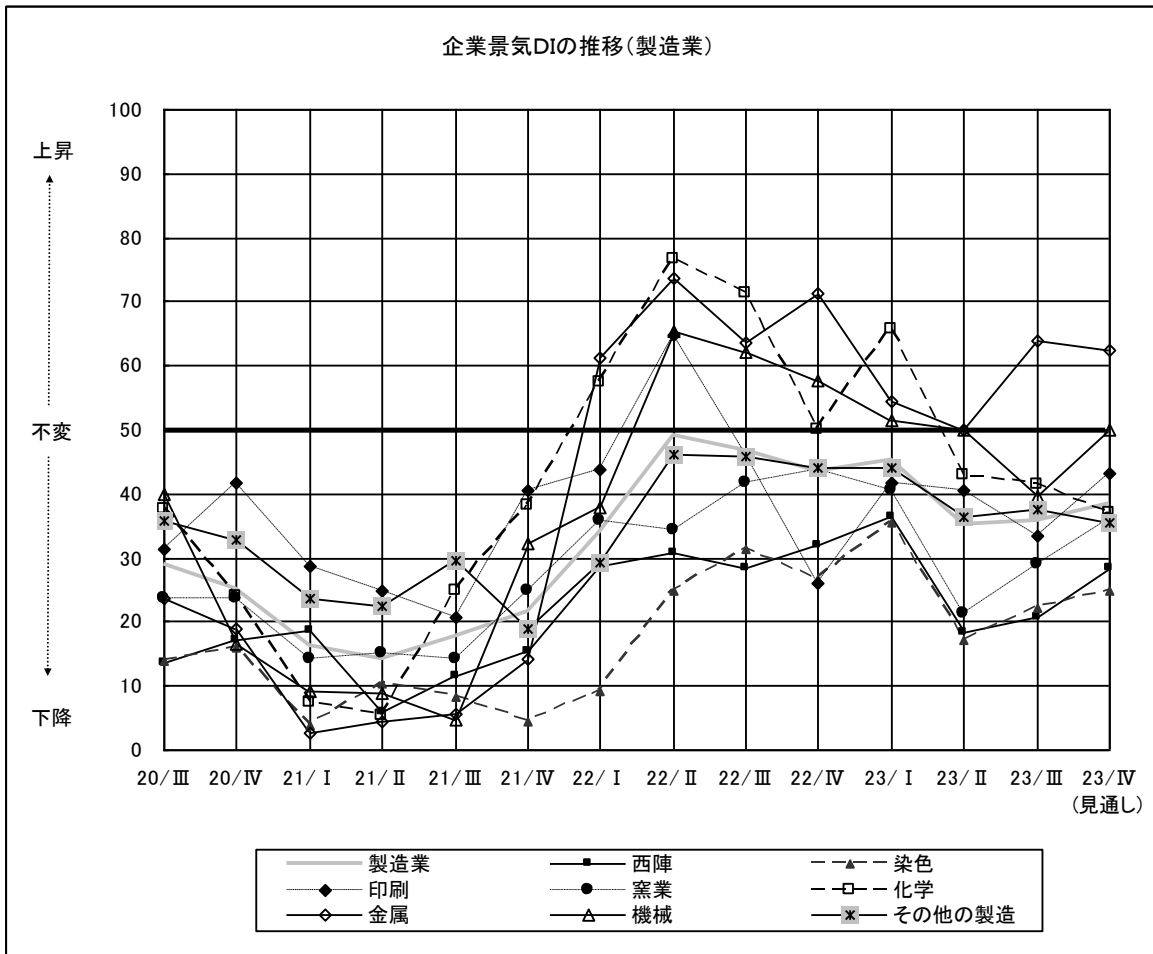


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	31.6	33.8	△ 2.2	36.9	△ 3.1
製造業	35.1	35.9	△ 0.8	38.5	△ 2.6
西陣	18.2	20.8	△ 2.6	28.3	△ 7.4
染色	17.1	22.1	△ 5.0	25.0	△ 2.9
印刷	40.4	33.3	▼ 7.1	43.3	△ 10.0
窯業	21.4	28.9	△ 7.5	36.1	△ 7.2
化学	42.9	41.3	▼ 1.6	37.0	▼ 4.3
金属	50.0	64.0	△ 14.0	62.5	▼ 1.5
機械	50.0	39.6	▼ 10.4	50.0	△ 10.4
其他の製造	36.5	37.5	△ 1.0	35.4	▼ 2.1
非製造業	28.4	31.9	△ 3.5	35.4	△ 3.5
卸売	27.5	29.3	△ 1.8	31.2	△ 1.9
小売	27.0	26.1	▼ 0.9	32.6	△ 6.5
情報通信	43.2	41.4	▼ 1.8	51.8	△ 10.4
飲食・宿泊	14.3	31.8	△ 17.5	37.5	△ 5.7
サービス	31.5	37.5	△ 6.0	38.4	△ 0.9
建設	31.9	33.3	△ 1.4	31.4	▼ 1.9
観光関連	19.3	30.2	△ 10.9	35.7	△ 5.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

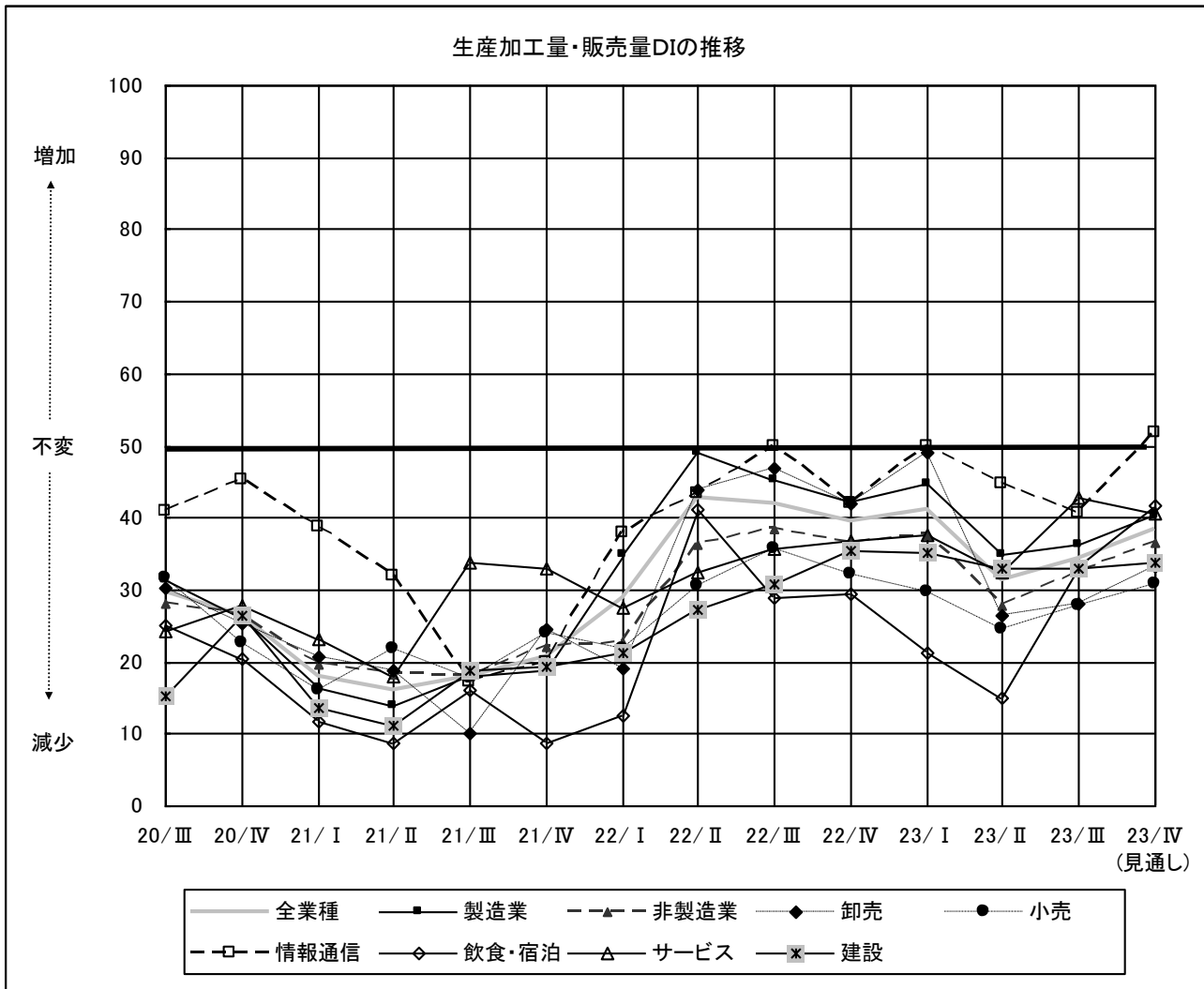


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

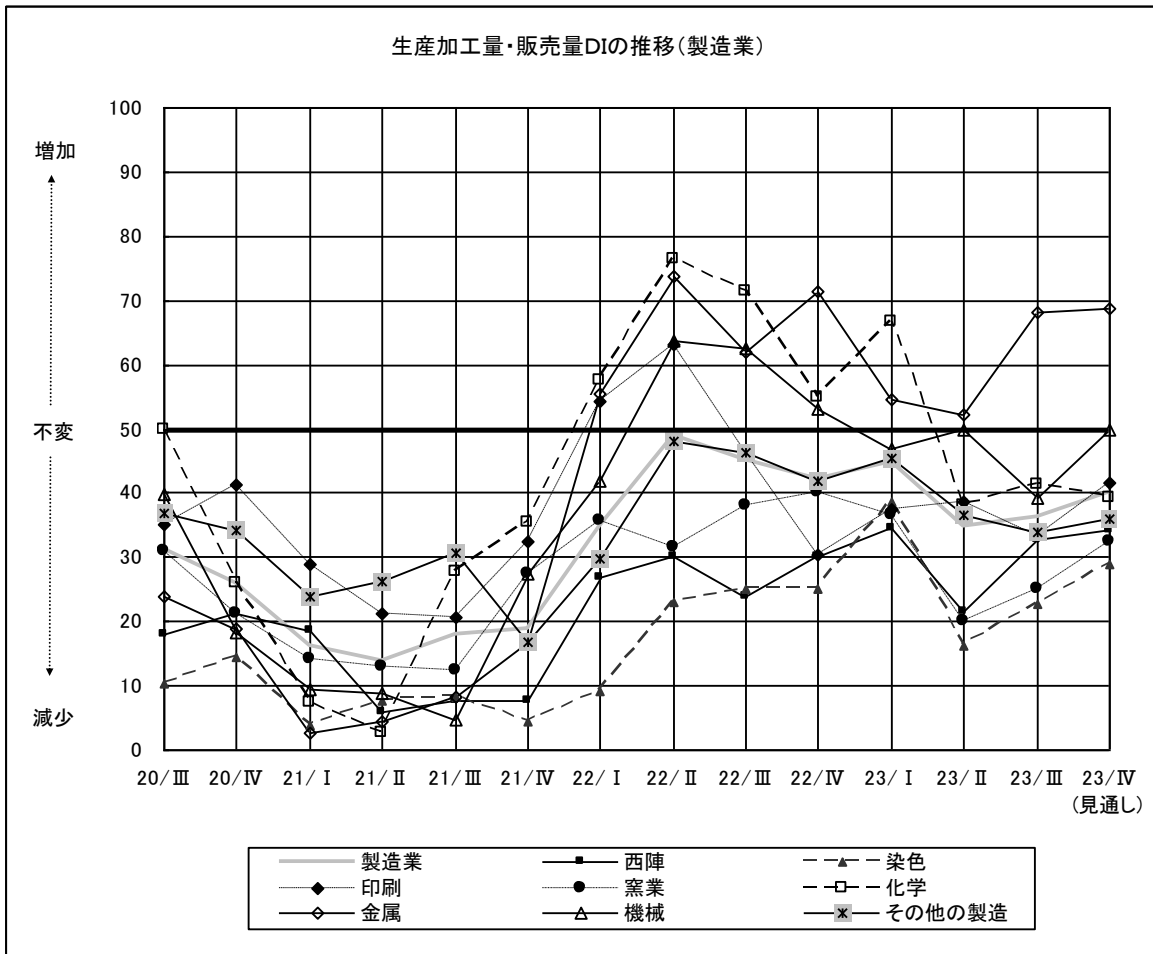


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
全業種	31.4	34.2	△ 2.8	38.3	△ 4.1
製造業	34.8	36.2	△ 1.4	40.2	△ 4.0
西陣	21.4	32.6	△ 11.2	34.1	△ 1.5
染色	16.2	22.7	△ 6.5	28.8	△ 6.1
印刷	38.5	33.3	▼ 5.2	41.7	△ 8.3
窯業	20.0	25.0	△ 5.0	32.4	△ 7.4
化学	38.1	41.3	△ 3.2	39.1	▼ 2.2
金属	52.1	68.0	△ 15.9	68.8	△ 0.8
機械	50.0	39.1	▼ 10.9	50.0	△ 10.9
その他の製造	36.5	34.0	▼ 2.5	36.1	△ 2.1
非製造業	27.9	32.3	△ 4.4	36.5	△ 4.2
卸売	26.3	28.0	△ 1.7	33.3	△ 5.3
小売	24.6	27.7	△ 3.1	30.8	△ 3.1
情報通信	44.7	40.7	▼ 4.0	51.9	△ 11.2
飲食・宿泊	15.0	33.3	△ 18.3	41.7	△ 8.3
サービス	32.3	42.9	△ 10.6	40.7	▼ 2.1
建設	33.0	32.9	▼ 0.1	33.8	△ 0.9
観光関連	20.0	30.0	△ 10.0	33.3	△ 3.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

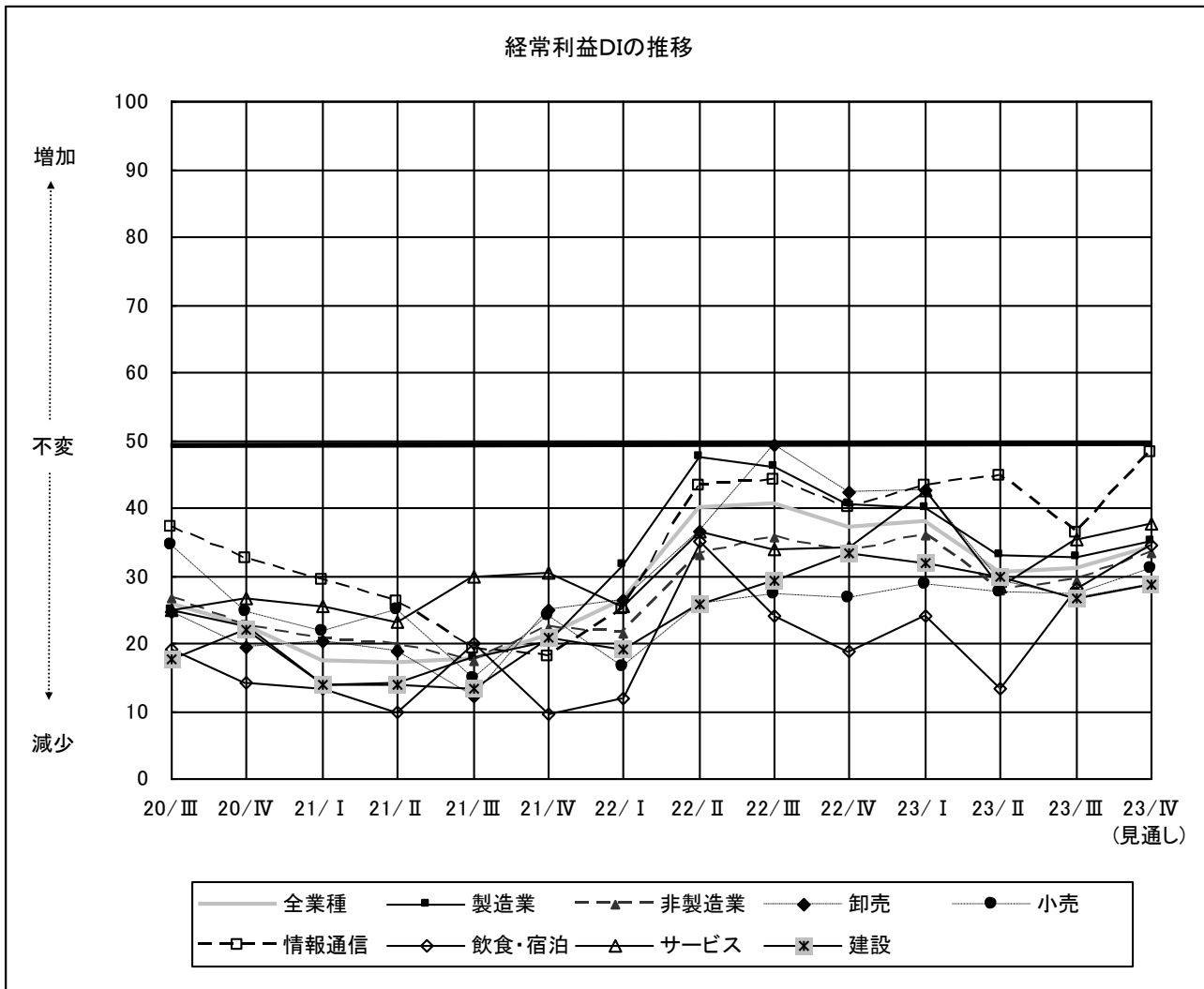


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

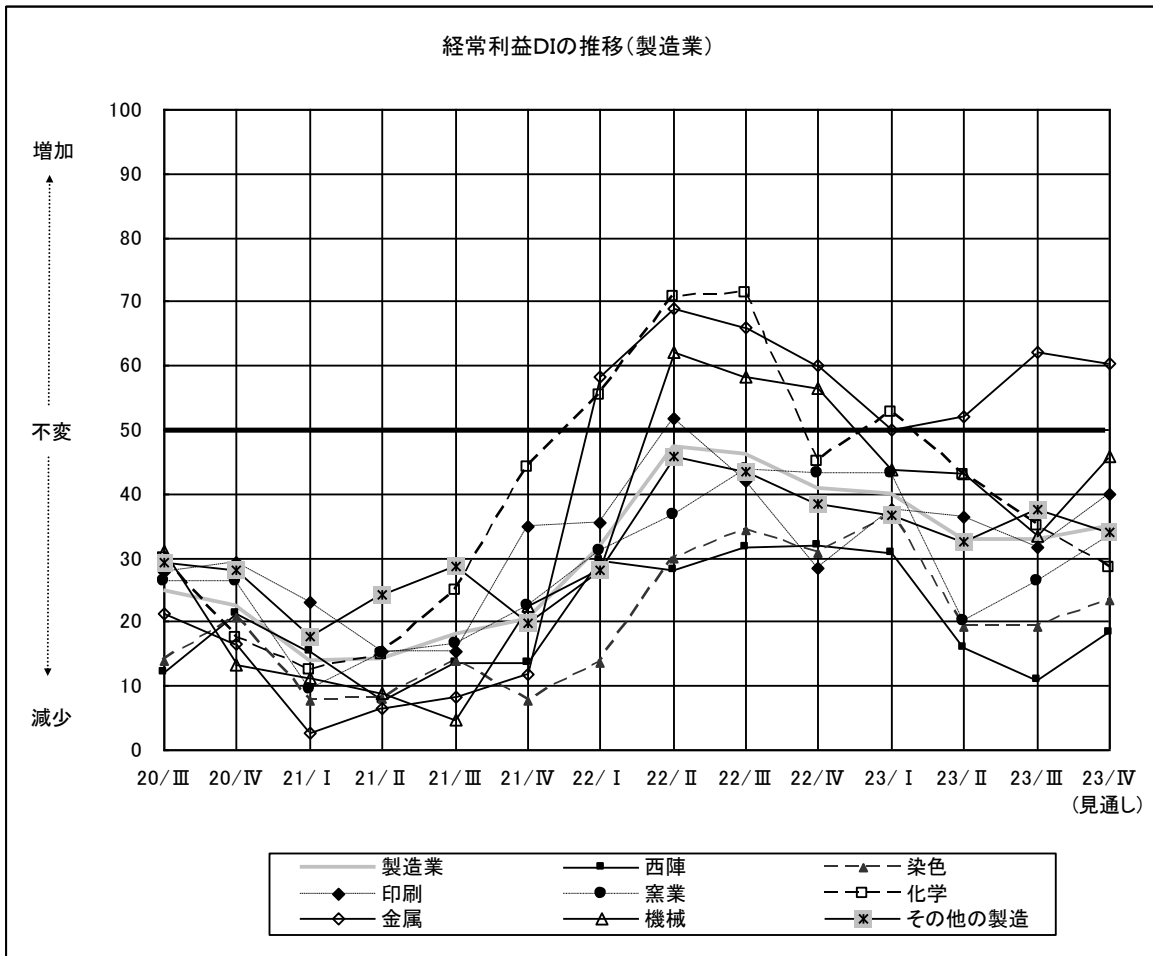


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	30.3	30.9	△ 0.6	34.1	△ 3.2
製造業	32.9	32.8	▼ 0.1	35.0	△ 2.2
西陣	15.9	10.9	▼ 5.0	18.2	△ 7.3
染色	19.1	19.1	△ 0.0	23.5	△ 4.4
印刷	36.5	31.7	▼ 4.8	40.0	△ 8.3
窯業	20.0	26.3	△ 6.3	33.3	△ 7.0
化学	42.9	34.8	▼ 8.1	28.3	▼ 6.5
金属	52.1	62.0	△ 9.9	60.4	▼ 1.6
機械	43.1	33.3	▼ 9.8	45.8	△ 12.5
その他の製造	32.4	37.5	△ 5.1	34.0	▼ 3.5
非製造業	27.8	29.2	△ 1.4	33.2	△ 4.0
卸売	29.2	26.8	▼ 2.4	28.7	△ 1.9
小売	27.5	27.3	▼ 0.2	31.1	△ 3.8
情報通信	44.7	36.2	▼ 8.5	48.2	△ 12.0
飲食・宿泊	13.2	28.1	△ 14.9	34.4	△ 6.3
サービス	28.4	35.5	△ 7.1	37.8	△ 2.3
建設	29.8	26.7	▼ 3.1	28.8	△ 2.0
観光関連	19.8	26.8	△ 7.0	30.0	△ 3.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移(全体)

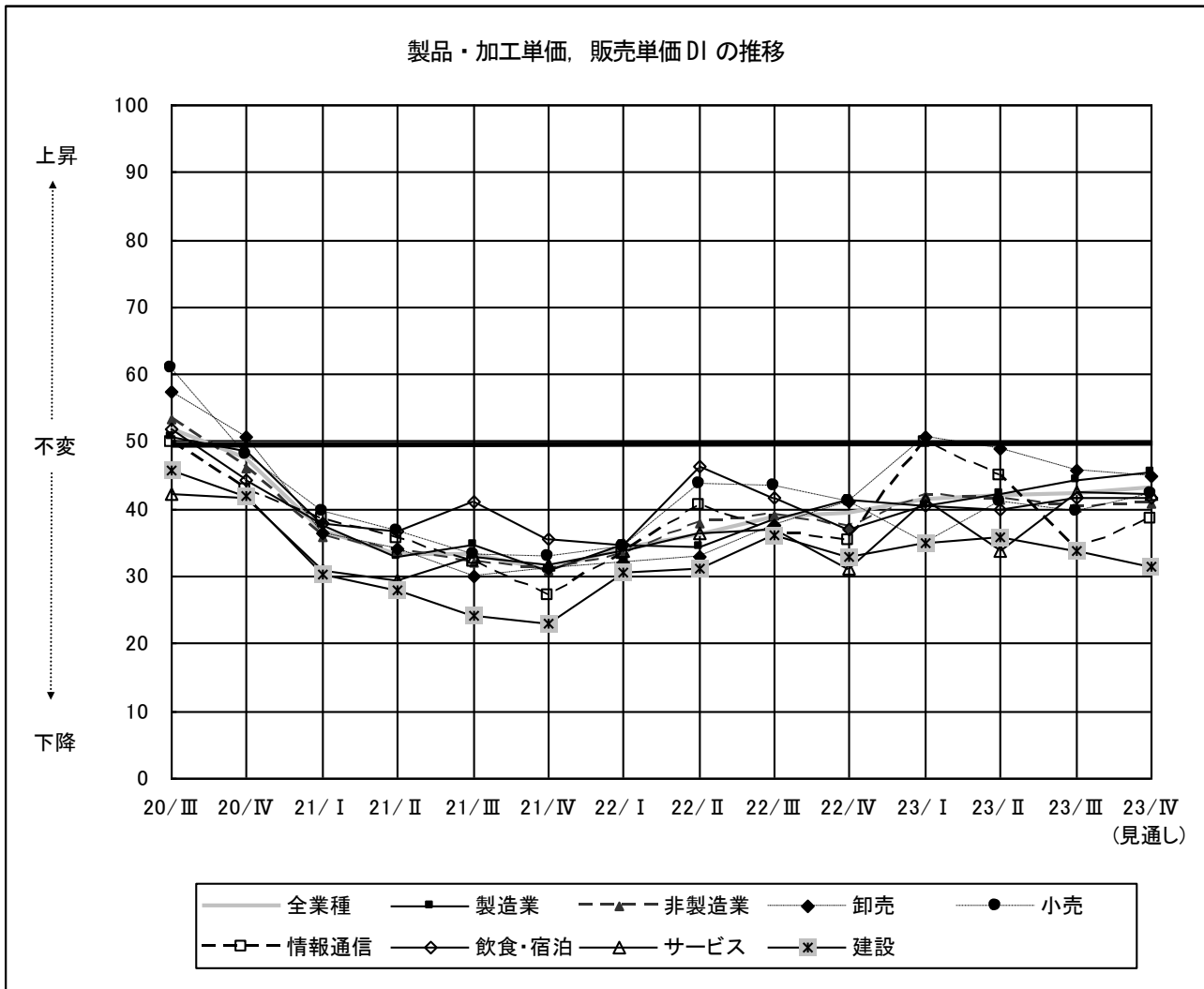


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

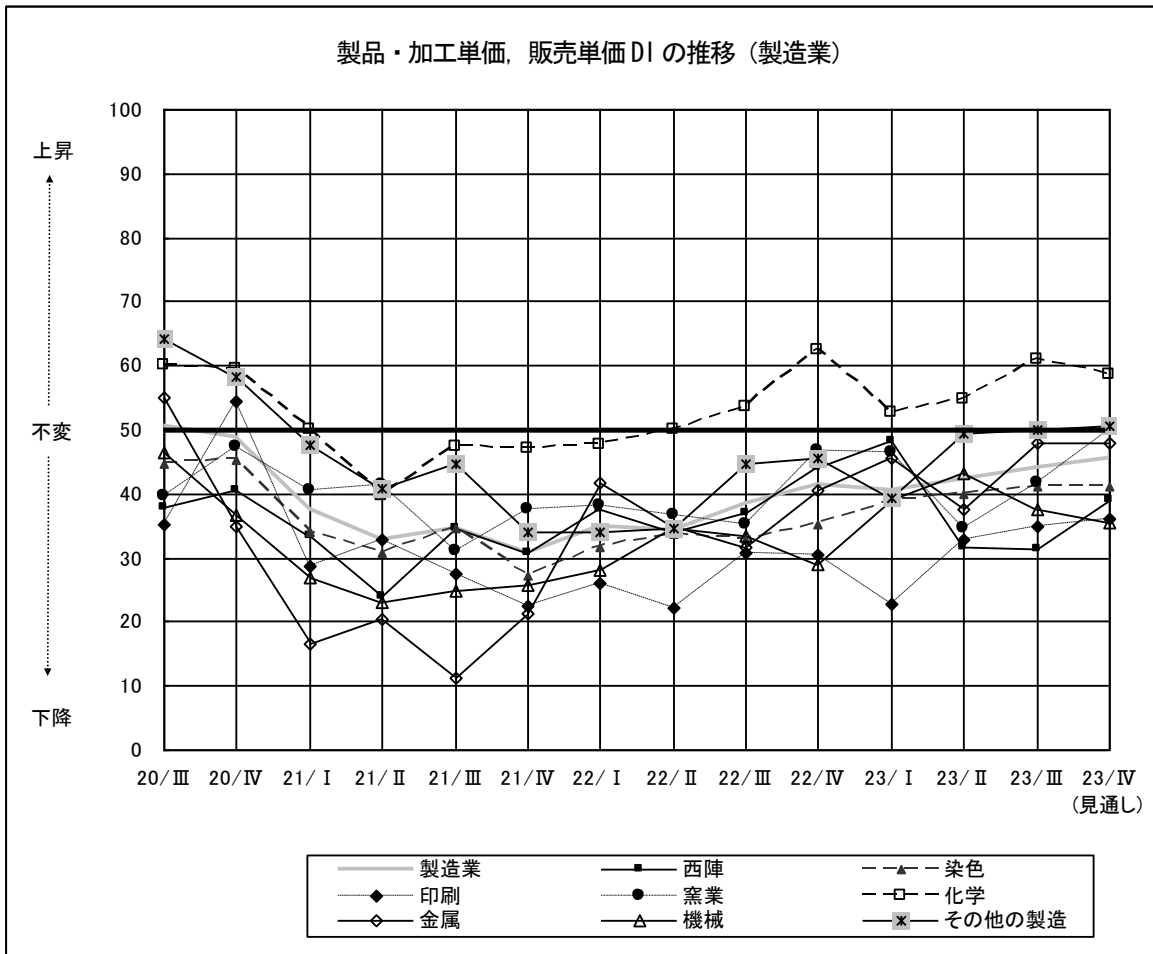


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	41.9	42.2	△ 0.3	43.2	△ 1.0
製造業	42.4	44.2	△ 1.8	45.5	△ 1.3
西陣	31.8	31.3	▼ 0.6	39.1	△ 7.9
染色	40.0	41.2	△ 1.2	41.2	△ 0.0
印刷	32.7	35.0	△ 2.3	36.2	△ 1.2
窯業	34.6	41.7	△ 7.1	50.0	△ 8.3
化学	54.8	60.9	△ 6.1	58.7	▼ 2.2
金属	37.5	48.0	△ 10.5	47.8	▼ 0.2
機械	43.1	37.5	▼ 5.6	35.4	▼ 2.1
その他の製造	49.3	50.0	△ 0.7	50.7	△ 0.7
非製造業	41.4	40.2	▼ 1.2	40.9	△ 0.7
卸売	49.1	45.7	▼ 3.4	44.9	▼ 0.8
小売	41.1	39.6	▼ 1.5	42.3	△ 2.8
情報通信	45.0	33.9	▼ 11.1	38.5	△ 4.5
飲食・宿泊	40.0	41.7	△ 1.7	41.7	△ 0.0
サービス	33.9	42.6	△ 8.7	42.3	▼ 0.3
建設	36.0	33.8	▼ 2.3	31.6	▼ 2.2
観光関連	35.9	43.9	△ 8.0	46.2	△ 2.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

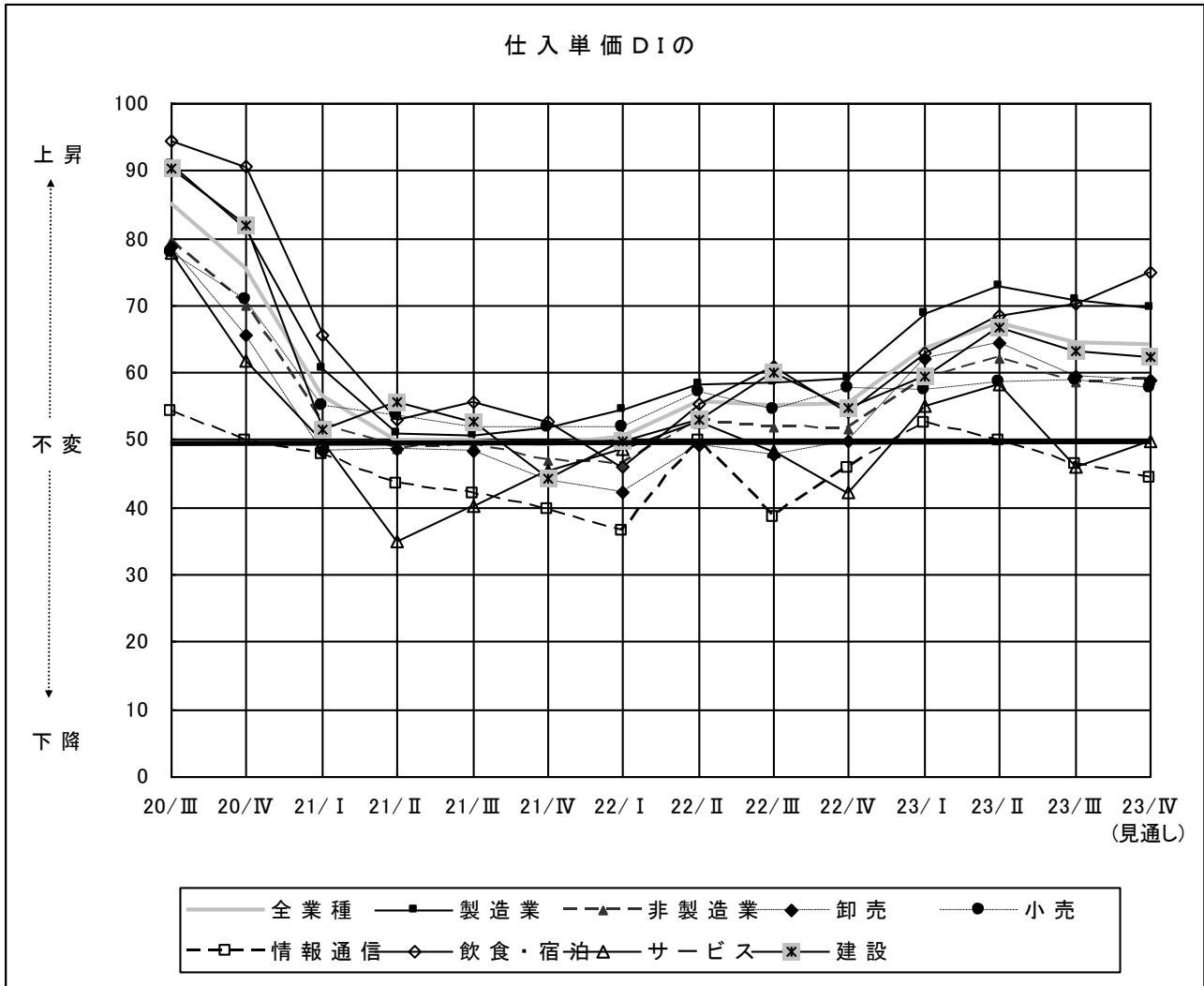


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

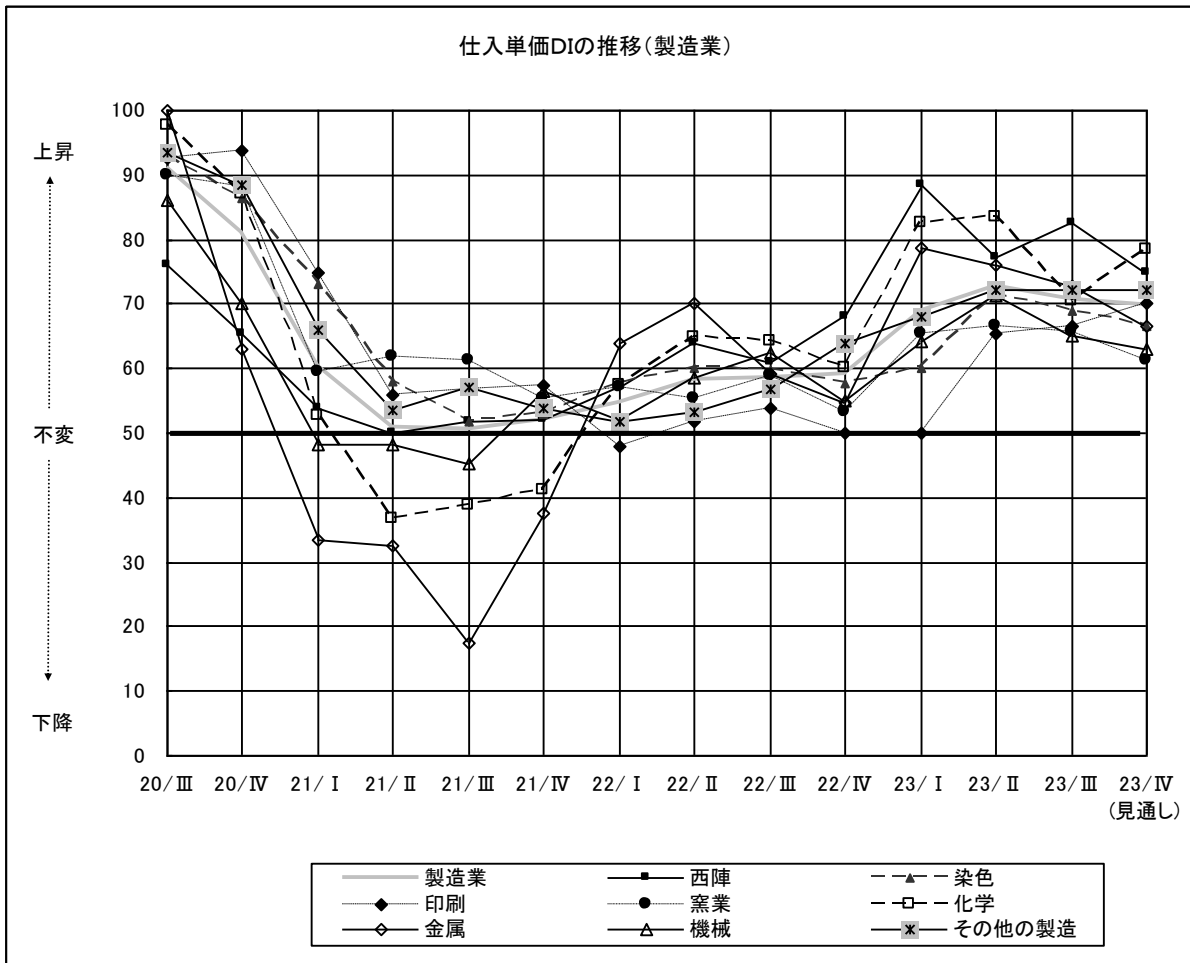


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	67.4	64.5	▼ 2.9	64.2
製造業	72.8	70.8	▼ 2.0	69.8
西陣	77.3	82.6	△ 5.3	75.0
染色	71.4	68.8	▼ 2.7	66.7
印刷	65.4	66.7	△ 1.3	70.0
窯業	66.7	65.8	▼ 0.9	61.1
化学	83.3	70.5	▼ 12.8	78.3
金属	76.1	72.9	▼ 3.2	66.7
機械	71.4	65.2	▼ 6.2	63.0
その他の製造	72.3	72.2	▼ 0.1	72.2
非製造業	62.1	58.6	▼ 3.5	58.8
卸売	64.4	59.4	▼ 5.0	58.8
小売	58.5	59.0	△ 0.5	57.6
情報通信	50.0	46.3	▼ 3.7	44.2
飲食・宿泊	68.6	70.3	△ 1.7	75.0
サービス	58.3	46.0	▼ 12.3	50.0
建設	66.7	63.4	▼ 3.3	62.5
観光関連	61.9	64.3	△ 2.4	64.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

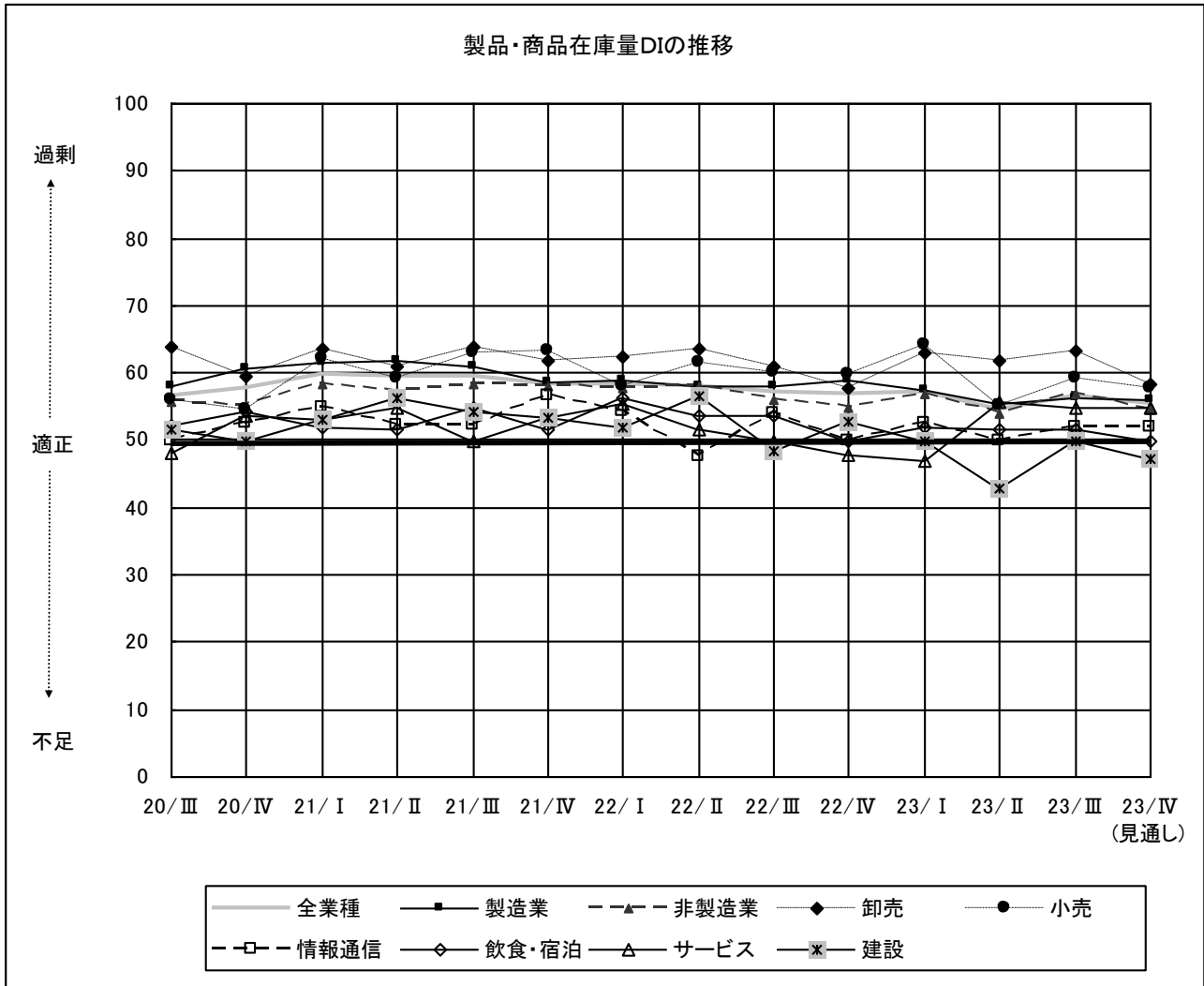


図 12. 製品・商品在庫量の推移 (製造業)

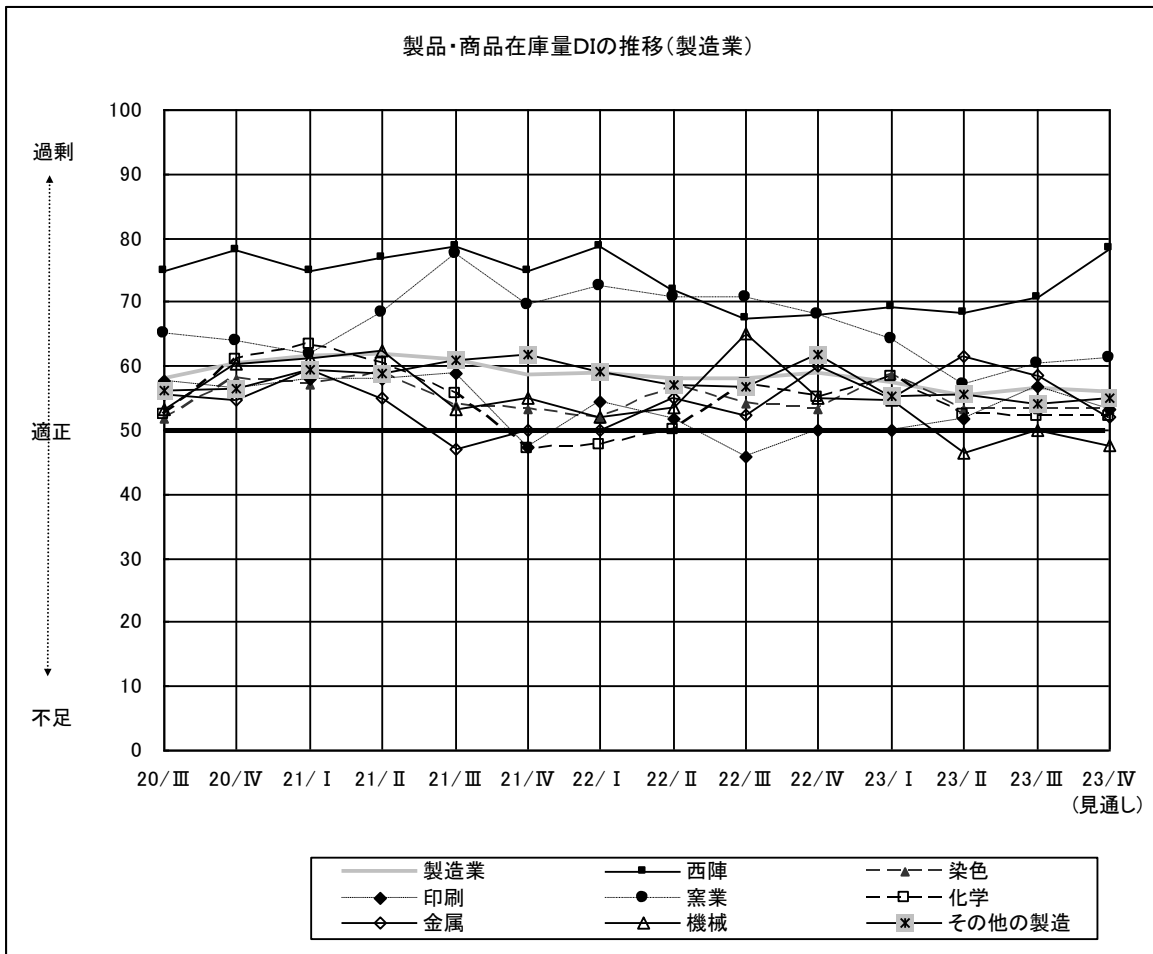


表 6. 製品・商品在庫量 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	54.6	56.6	△ 2.0	55.3	▼ 1.3
製造業	55.3	56.4	△ 1.1	56.0	▼ 0.4
西陣	68.2	70.8	△ 2.6	78.3	△ 7.4
染色	53.3	53.4	△ 0.1	53.4	△ 0.0
印刷	51.9	56.7	△ 4.8	53.3	▼ 3.3
窯業	57.1	60.5	△ 3.4	61.1	△ 0.6
化学	52.5	52.2	▼ 0.3	52.2	△ 0.0
金属	61.4	58.7	▼ 2.7	52.2	▼ 6.5
機械	46.4	50.0	△ 3.6	47.7	▼ 2.3
その他の製造	55.5	54.2	▼ 1.3	54.9	△ 0.7
非製造業	53.8	56.9	△ 3.1	54.5	▼ 2.4
卸売	61.9	63.2	△ 1.3	58.3	▼ 4.9
小売	55.1	59.1	△ 4.0	57.7	▼ 1.4
情報通信	50.0	51.9	△ 1.9	51.9	△ 0.1
飲食・宿泊	51.7	51.6	▼ 0.1	50.0	▼ 1.6
サービス	55.6	54.8	▼ 0.8	54.8	△ 0.0
建設	42.9	50.0	△ 7.1	47.1	▼ 2.9
観光関連	55.3	52.4	▼ 2.9	48.7	▼ 3.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移 (全体)

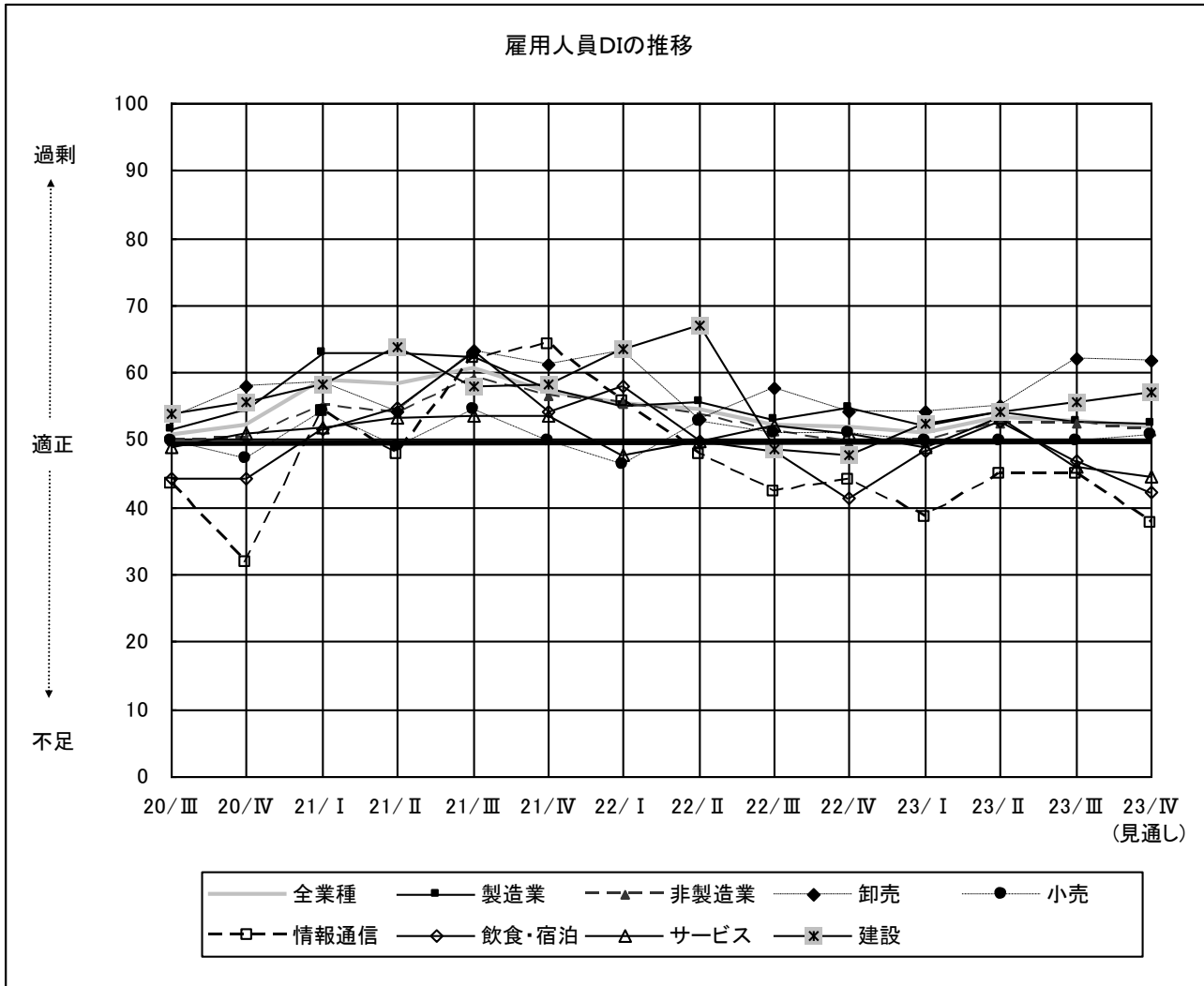


図 14. 雇用人員DIの推移 (製造業)

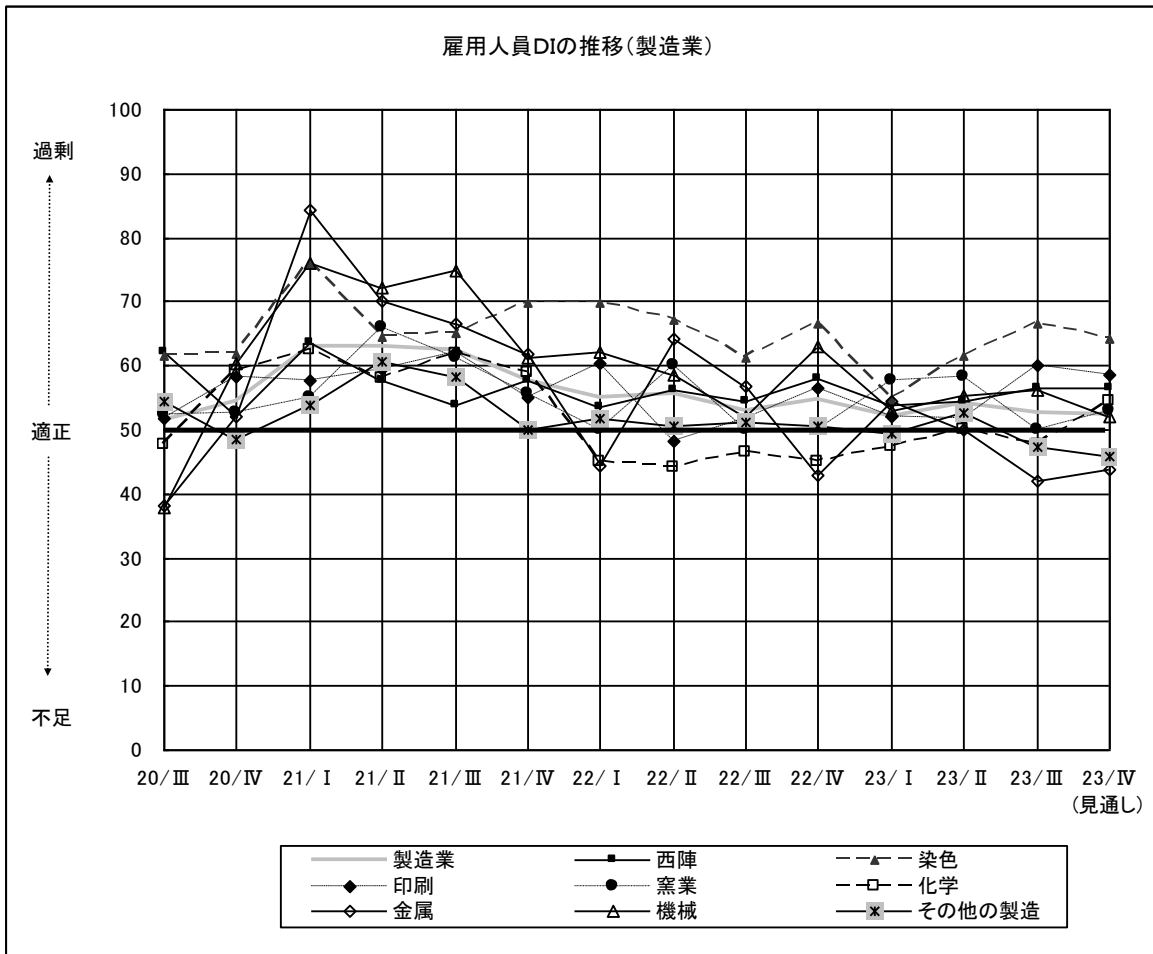


表 7. 雇用人員DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	53.3	52.7	▼ 0.6	51.9	▼ 0.8
製造業	54.1	52.8	▼ 1.3	52.5	▼ 0.3
西陣	54.5	56.5	△ 2.0	56.5	△ 0.0
染色	61.4	66.7	△ 5.3	64.1	▼ 2.6
印刷	51.9	60.0	△ 8.1	58.6	▼ 1.4
窯業	58.3	50.0	▼ 8.3	52.9	△ 2.9
化学	50.0	47.7	▼ 2.3	54.5	△ 6.8
金属	50.0	42.0	▼ 8.0	43.8	△ 1.8
機械	55.2	56.3	△ 1.1	52.1	▼ 4.2
その他の製造	52.7	47.2	▼ 5.5	45.8	▼ 1.4
非製造業	52.5	52.5	△ 0.0	51.3	▼ 1.2
卸売	55.1	62.1	△ 7.0	61.9	▼ 0.2
小売	50.0	50.0	△ 0.0	50.8	△ 0.8
情報通信	45.0	44.8	▼ 0.2	37.5	▼ 7.3
飲食・宿泊	52.9	46.9	▼ 6.0	42.2	▼ 4.7
サービス	53.4	46.2	▼ 7.2	44.6	▼ 1.6
建設	54.3	55.6	△ 1.3	57.1	△ 1.6
観光関連	57.1	48.8	▼ 8.3	45.0	▼ 3.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

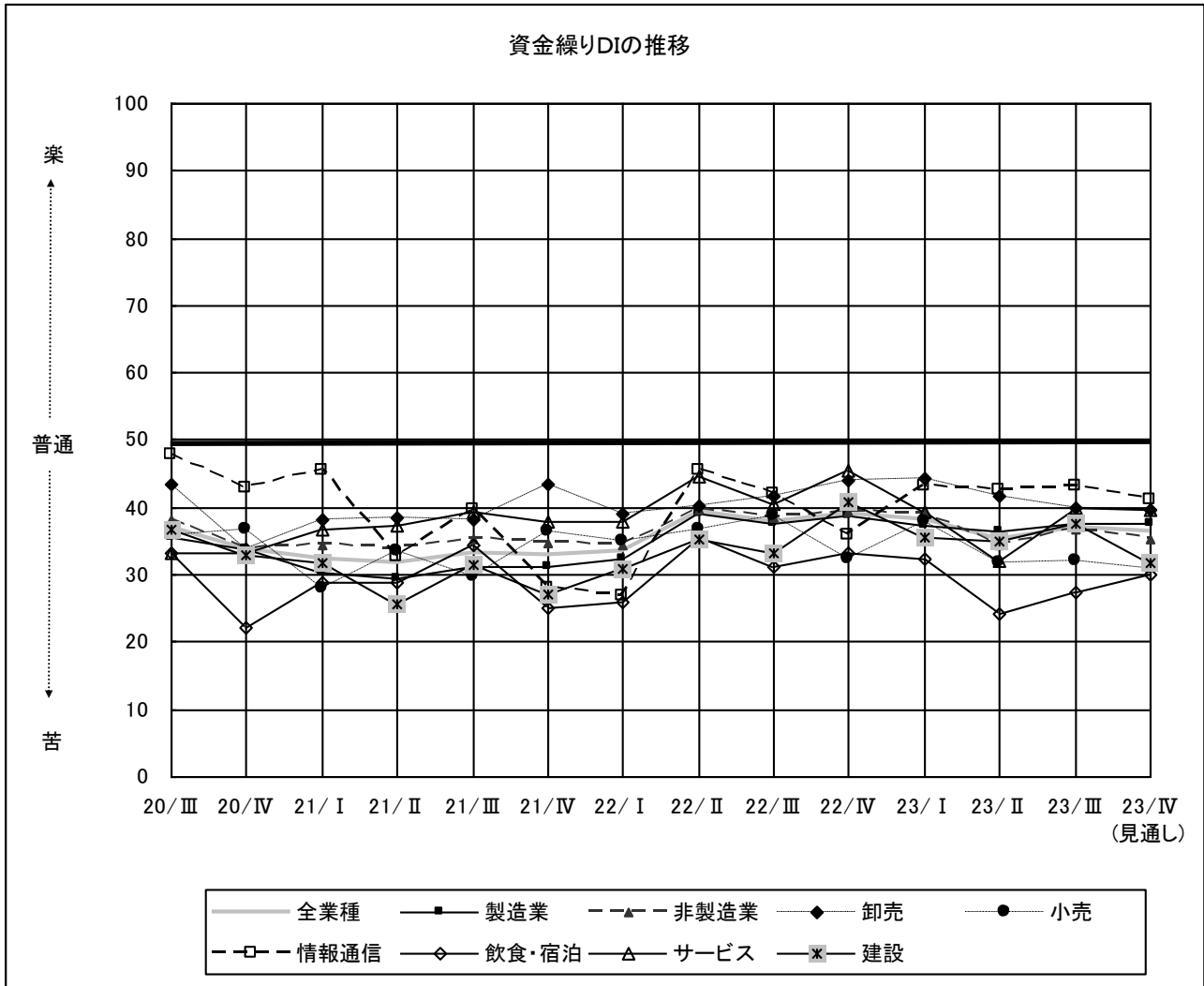


図 16. 資金繰りDIの推移 (製造業)

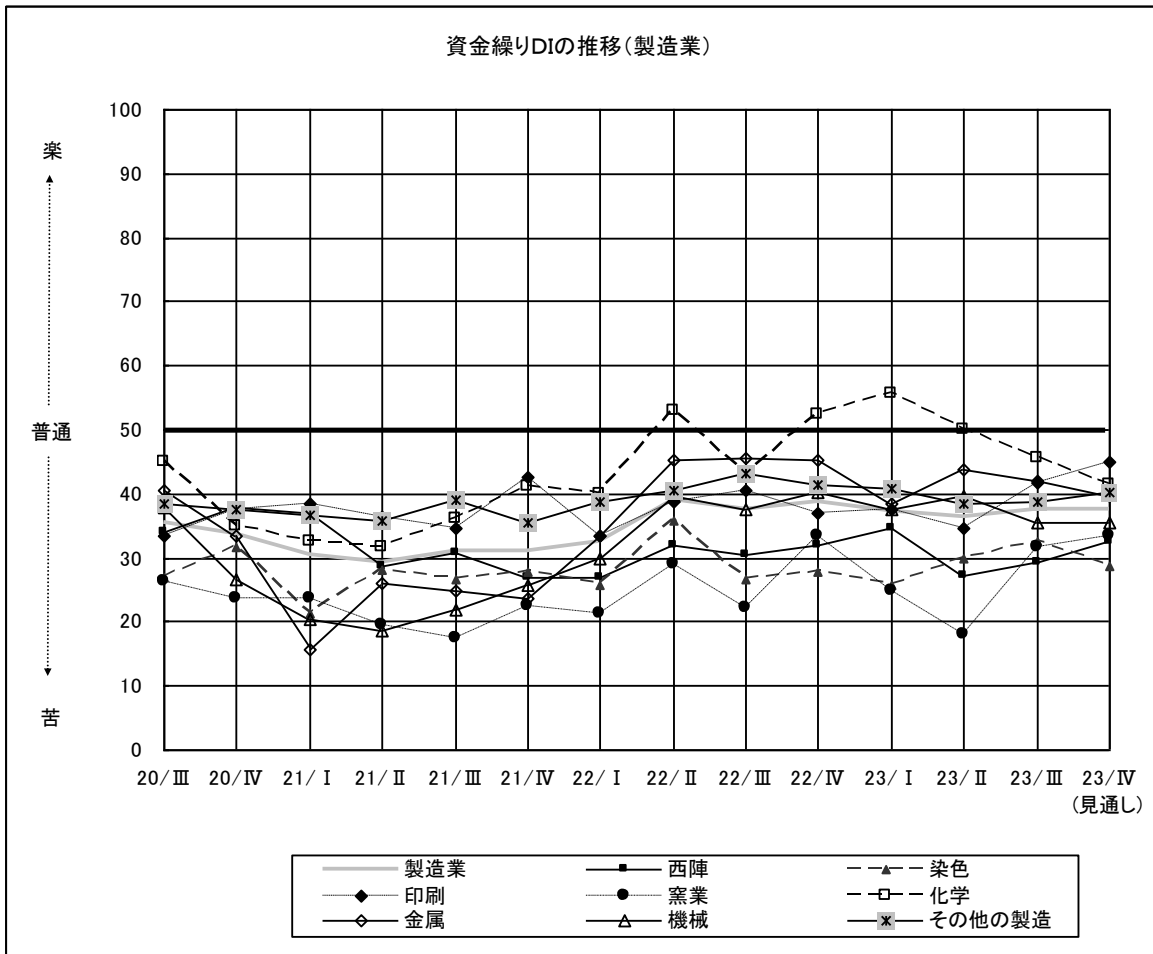


表 8. 資金繰りDI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	35.3	37.0	△ 1.7	▼ 0.5
製造業	36.3	37.5	△ 1.2	△ 0.2
西陣	27.3	29.2	△ 1.9	△ 3.4
染色	30.0	32.4	△ 2.4	▼ 3.6
印刷	34.6	41.7	△ 7.1	△ 3.3
窯業	17.9	31.6	△ 13.7	△ 1.8
化学	50.0	45.7	▼ 4.3	▼ 4.3
金属	43.8	42.0	▼ 1.8	▼ 2.4
機械	39.7	35.4	▼ 4.3	△ 0.0
其他の製造	38.5	38.9	△ 0.4	△ 1.4
非製造業	34.5	36.7	△ 2.2	▼ 1.3
卸売	41.7	40.0	▼ 1.7	▼ 0.3
小売	31.7	32.1	△ 0.4	▼ 1.3
情報通信	42.5	43.1	△ 0.6	▼ 2.0
飲食・宿泊	24.3	27.4	△ 3.1	△ 2.6
サービス	32.2	40.0	△ 7.8	▼ 0.3
建設	35.1	37.5	△ 2.4	▼ 5.8
観光関連	25.6	32.9	△ 7.3	△ 0.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

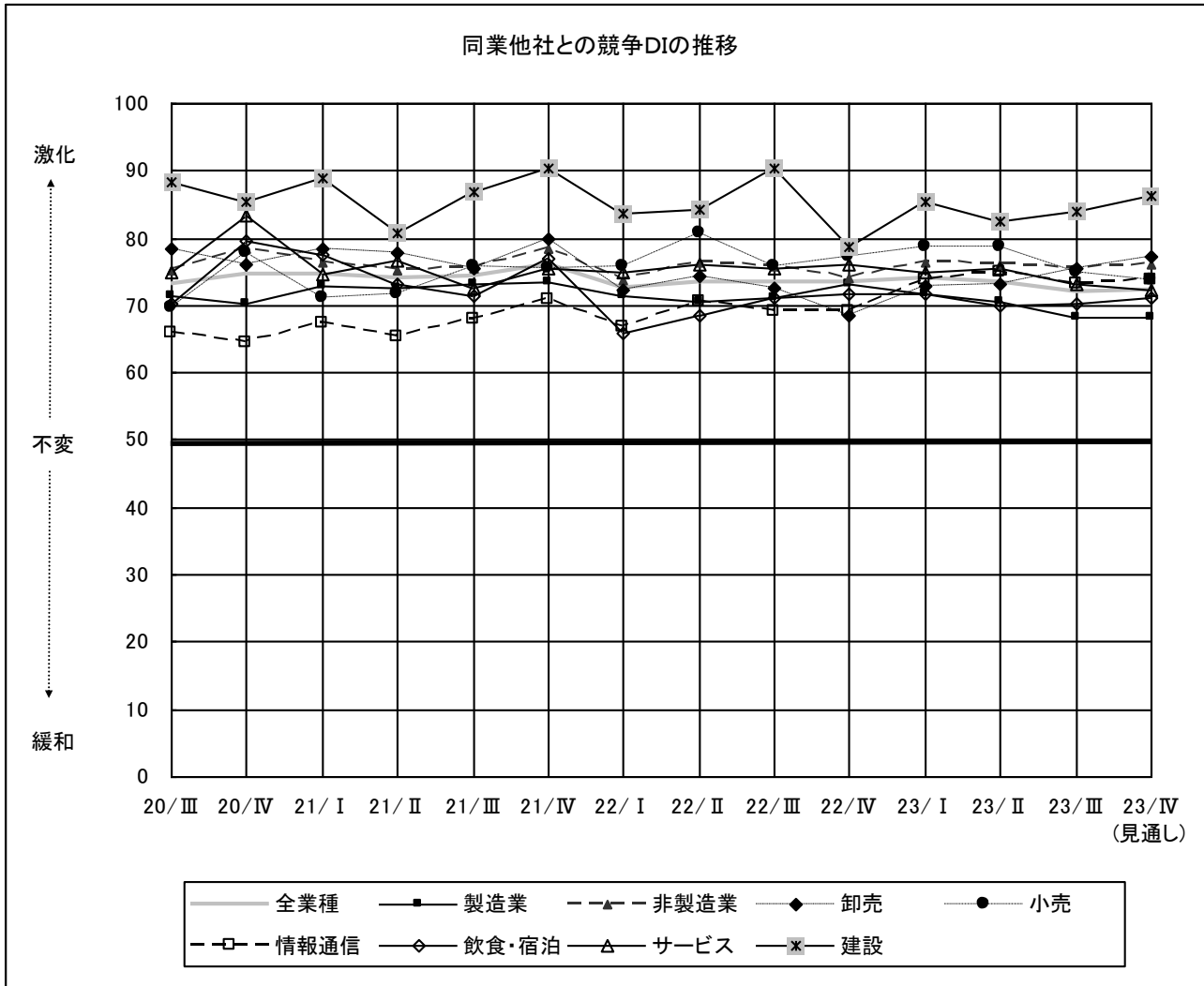


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

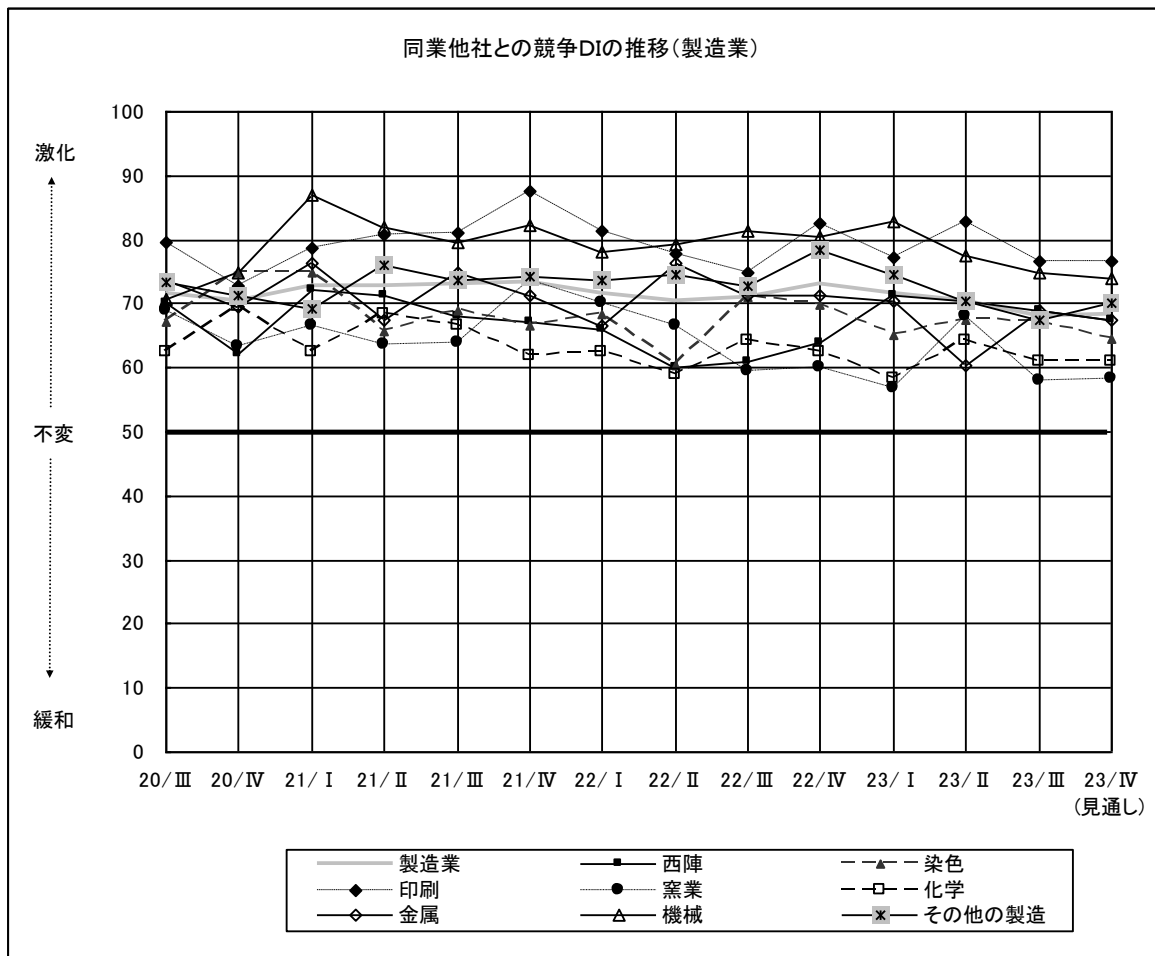


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	73.5	72.1	▼ 1.4	72.3 △ 0.2
製造業	70.5	68.1	▼ 2.4	68.3 △ 0.2
西陣	70.5	68.8	▼ 1.8	67.4 ▼ 1.4
染色	67.6	67.2	▼ 0.4	64.5 ▼ 2.7
印刷	82.7	76.7	▼ 6.0	76.7 △ 0.0
窯業	67.9	57.9	▼ 10.0	58.3 △ 0.4
化学	64.3	60.9	▼ 3.4	60.9 △ 0.0
金属	60.4	68.8	△ 8.4	67.4 ▼ 1.4
機械	77.6	75.0	▼ 2.6	73.9 ▼ 1.1
その他の製造	70.3	67.4	▼ 2.9	70.1 △ 2.8
非製造業	76.2	75.5	▼ 0.7	76.1 △ 0.6
卸売	73.3	75.4	△ 2.1	77.3 △ 1.9
小売	78.8	75.0	▼ 3.8	73.8 ▼ 1.2
情報通信	75.0	73.2	▼ 1.8	73.9 △ 0.7
飲食・宿泊	70.0	70.3	△ 0.3	71.0 △ 0.7
サービス	75.6	73.1	▼ 2.5	72.2 ▼ 0.9
建設	82.6	84.1	△ 1.5	86.3 △ 2.2
観光関連	80.2	68.3	▼ 11.9	67.9 ▼ 0.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

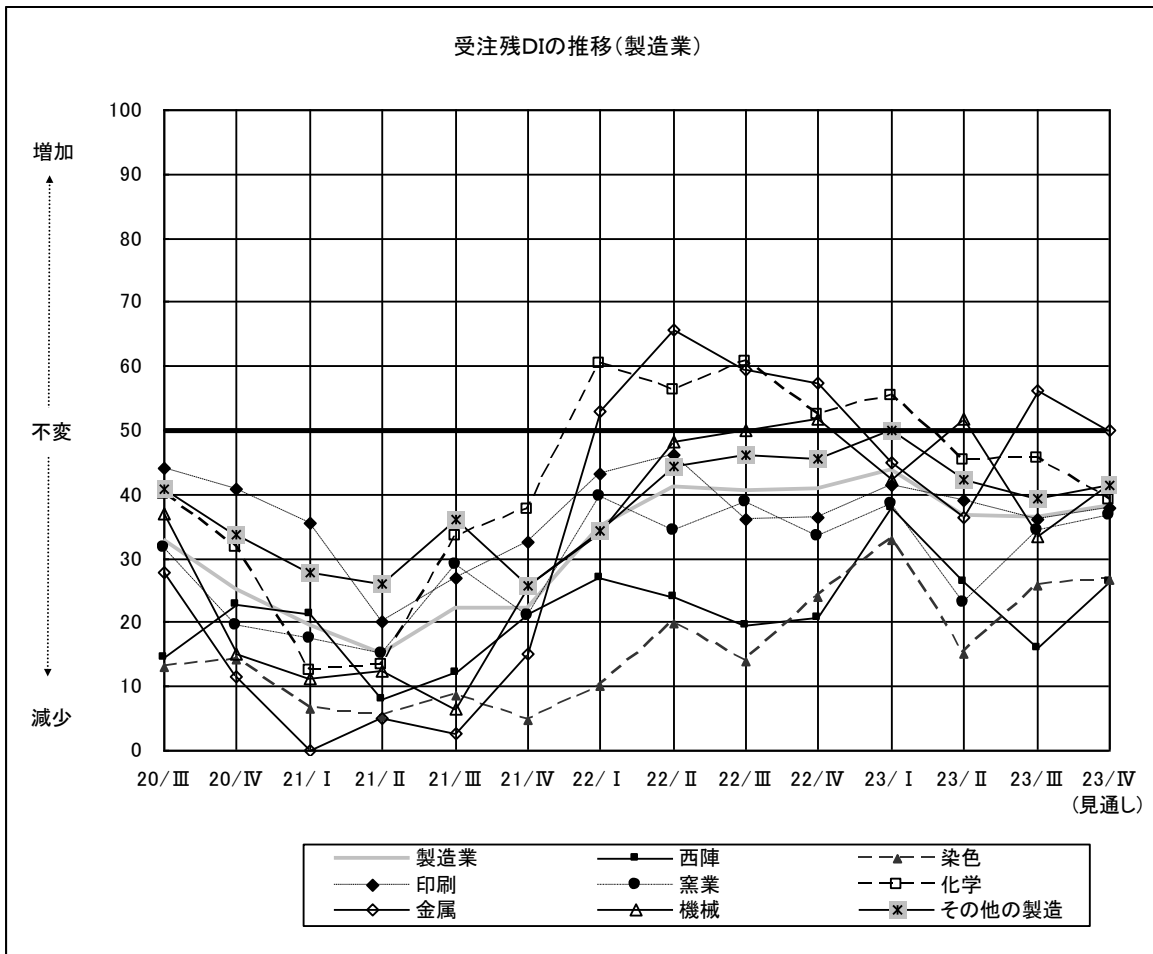


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	36.7	36.4	▼ 0.3	38.1 △ 1.7
西陣	26.2	15.9	▼ 10.3	26.2 △ 10.3
染色	15.0	25.8	△ 10.8	26.7 △ 0.9
印刷	39.1	36.2	▼ 2.9	37.9 △ 1.7
窯業	23.1	34.4	△ 11.3	36.7 △ 2.3
化学	45.2	45.7	△ 0.5	39.1 ▼ 6.5
金属	36.4	56.3	△ 19.9	50.0 ▼ 6.3
機械	51.7	33.3	▼ 18.4	41.7 △ 8.3
その他の製造	42.4	39.4	▼ 3.0	41.5 △ 2.1
観光関連	21.4	28.6	△ 7.2	33.3 △ 4.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

11. 生産設備

図20. 生産設備DIの推移

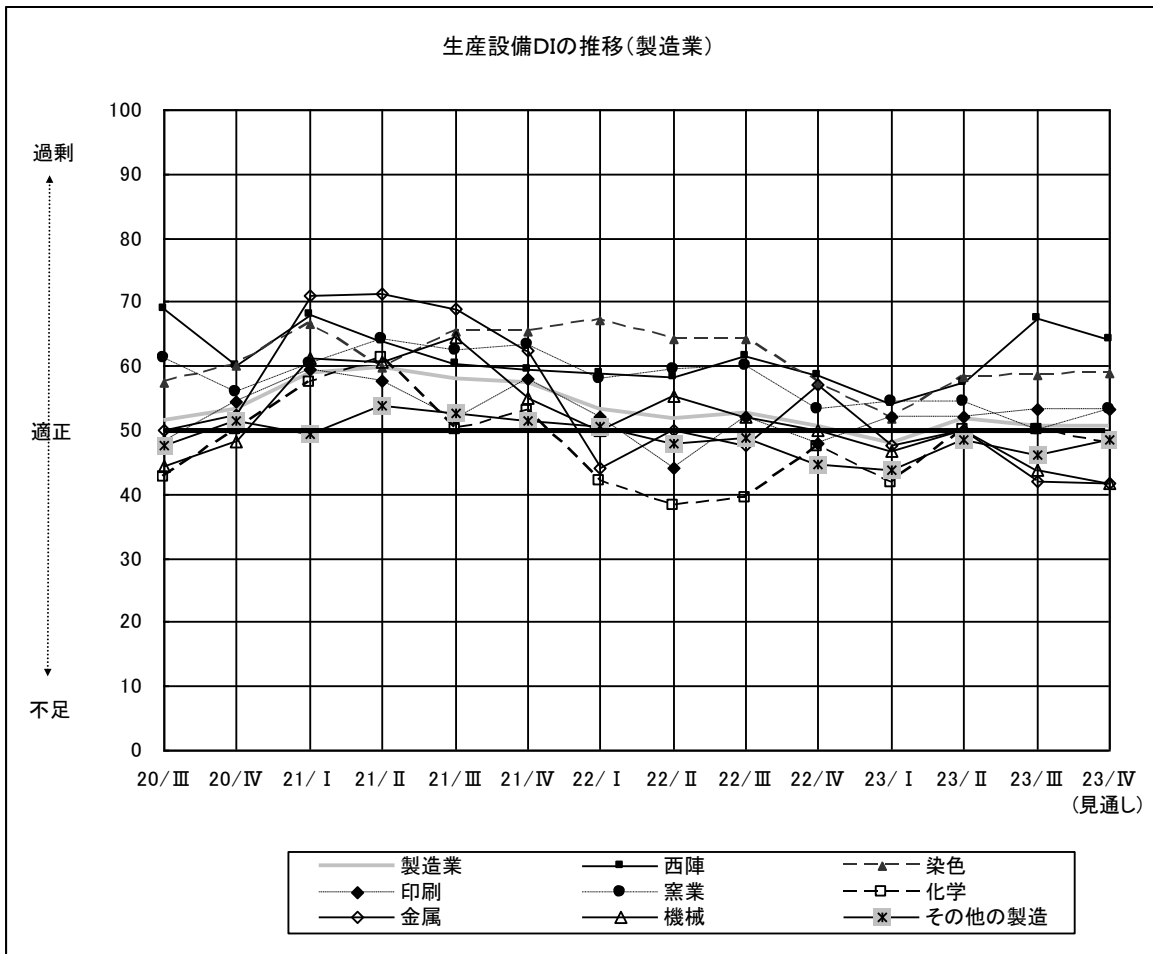


表11. 生産設備DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	51.8	50.6	▼ 1.2	50.7 △ 0.1
西陣	57.5	67.4	△ 9.9	64.3 ▼ 3.1
染色	58.3	58.6	△ 0.3	58.9 △ 0.3
印刷	52.1	53.4	△ 1.3	53.4 △ 0.0
窯業	54.5	50.0	▼ 4.5	53.3 △ 3.3
化学	50.0	50.0	△ 0.0	47.8 ▼ 2.2
金属	50.0	42.0	▼ 8.0	41.7 ▼ 0.3
機械	50.0	43.8	▼ 6.3	41.7 ▼ 2.1
その他の製造	48.5	46.3	▼ 2.2	48.5 △ 2.2
観光関連	64.3	43.8	▼ 20.5	50.0 △ 6.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

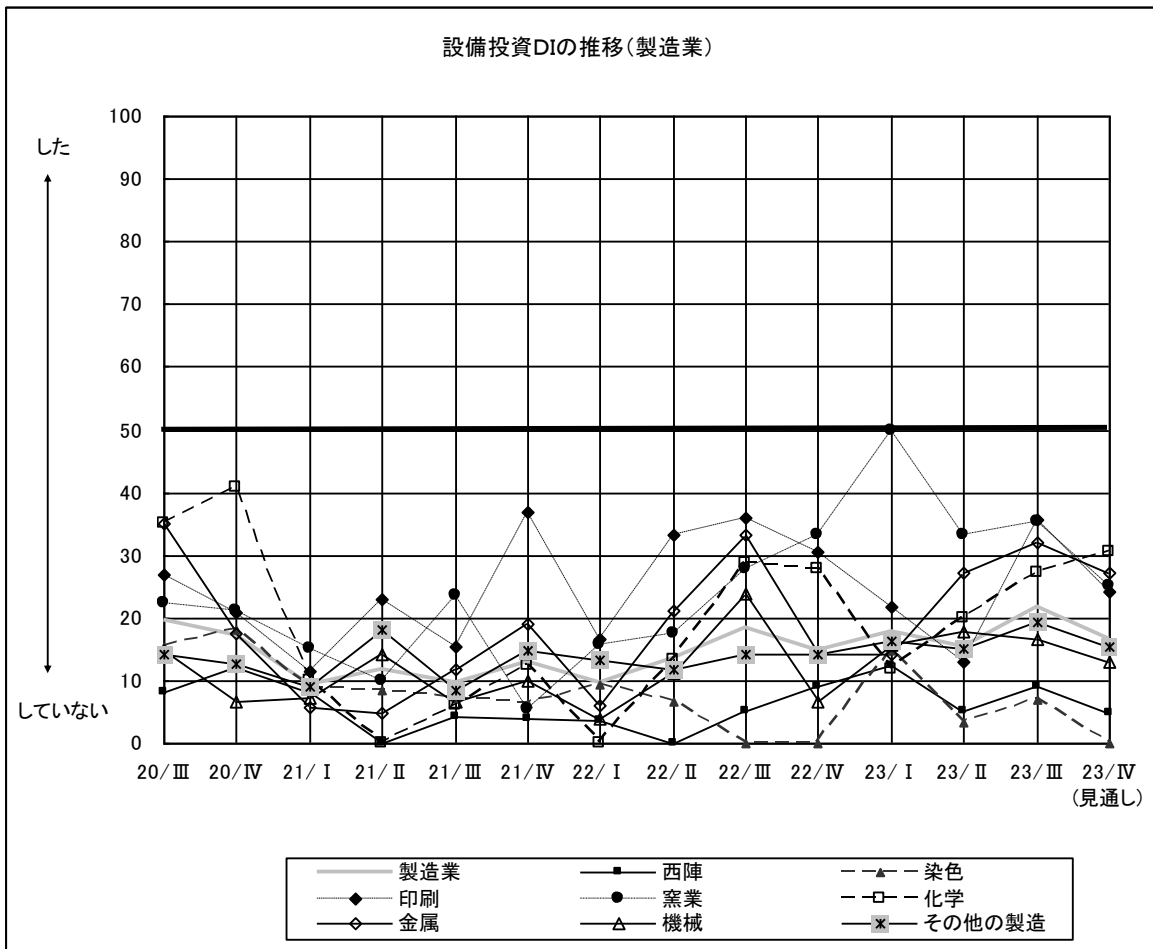


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	15.5	21.8	△ 6.3	16.7 ▼ 5.1
西陣	5.0	9.1	△ 4.1	4.8 ▼ 4.3
染色	3.4	6.9	△ 3.5	0.0 ▼ 6.9
印刷	13.0	35.7	△ 22.7	24.1 ▼ 11.6
窯業	33.3	35.3	△ 2.0	25.0 ▼ 10.3
化学	20.0	27.3	△ 7.3	30.4 △ 3.2
金属	27.3	32.0	△ 4.7	27.3 ▼ 4.7
機械	17.9	16.7	▼ 1.2	13.0 ▼ 3.6
その他の製造	15.2	19.4	△ 4.2	15.4 ▼ 4.0
観光関連	28.6	12.5	▼ 16.1	14.3 △ 1.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

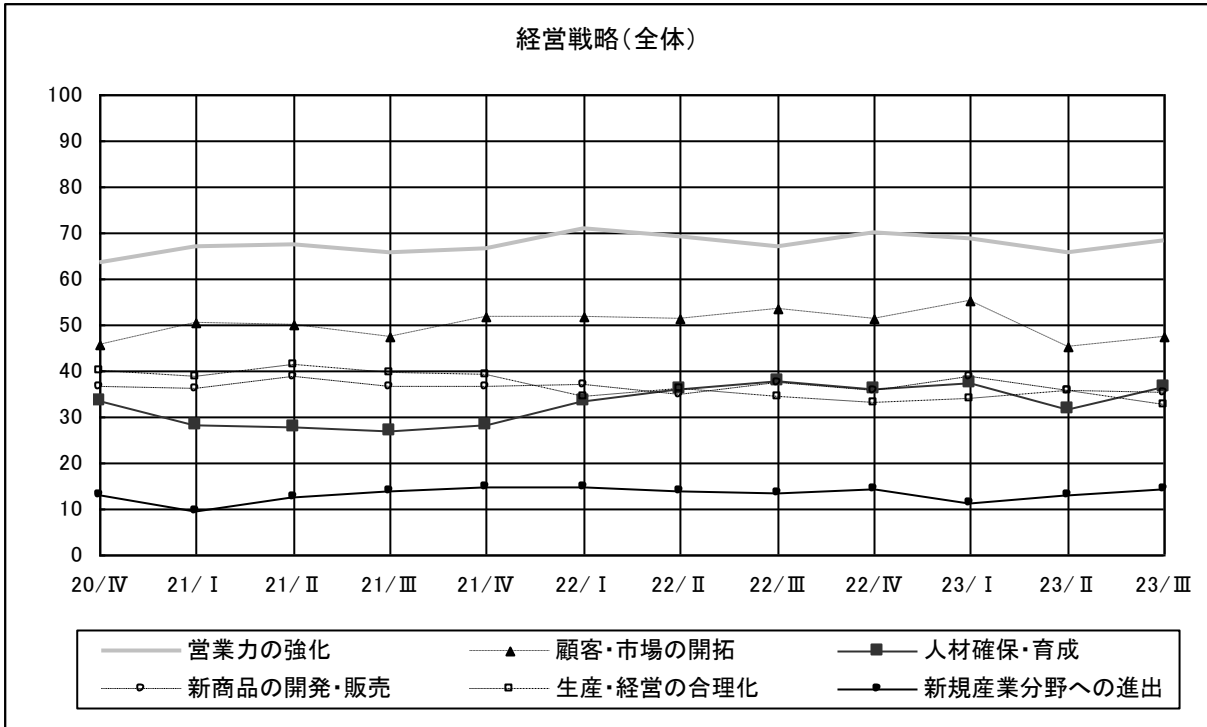


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

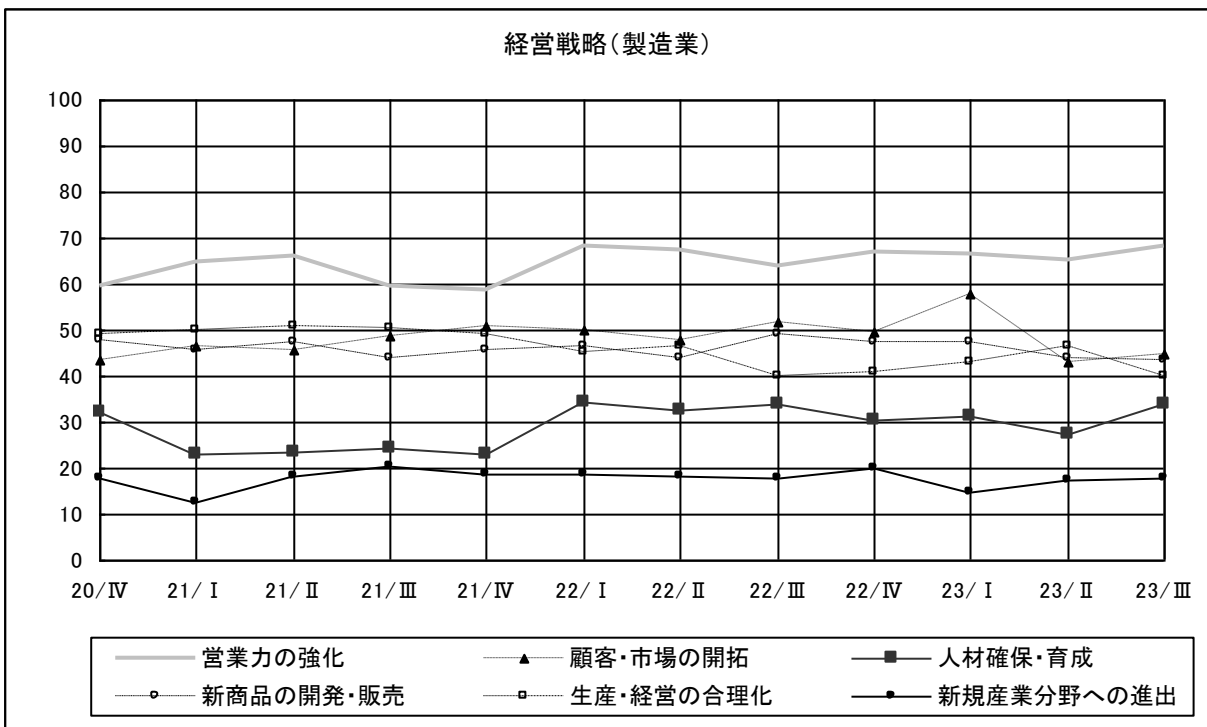


図 24. 当面の経営戦略・西陣

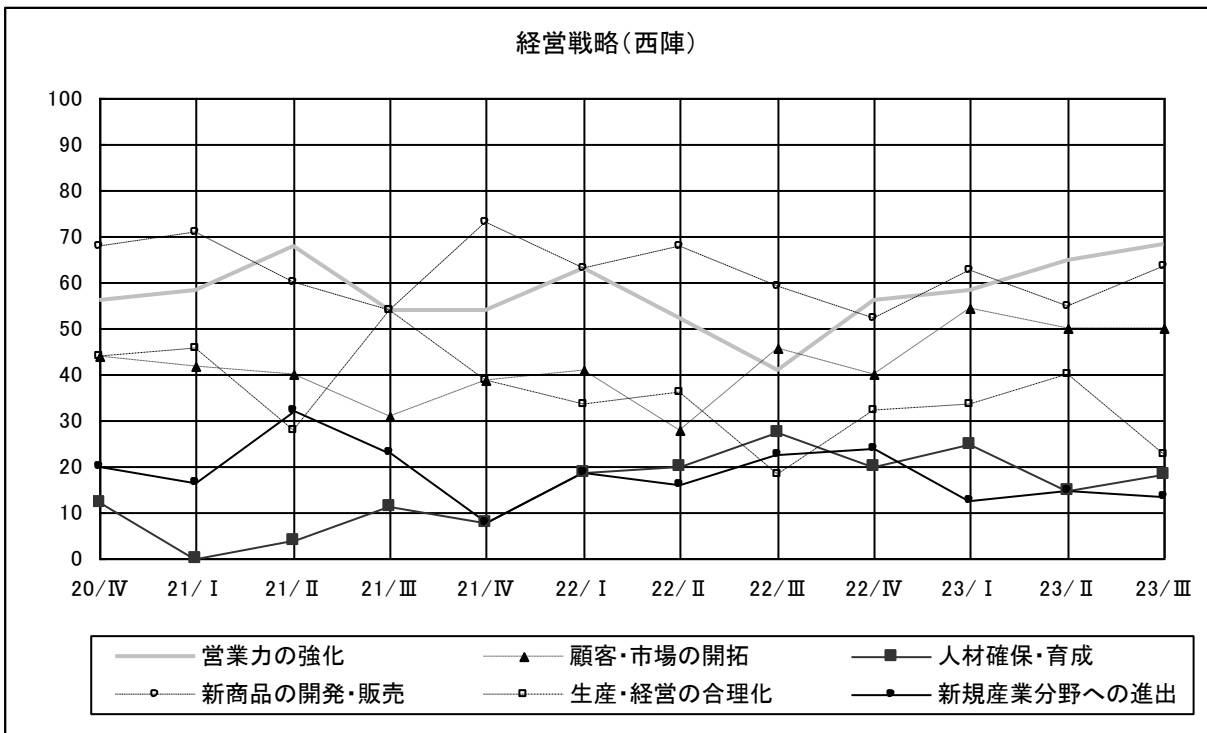


図 25. 当面の経営戦略・染色

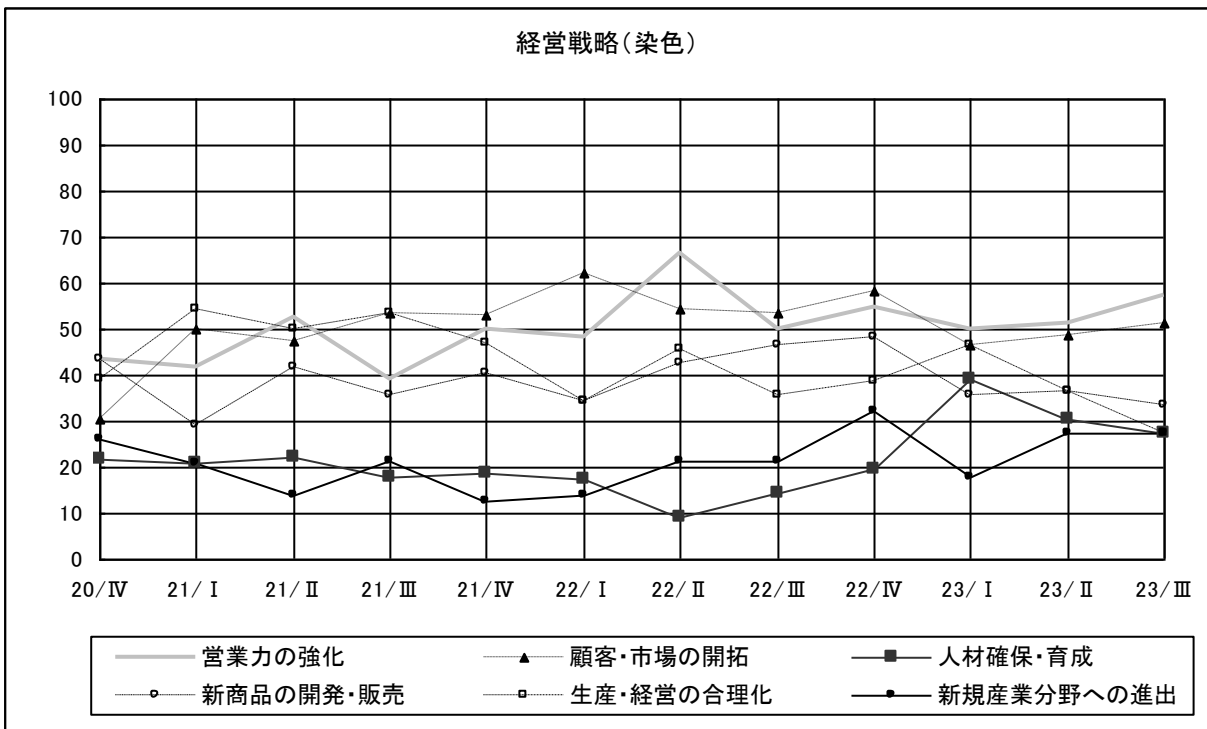


図 26. 当面の経営戦略・印刷

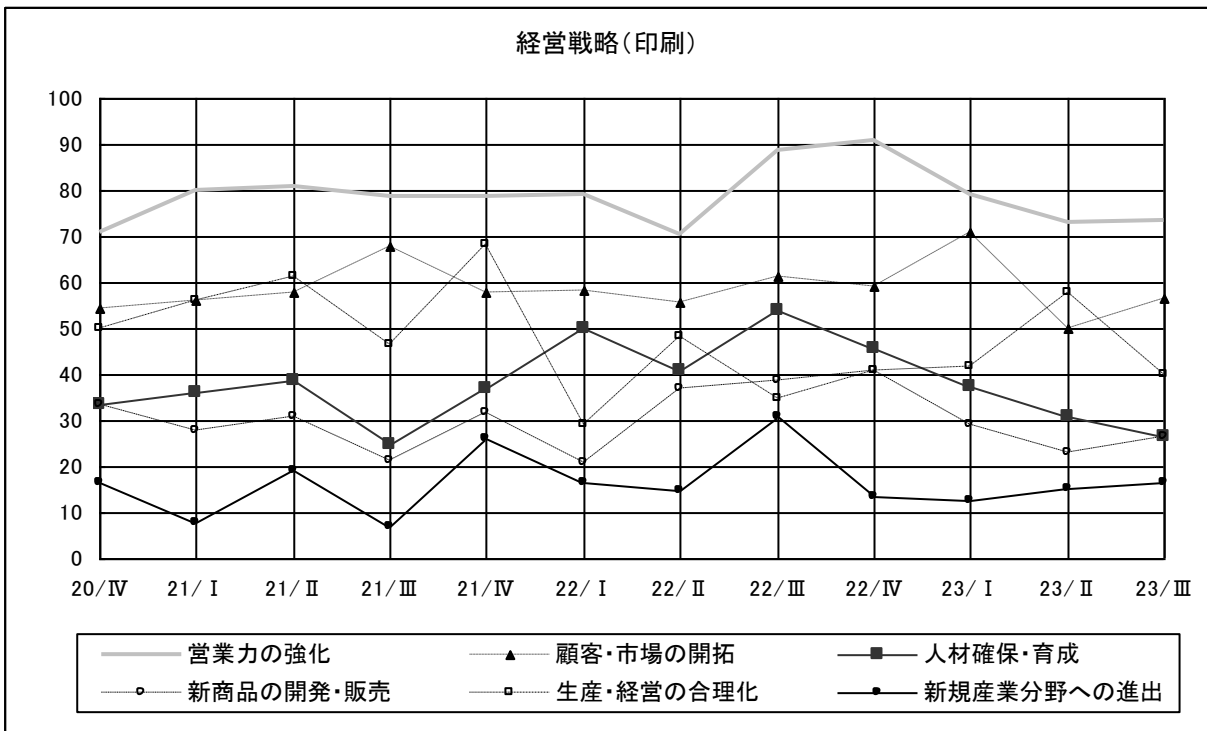


図 27. 当面の経営戦略・窯業

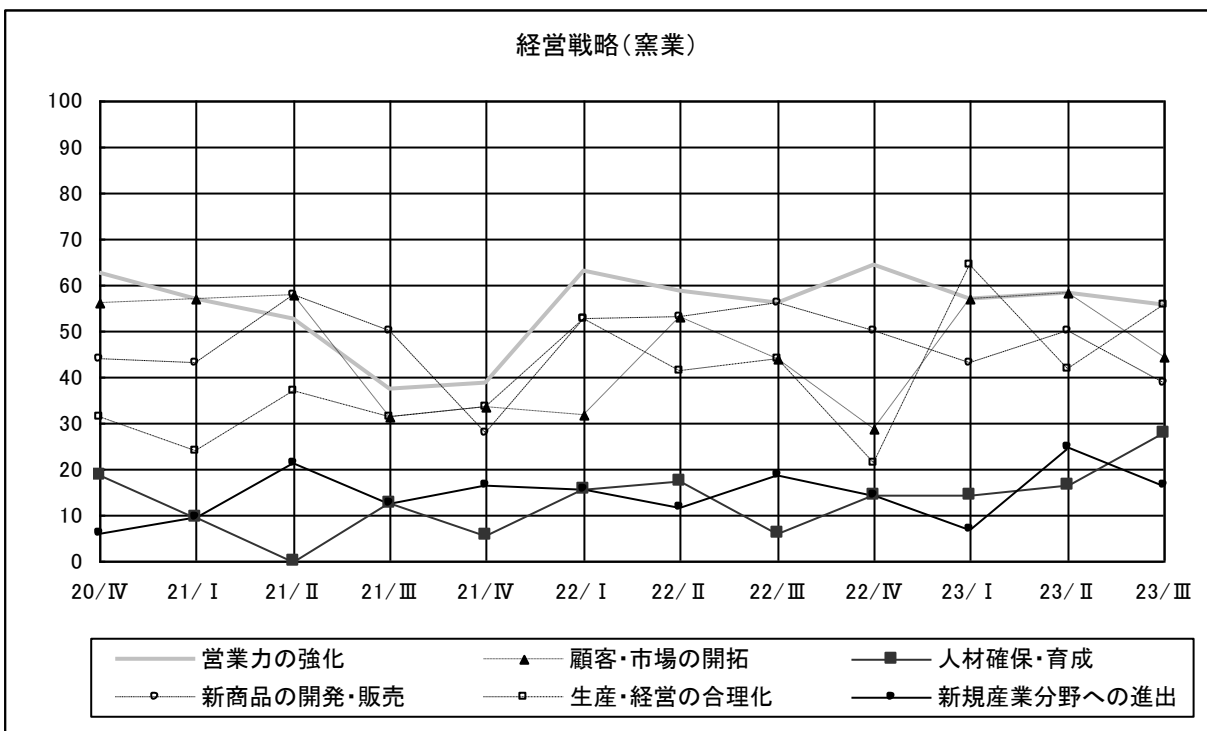


図 28. 当面の経営戦略・化学

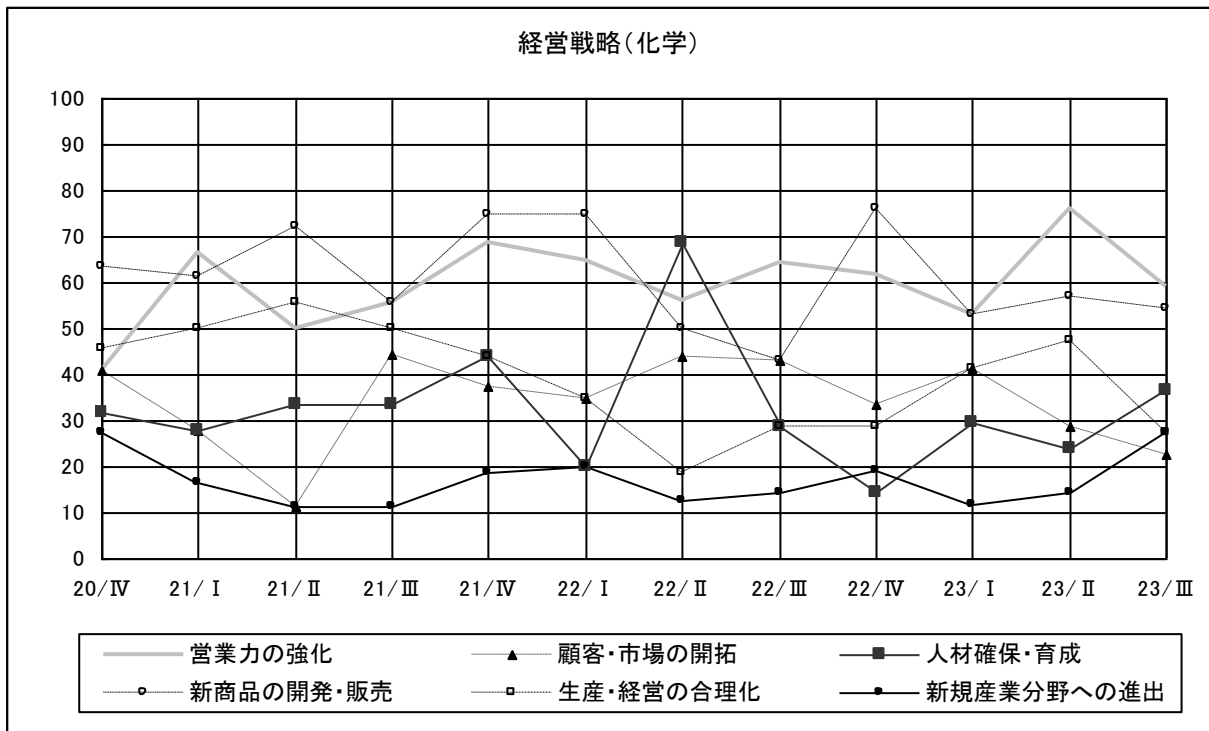


図 29. 当面の経営戦略・金属

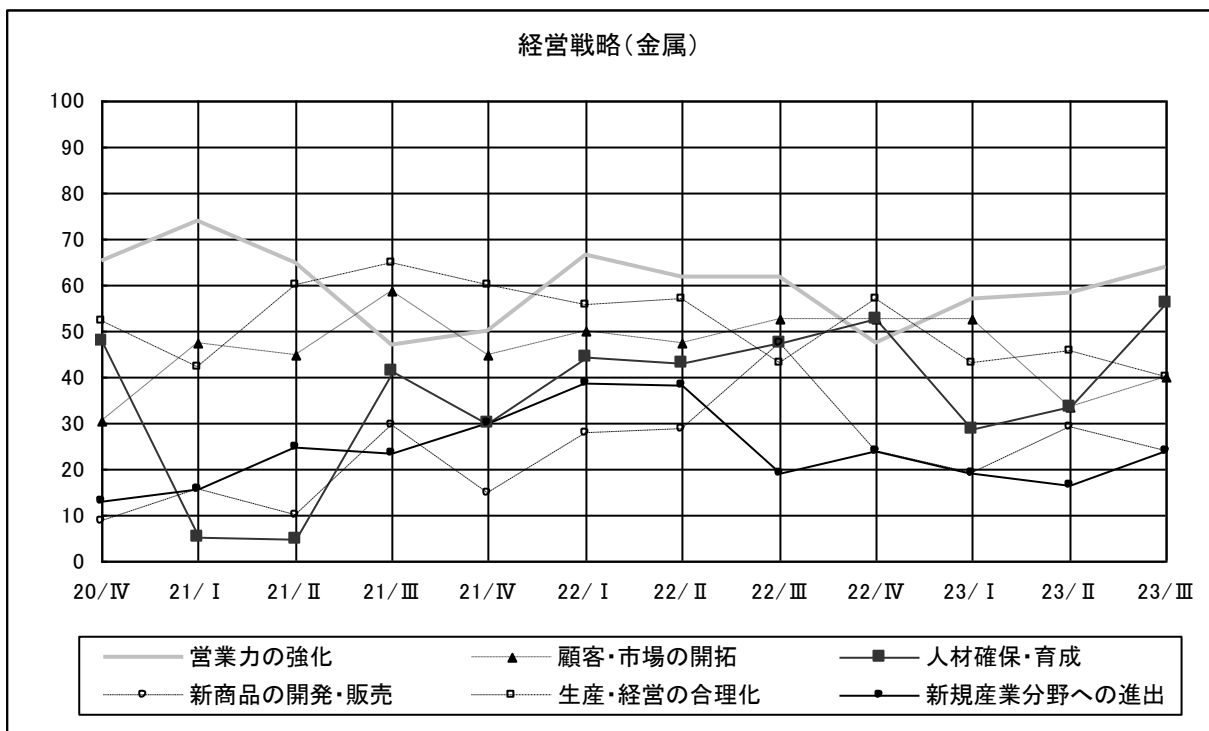


図 30. 当面の経営戦略・機械

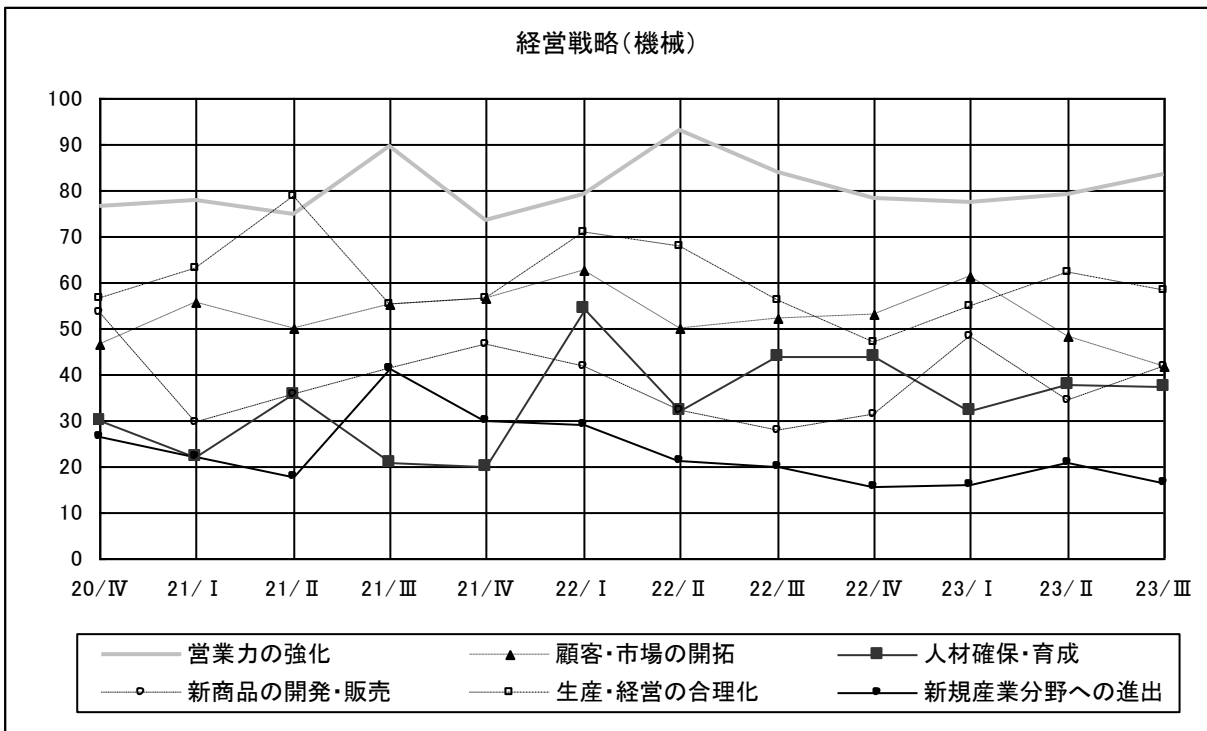


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

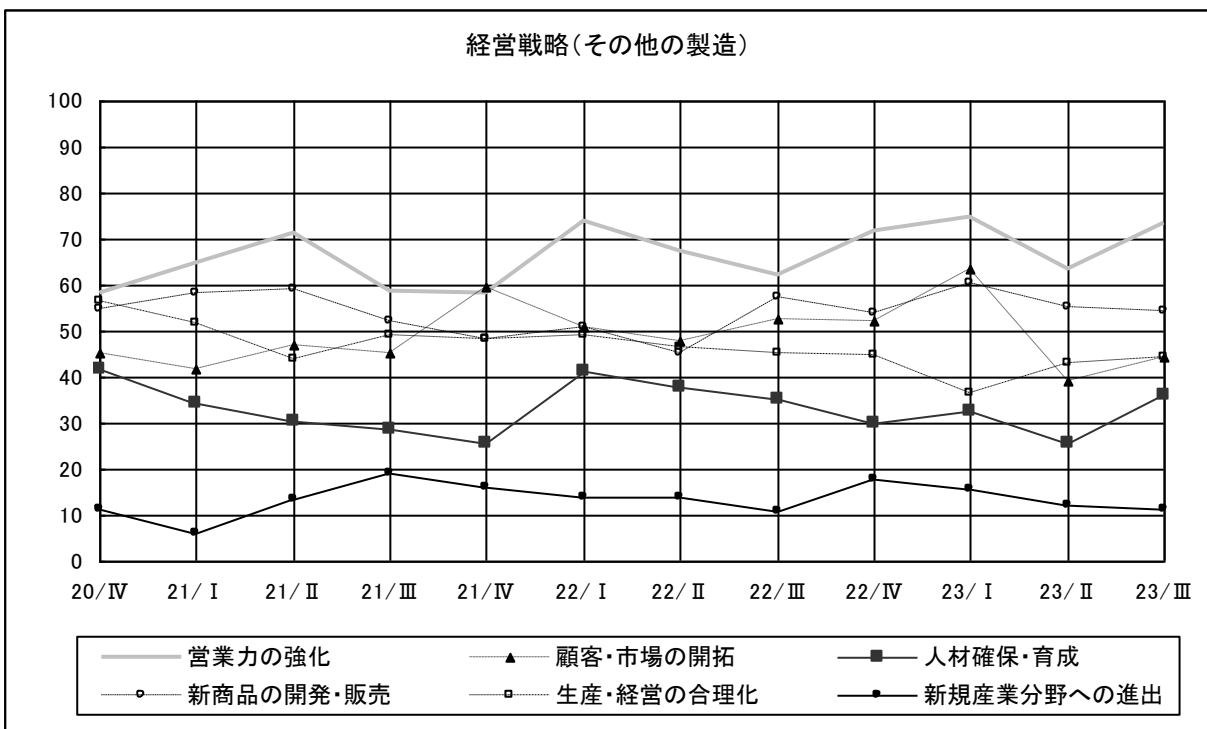


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

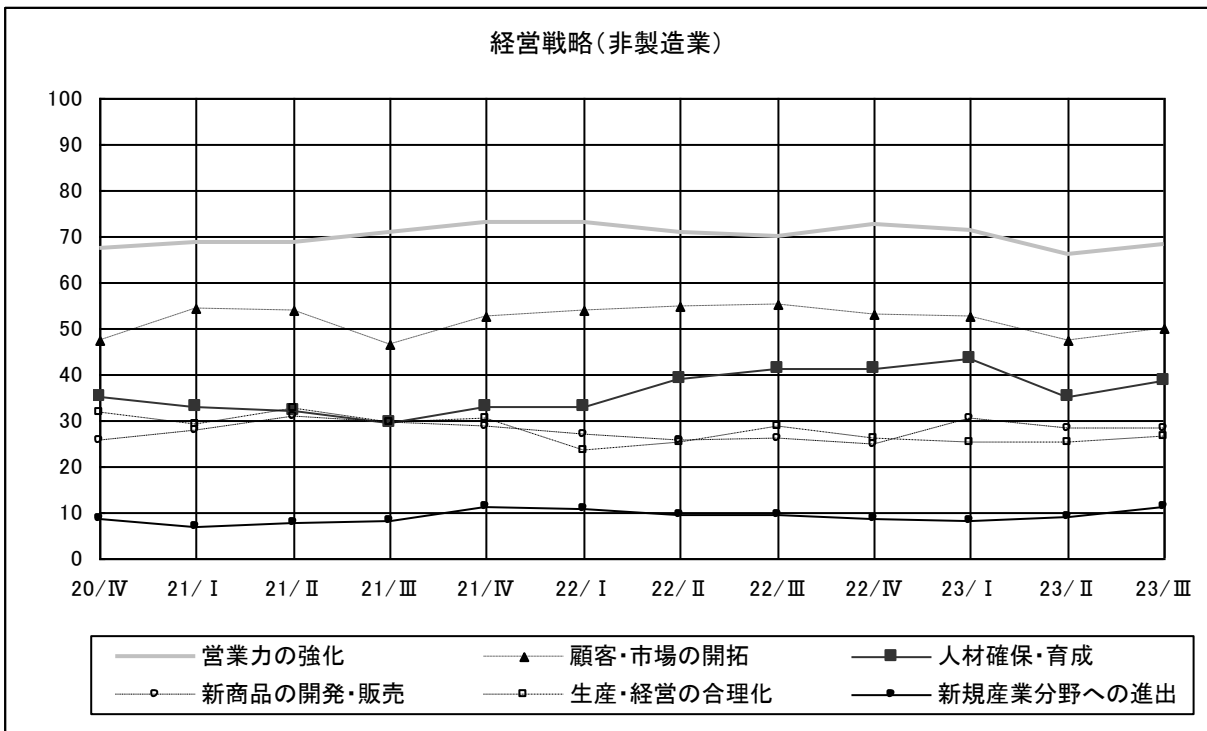


図 33. 当面の経営戦略・卸売

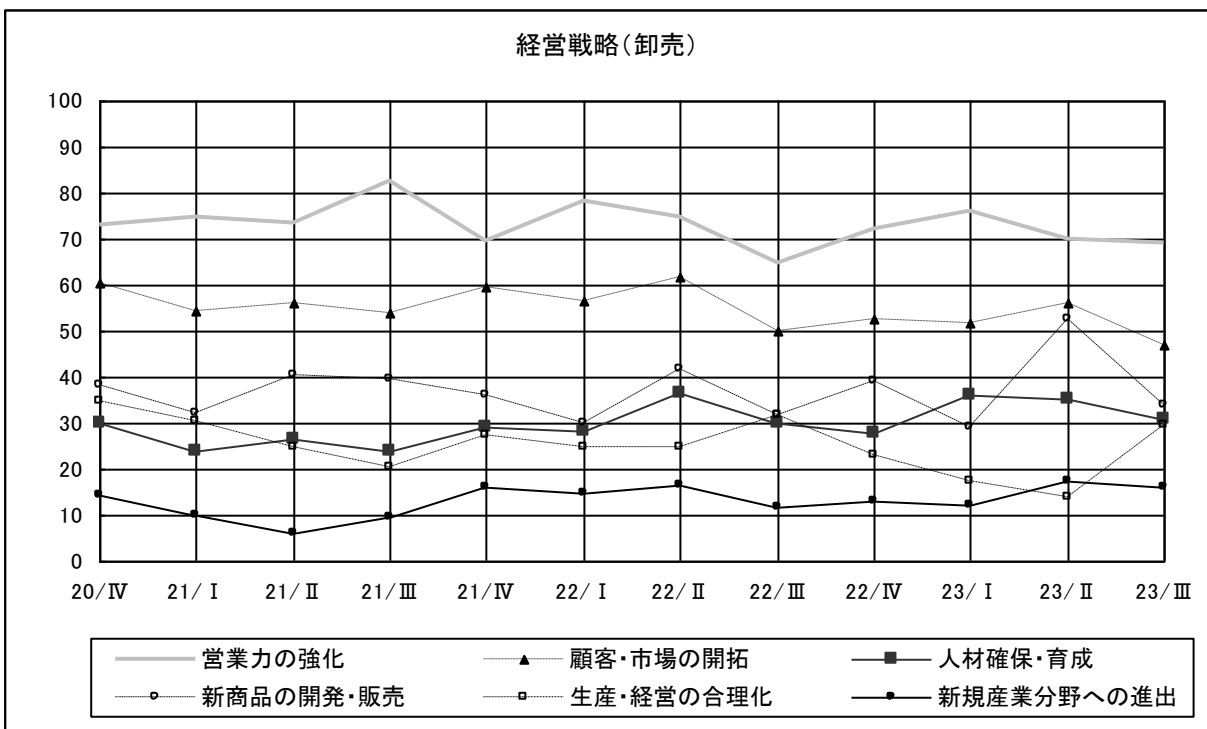


図 34. 当面の経営戦略・小売

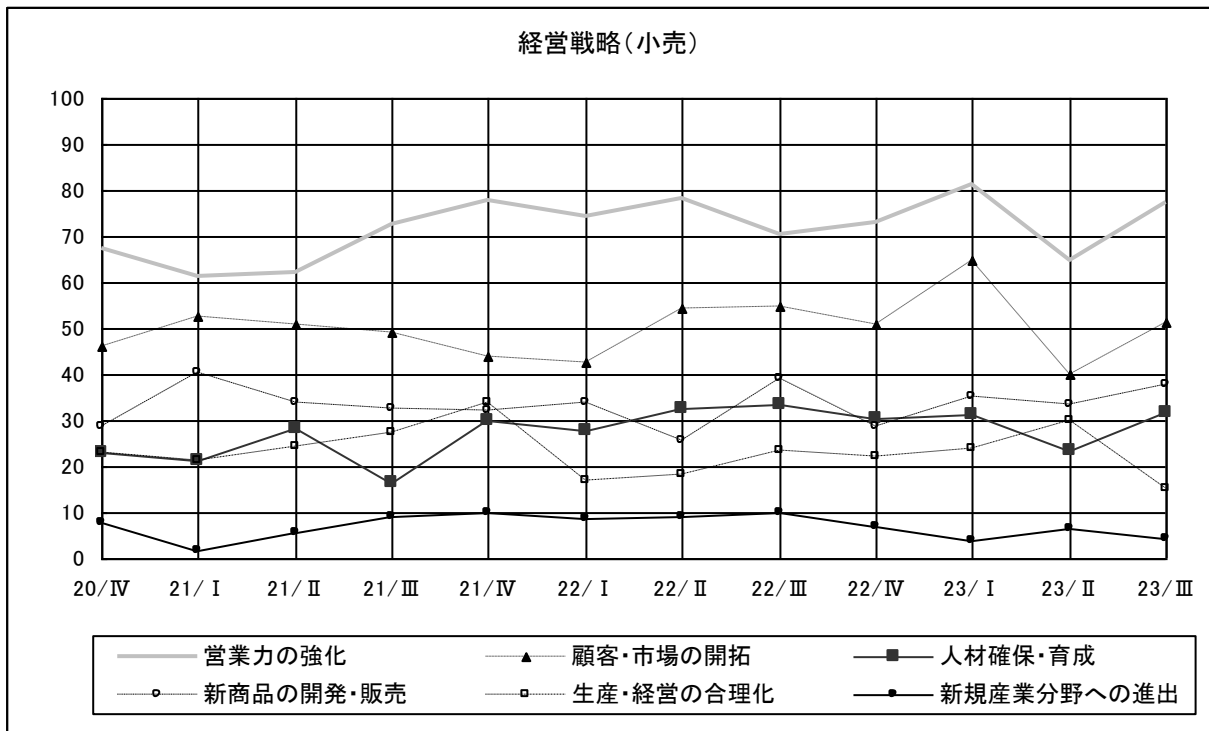


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

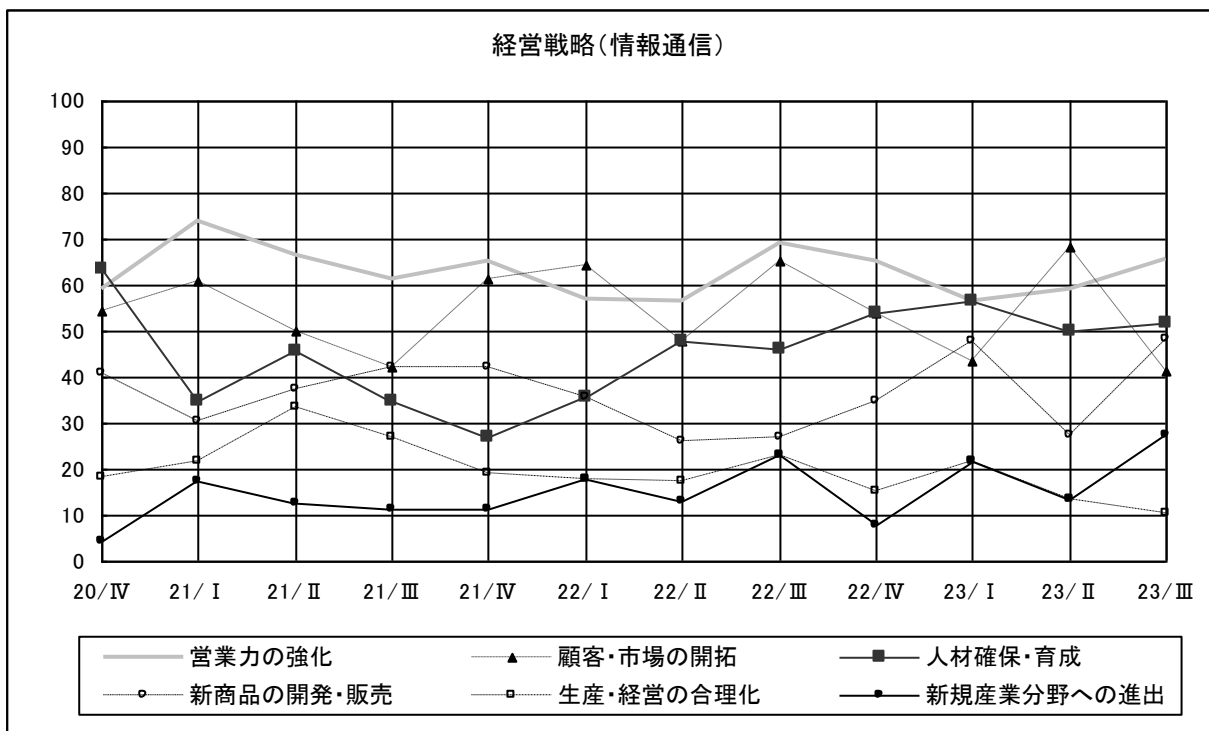


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

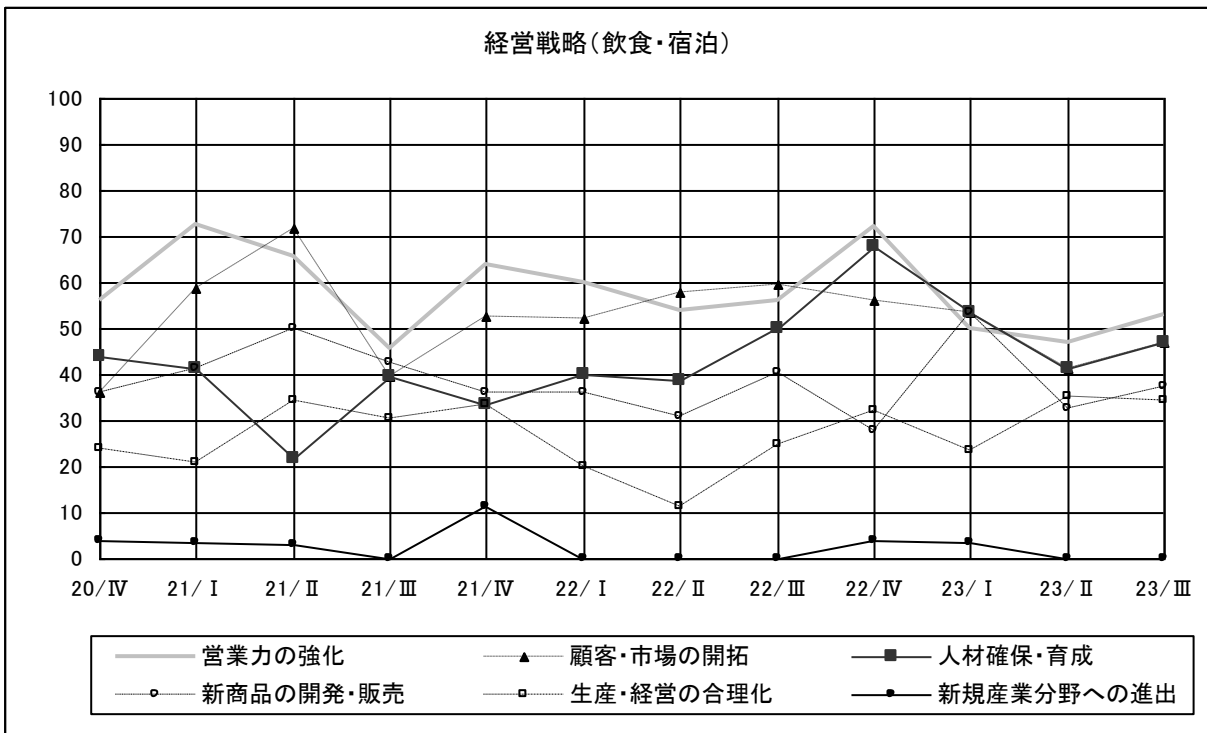


図 37. 当面の経営戦略・サービス

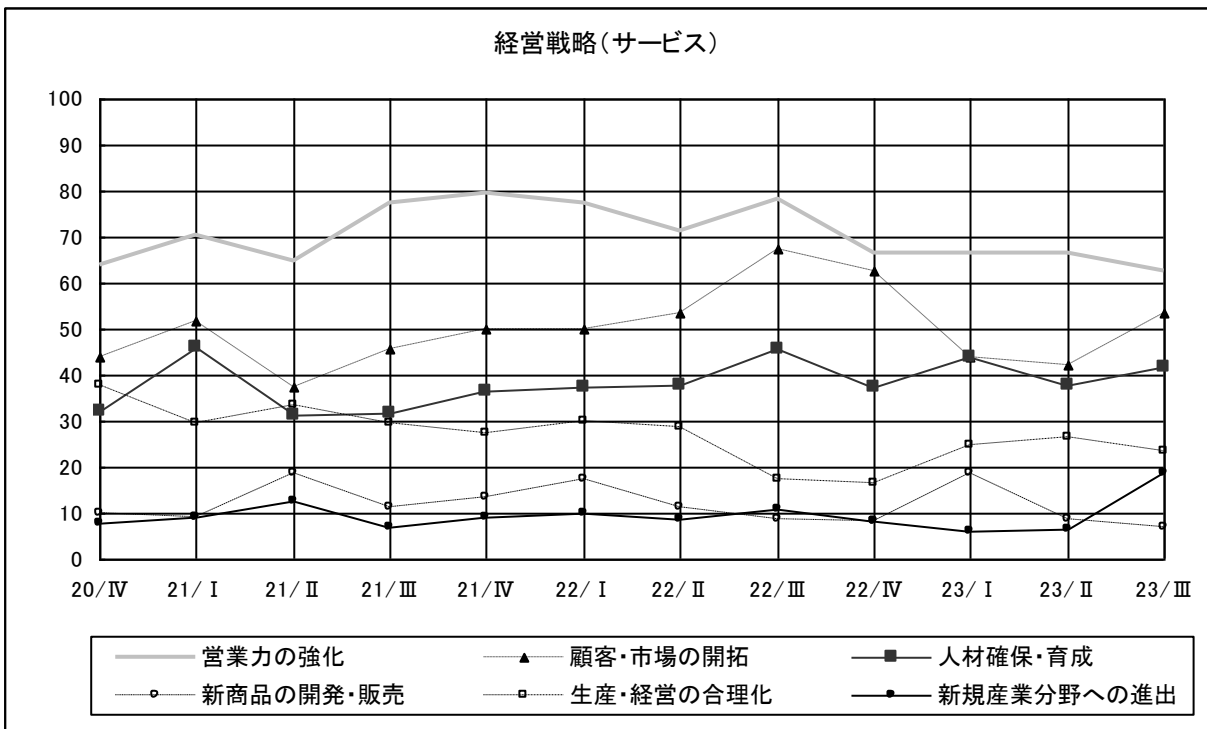


図 38. 当面の経営戦略・建設

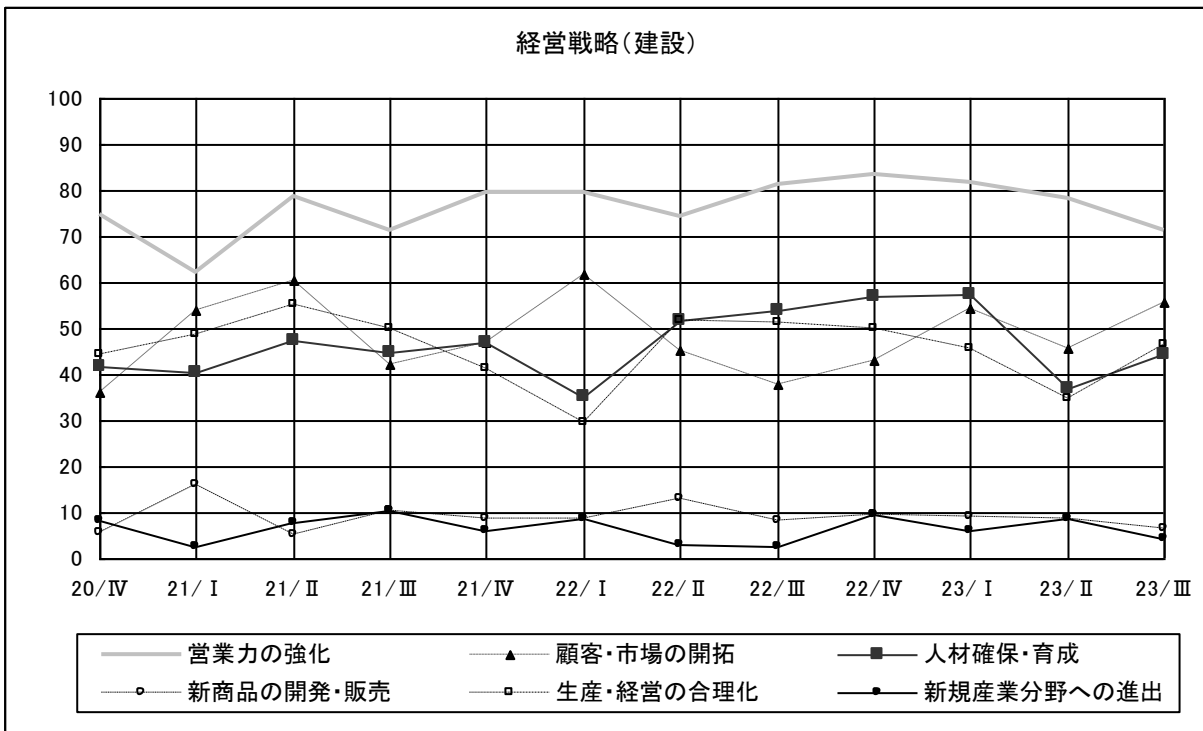


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	361 68.2%	173 32.7%	193 36.5%	76 14.4%	251 47.4%	187 35.3%	38 7.2%	73 13.8%	10 1.9%	529 100.0%	10
製造業	168 68.3%	98 39.8%	83 33.7%	44 17.9%	110 44.7%	107 43.5%	31 12.6%	32 13.0%	4 1.6%	246 100.0%	5
西陣	15 68.2%	5 22.7%	4 18.2%	3 13.6%	11 50.0%	14 63.6%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	22 100.0%	2
染色	19 57.6%	9 27.3%	9 27.3%	9 27.3%	17 51.5%	11 33.3%	2 6.1%	5 15.2%	1 3.0%	33 100.0%	1
印刷	22 73.3%	12 40.0%	8 26.7%	5 16.7%	17 56.7%	8 26.7%	2 6.7%	8 26.7%	0 0.0%	30 100.0%	0
窯業	10 55.6%	10 55.6%	5 27.8%	3 16.7%	8 44.4%	7 38.9%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	18 100.0%	1
化学	13 59.1%	6 27.3%	8 36.4%	6 27.3%	5 22.7%	12 54.5%	10 45.5%	3 13.6%	1 4.5%	22 100.0%	1
金属	16 64.0%	10 40.0%	14 56.0%	6 24.0%	10 40.0%	6 24.0%	2 8.0%	3 12.0%	0 0.0%	25 100.0%	0
機械	20 83.3%	14 58.3%	9 37.5%	4 16.7%	10 41.7%	10 41.7%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	24 100.0%	0
その他の製造	53 73.6%	32 44.4%	26 36.1%	8 11.1%	32 44.4%	39 54.2%	10 13.9%	8 11.1%	0 0.0%	72 100.0%	0
非製造業	193 68.2%	75 26.5%	110 38.9%	32 11.3%	141 49.8%	80 28.3%	7 2.5%	41 14.5%	6 2.1%	283 100.0%	5
卸売	47 69.1%	20 29.4%	21 30.9%	11 16.2%	32 47.1%	23 33.8%	3 4.4%	5 7.4%	2 2.9%	68 100.0%	2
小売	51 77.3%	10 15.2%	21 31.8%	3 4.5%	34 51.5%	25 37.9%	0 0.0%	13 19.7%	0 0.0%	66 100.0%	1
情報通信	19 65.5%	3 10.3%	15 51.7%	8 27.6%	12 41.4%	14 48.3%	2 6.9%	4 13.8%	0 0.0%	29 100.0%	0
飲食・宿泊	17 53.1%	11 34.4%	15 46.9%	0 0.0%	15 46.9%	12 37.5%	0 0.0%	2 6.3%	2 6.3%	32 100.0%	1
サービス	27 62.8%	10 23.3%	18 41.9%	8 18.6%	23 53.5%	3 7.0%	0 0.0%	7 16.3%	2 4.7%	43 100.0%	1
建設	32 71.1%	21 46.7%	20 44.4%	2 4.4%	25 55.6%	3 6.7%	2 4.4%	10 22.2%	0 0.0%	45 100.0%	0
観光関連	29 69.0%	17 40.5%	15 35.7%	1 2.4%	19 45.2%	18 42.9%	2 4.8%	7 16.7%	1 2.4%	42 100.0%	1

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

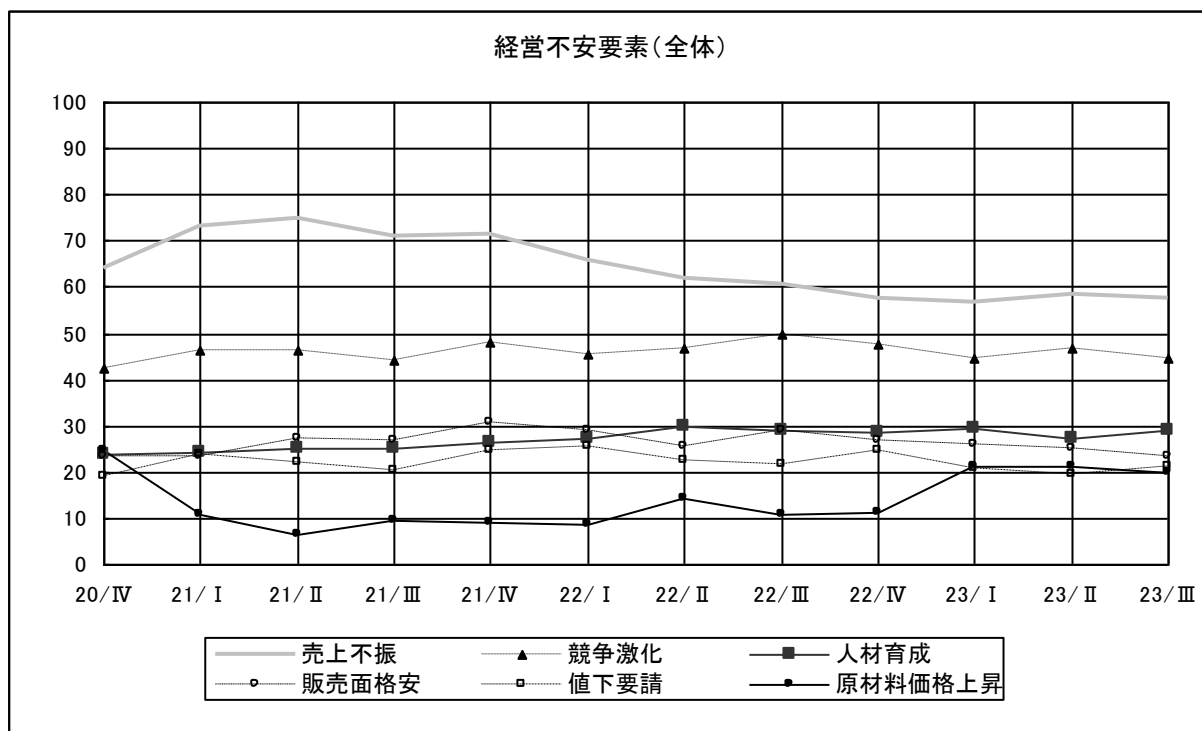


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

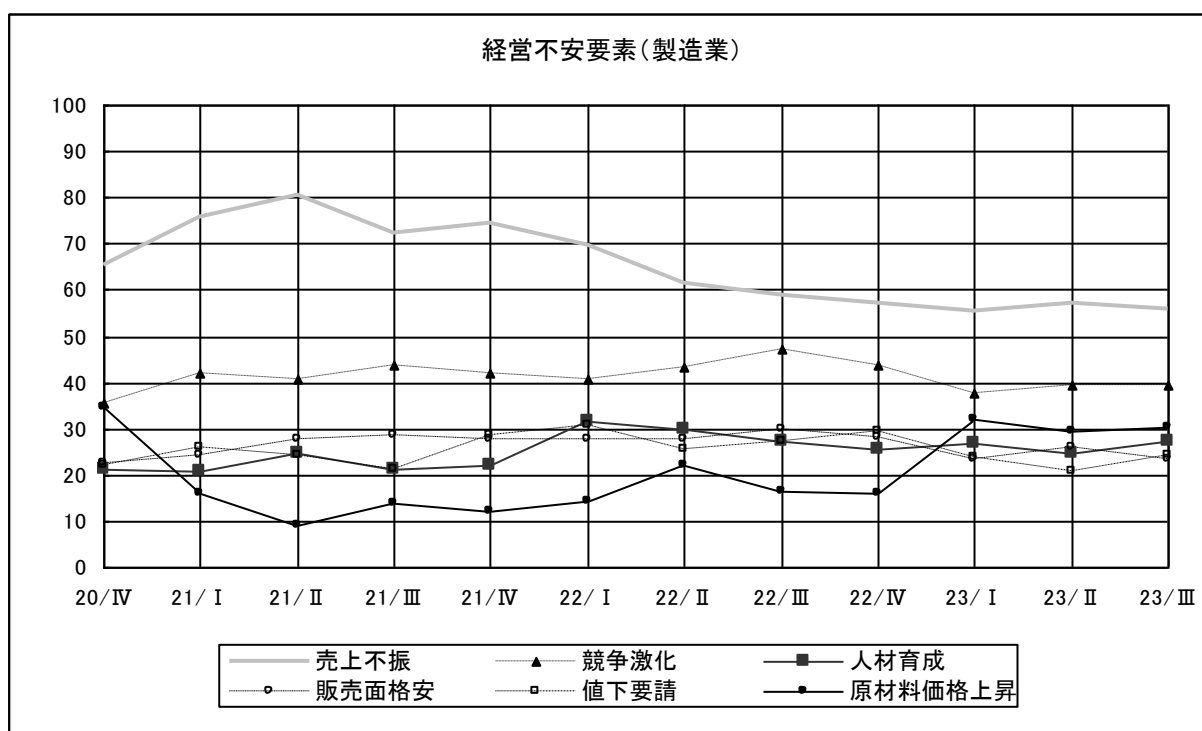


図 41. 経営上の不安要素・西陣

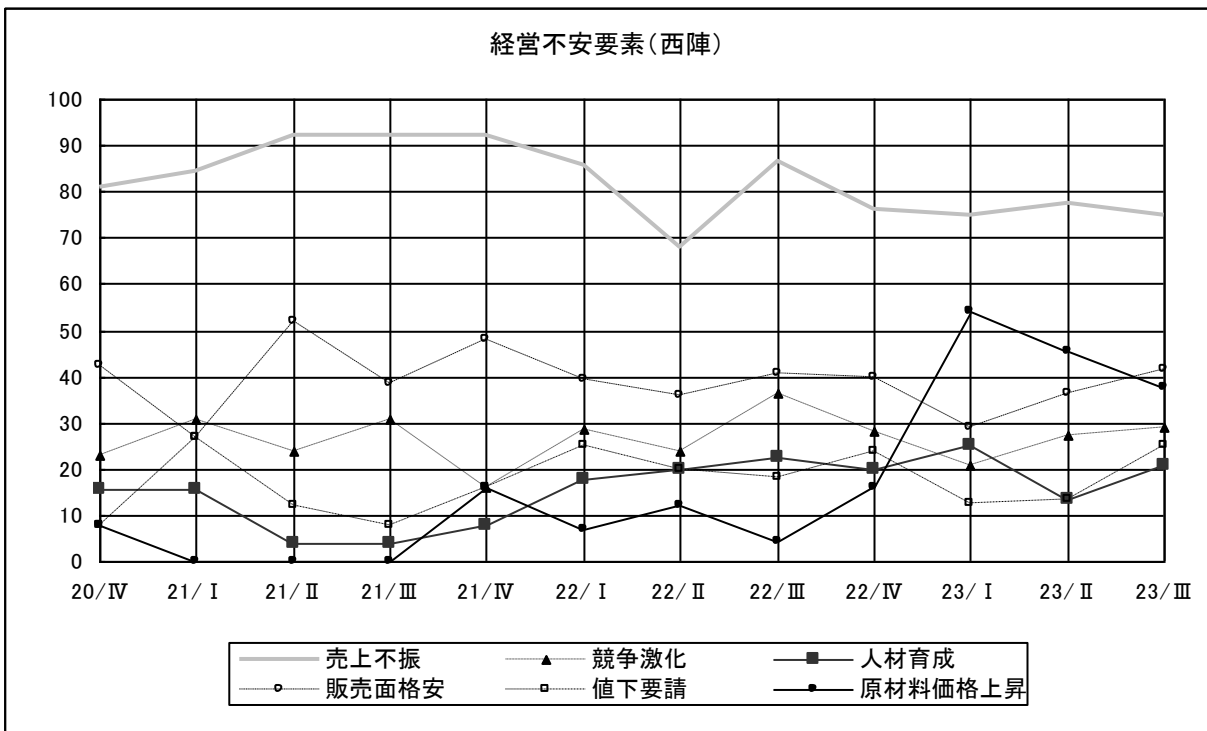


図 42. 経営上の不安要素・染色

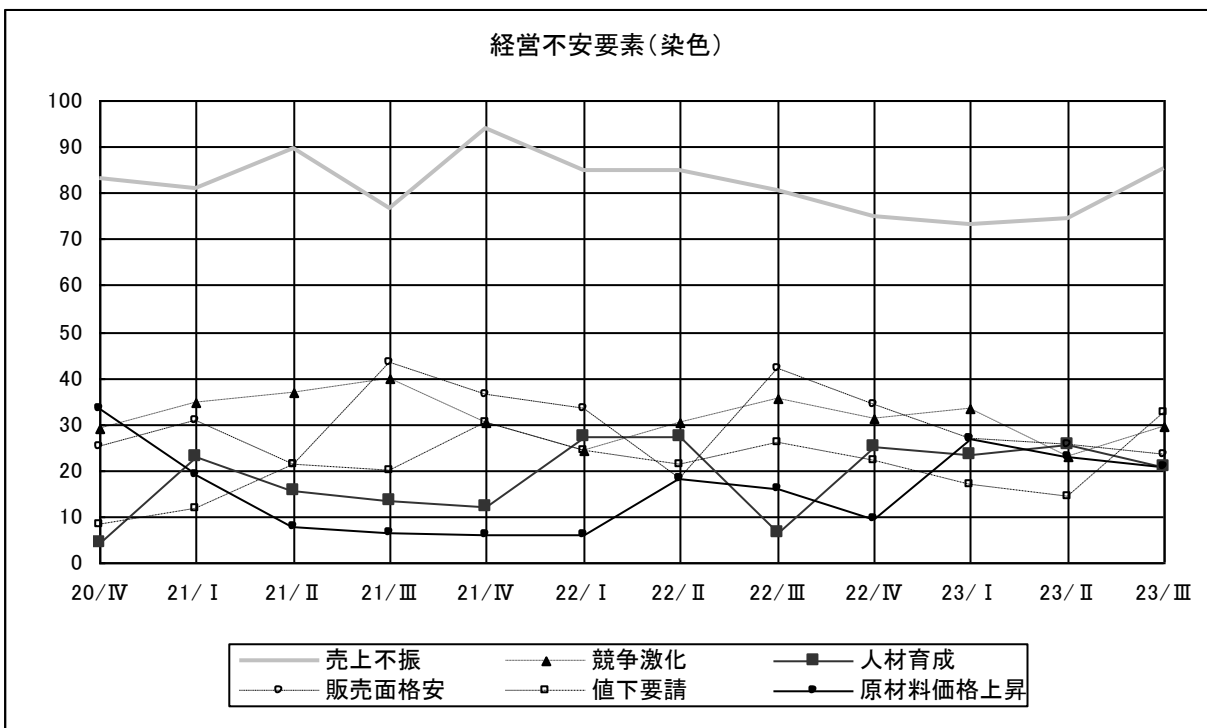


図 43. 経営上の不安要素・印刷

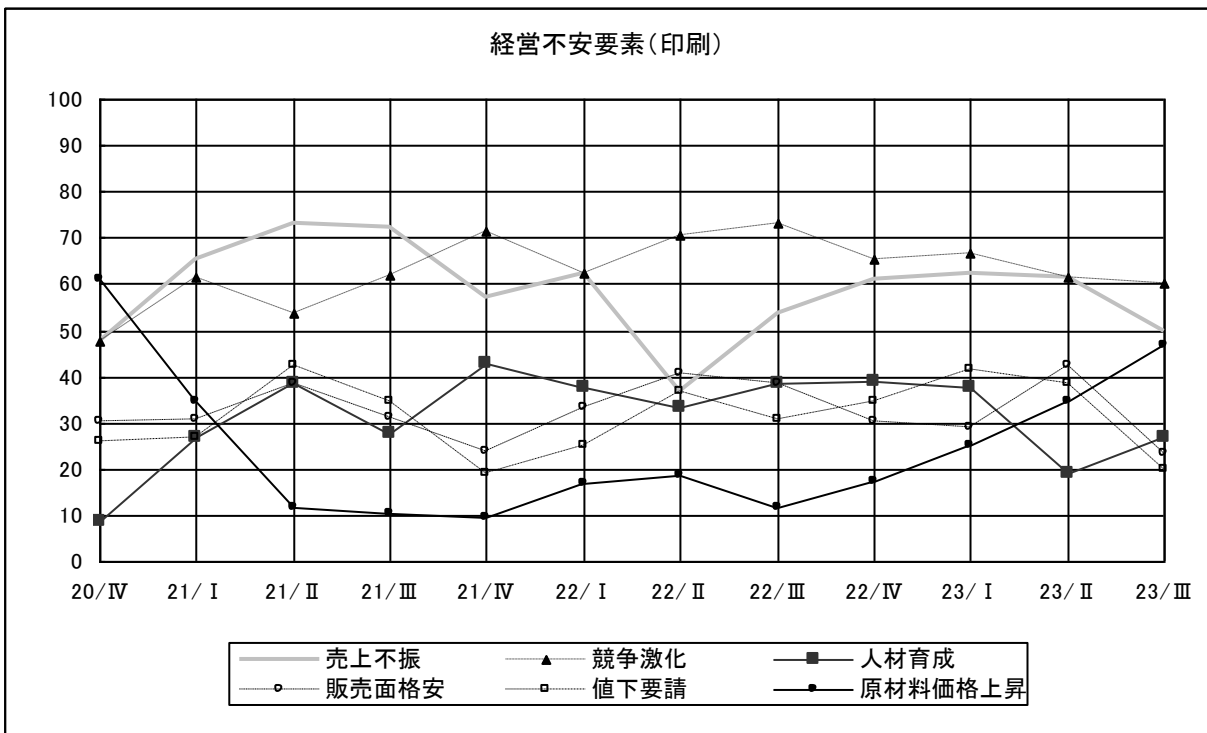


図 44. 経営上の不安要素・窯業

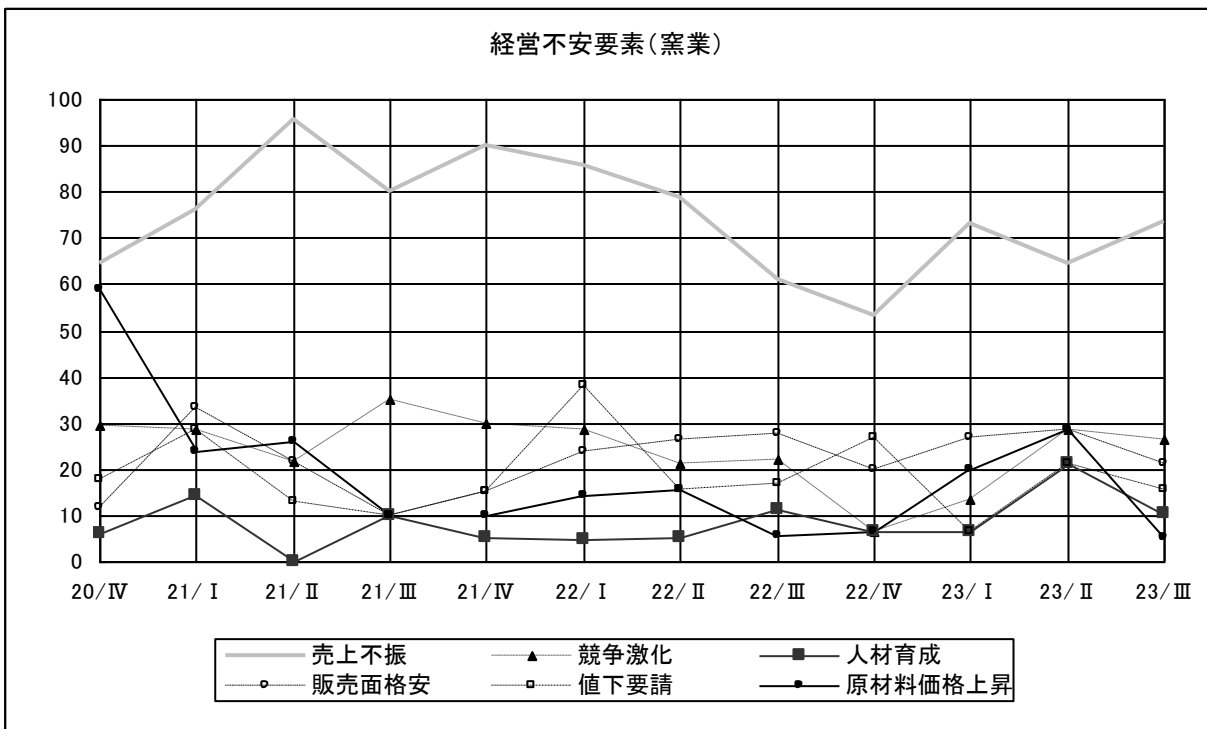


図 45. 経営上の不安要素・化学

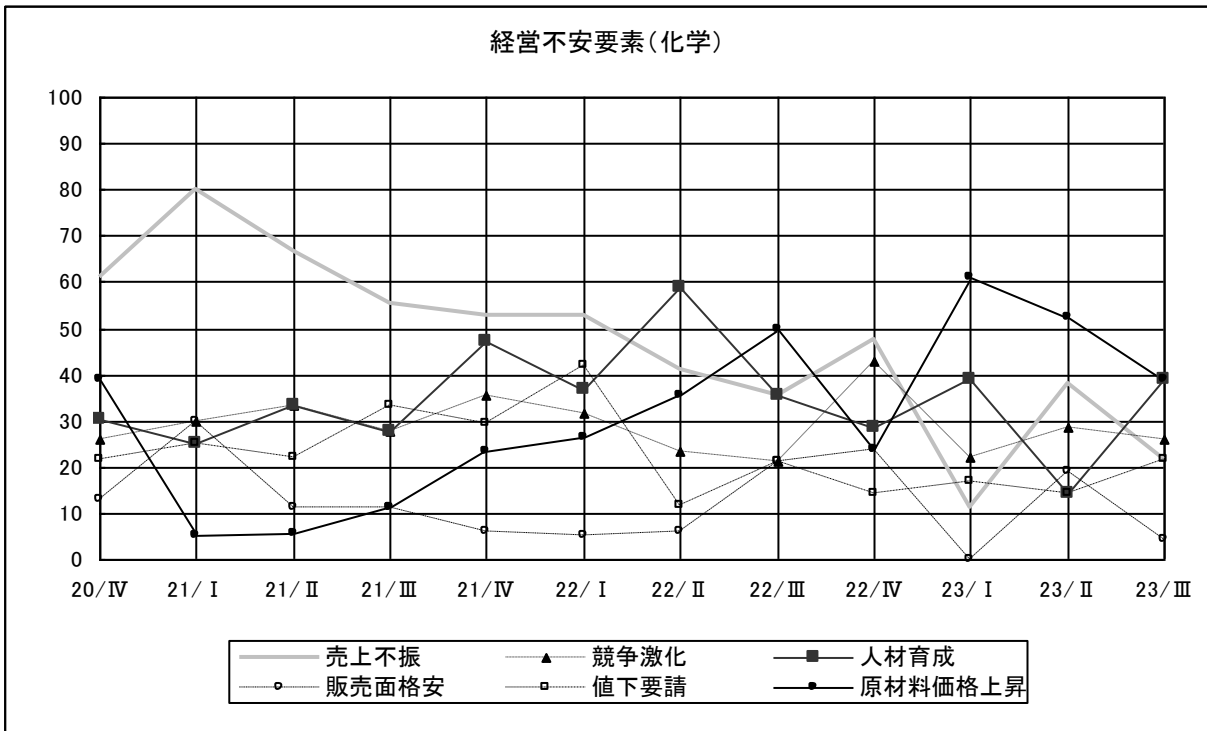


図 46. 経営上の不安要素・金属

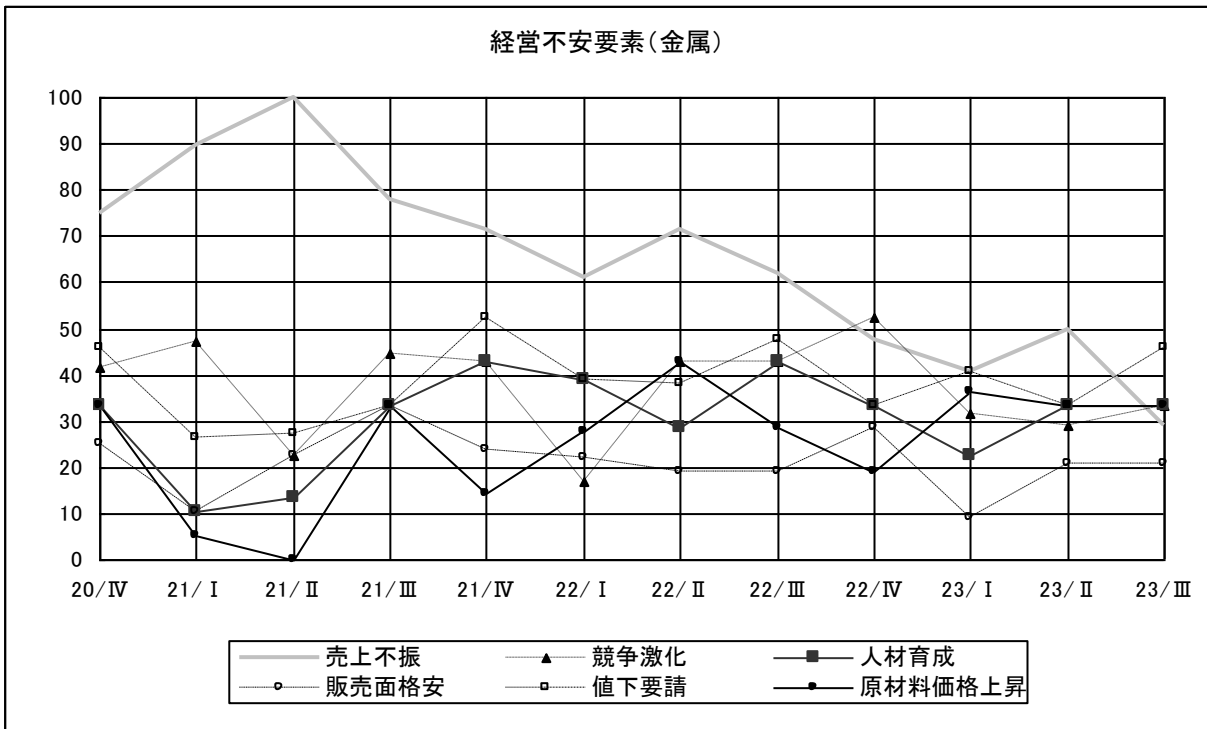


図 47. 経営上の不安要素・機械

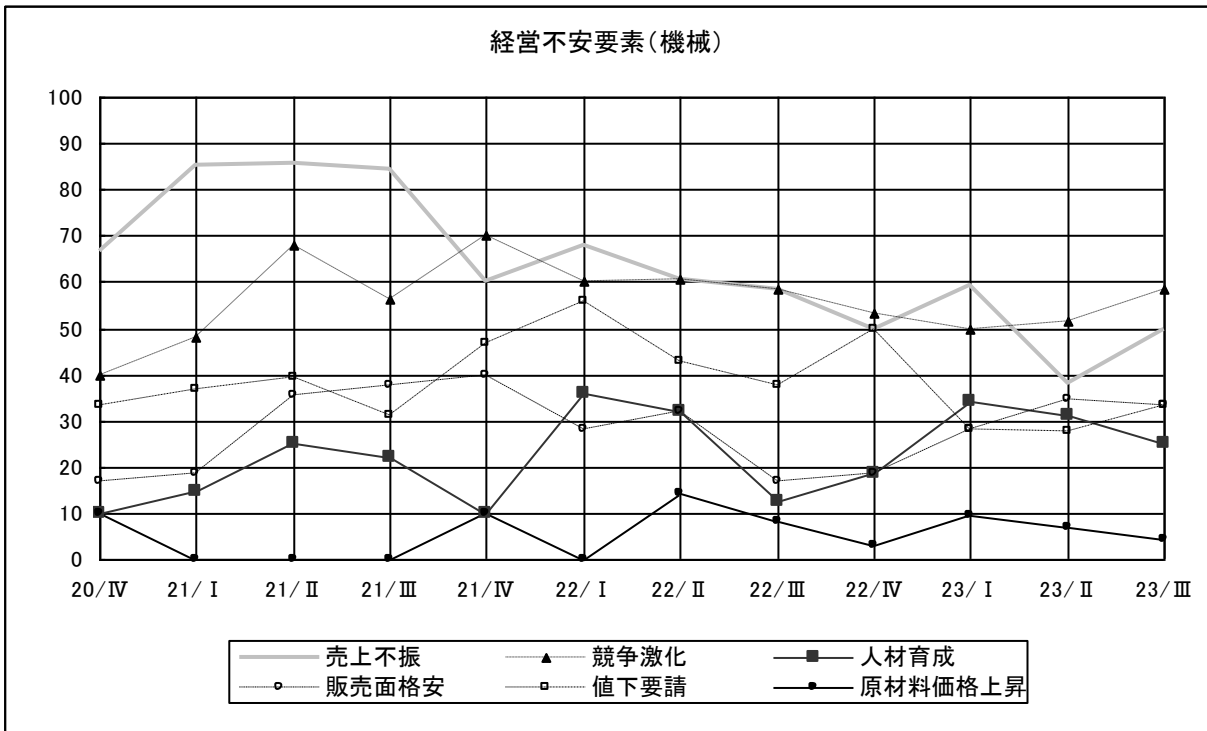


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

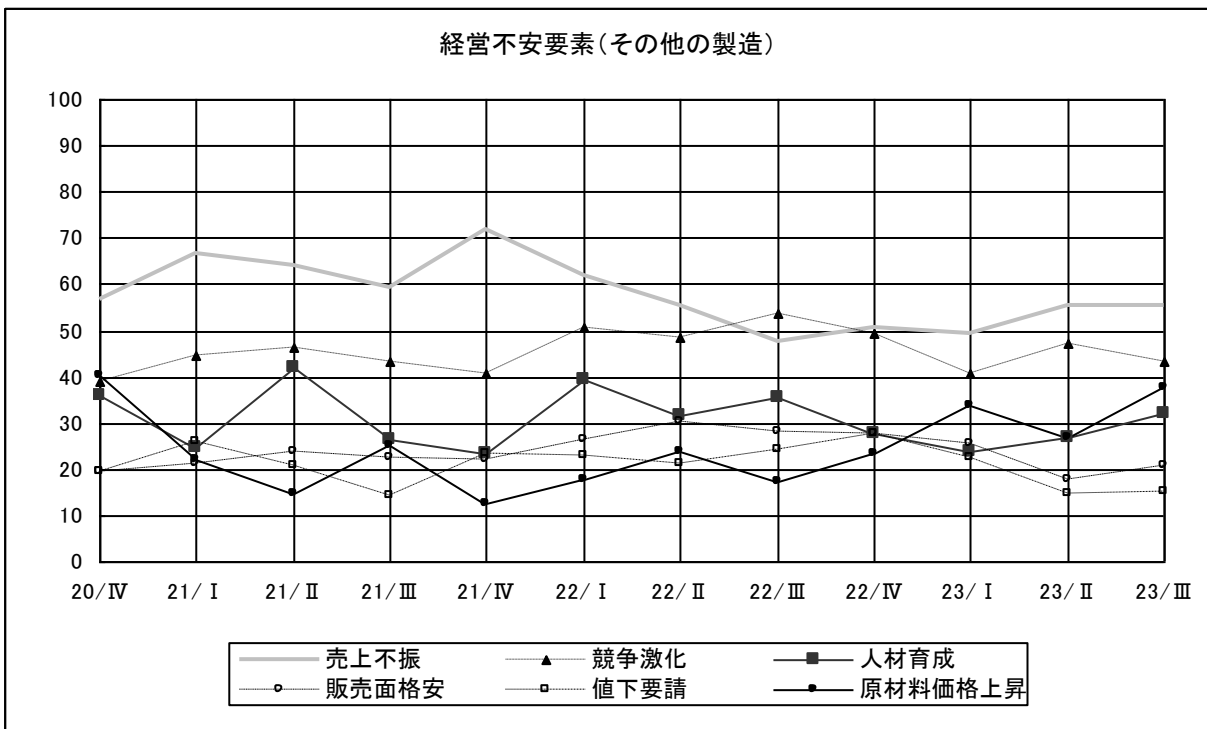


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

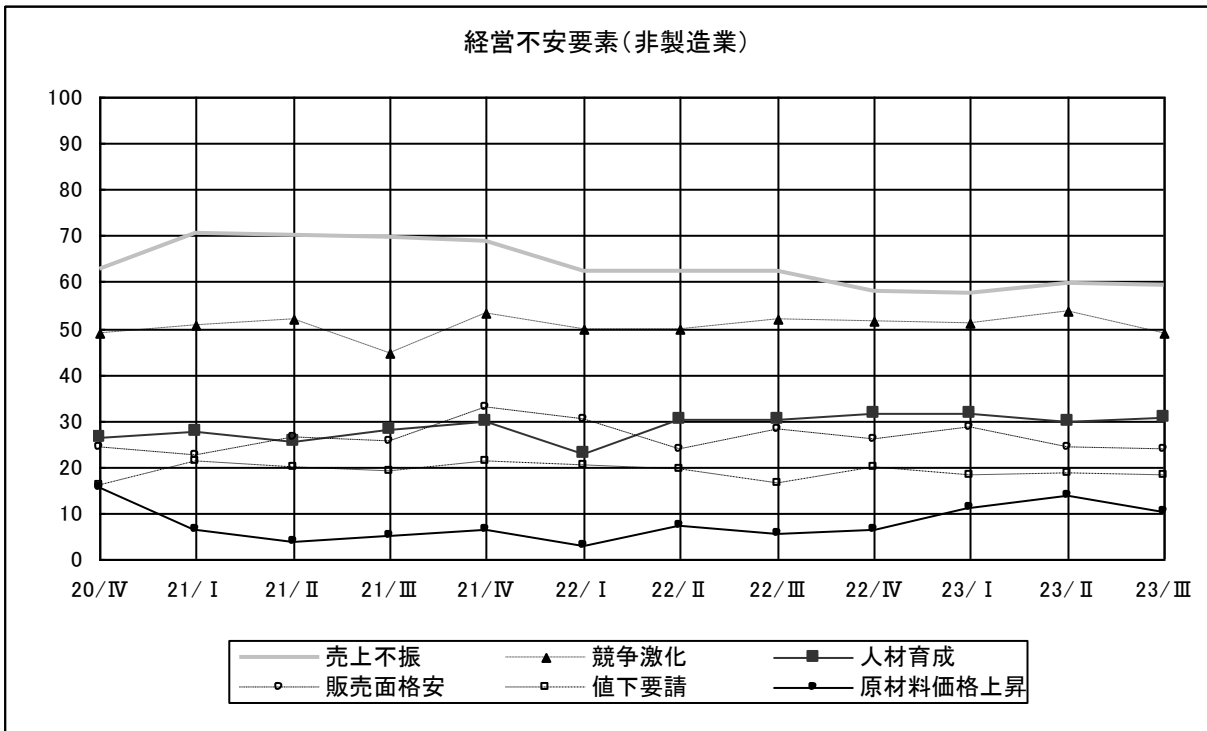


図 50. 経営上の不安要素・卸売

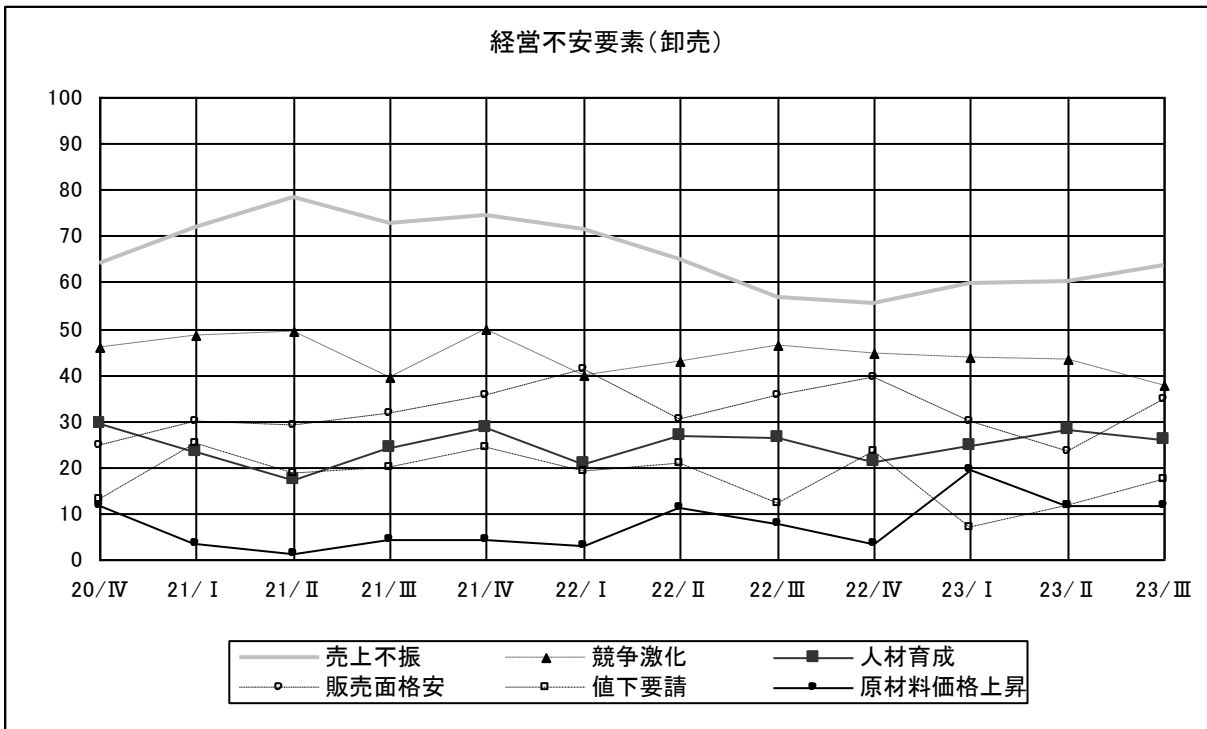


図 51. 経営上の不安要素・小売

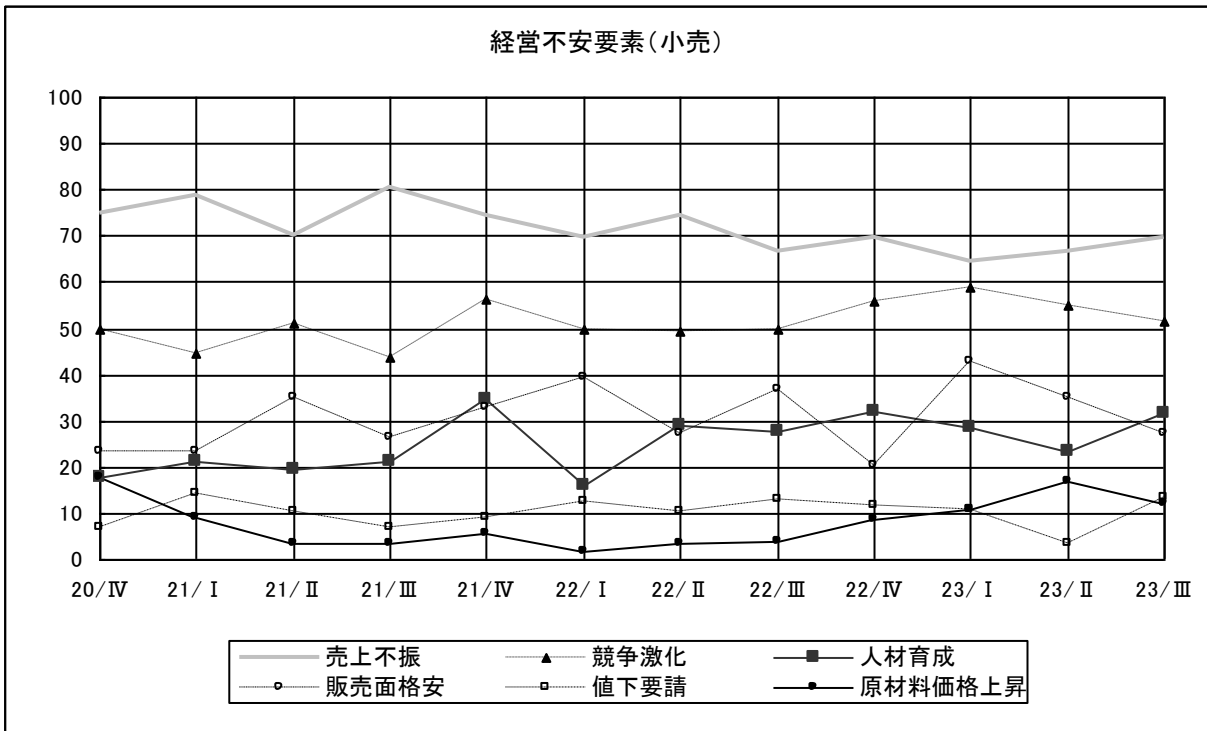


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

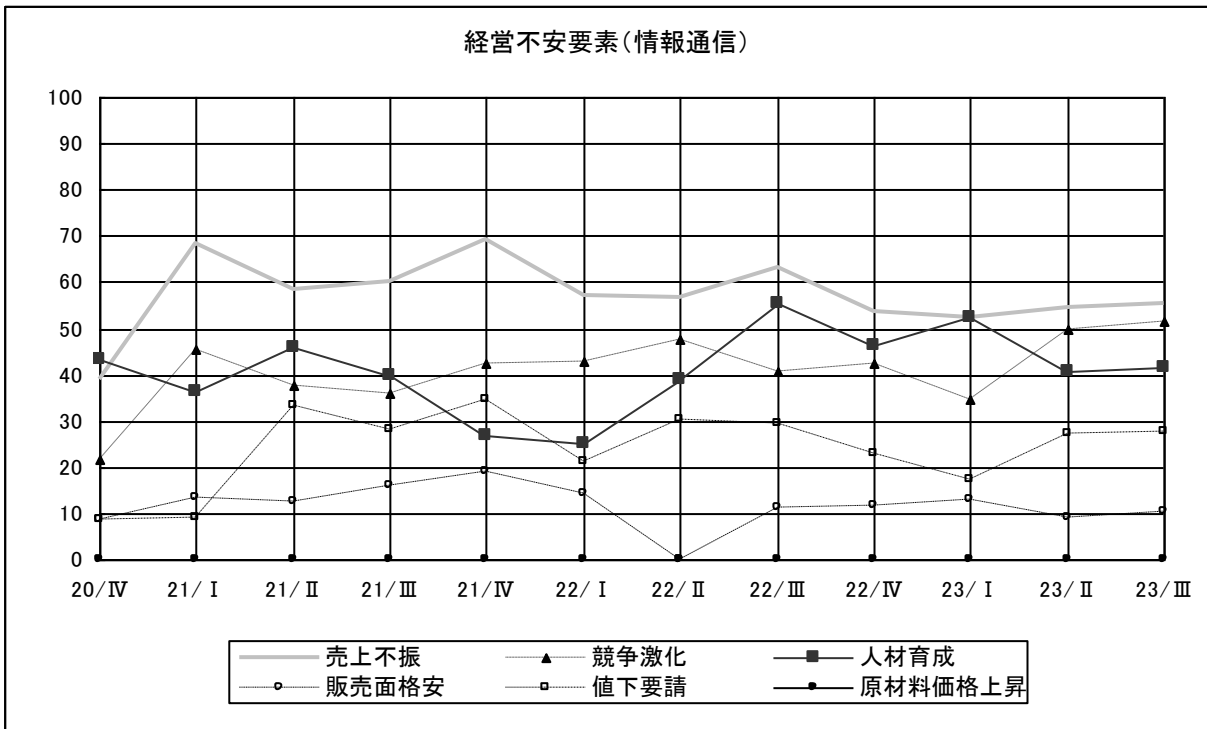


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

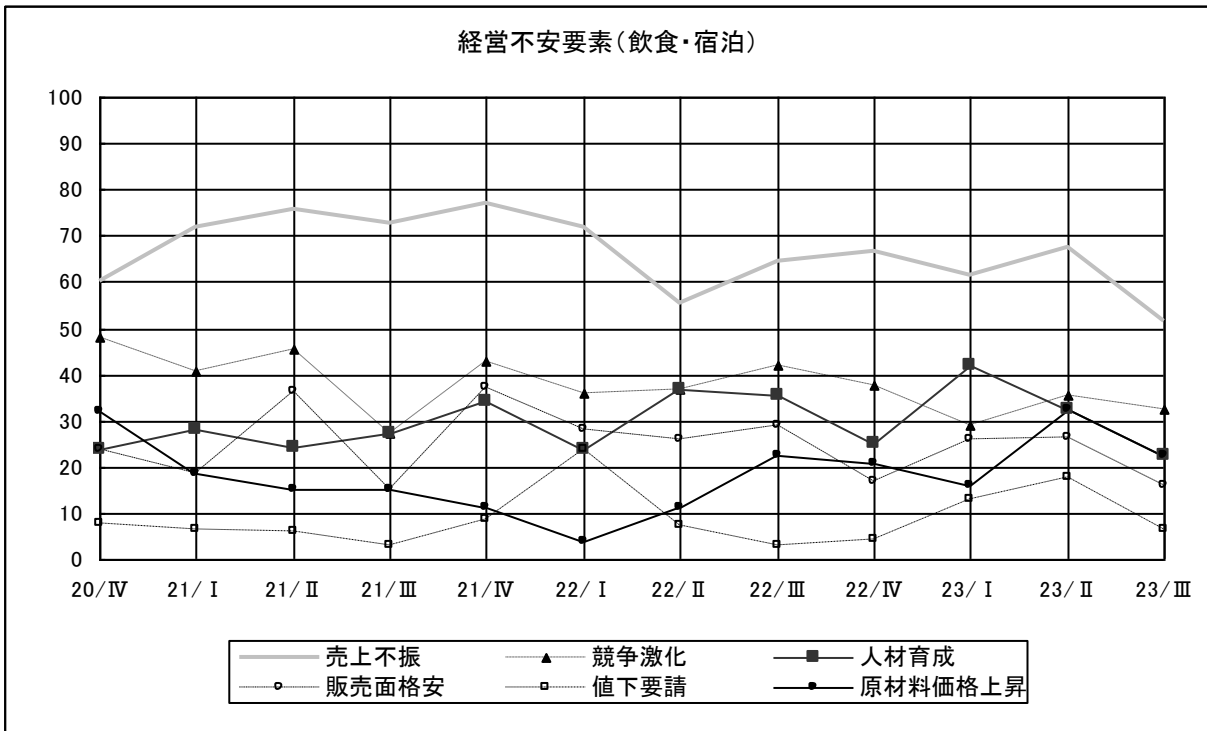


図 54. 経営上の不安要素・サービス

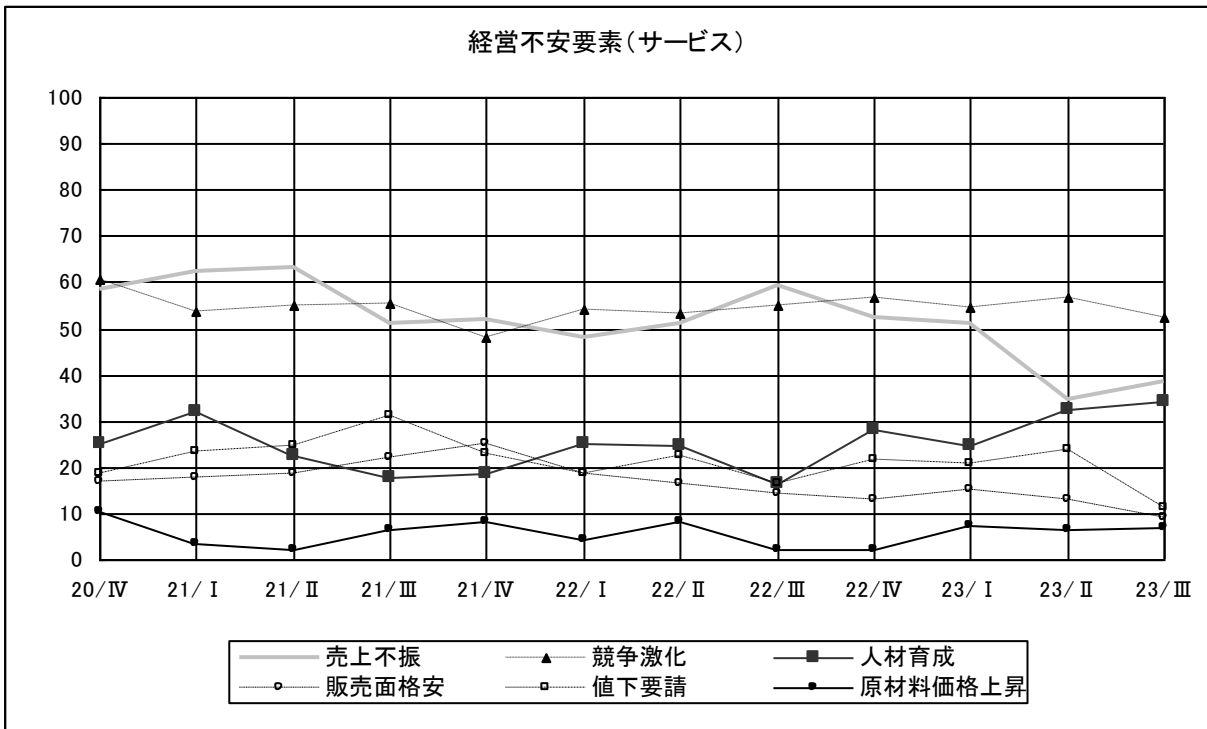


図 55. 経営上の不安要素・建設

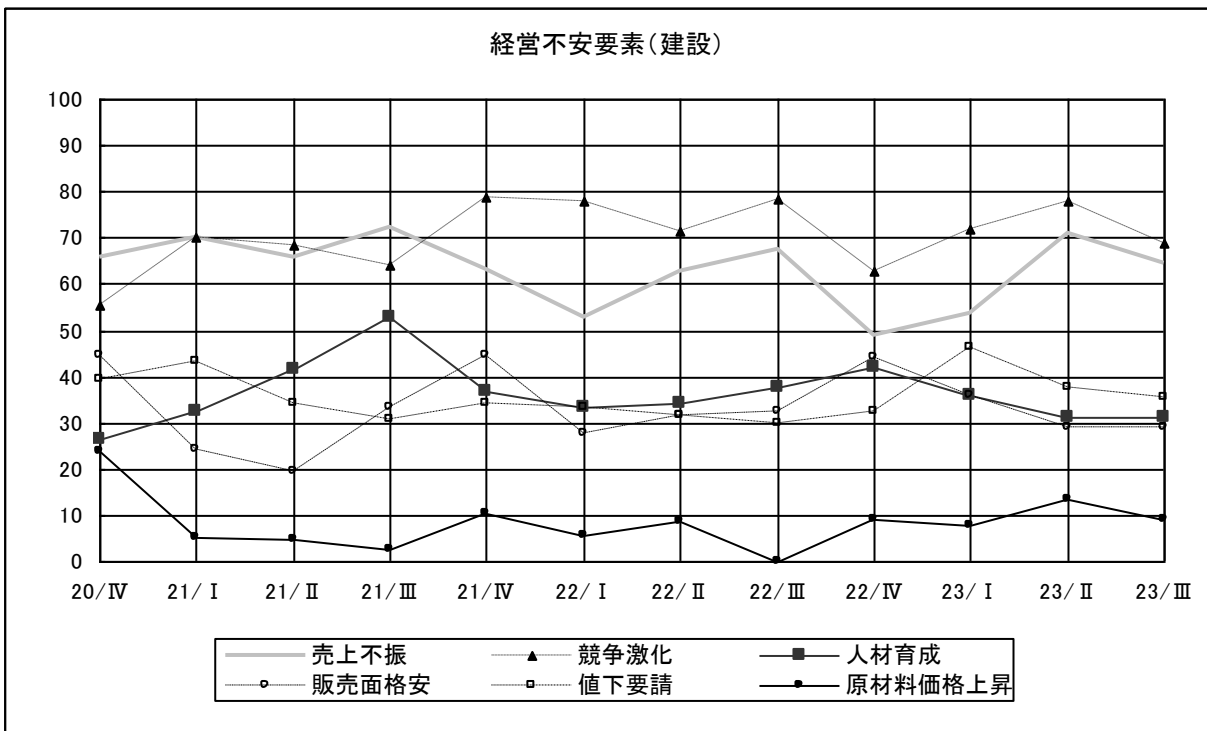


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	238 44.6%	308 57.7%	155 29.0%	113 21.2%	72 13.5%	106 19.9%	11 2.1%	125 23.4%
製造業	99 39.6%	140 56.0%	68 27.2%	61 24.4%	40 16.0%	76 30.4%	5 2.0%	58 23.2%
西陣	7 29.2%	18 75.0%	5 20.8%	6 25.0%	4 16.7%	9 37.5%	1 4.2%	10 41.7%
染色	10 29.4%	29 85.3%	7 20.6%	11 32.4%	3 8.8%	7 20.6%	2 5.9%	8 23.5%
印刷	18 60.0%	15 50.0%	8 26.7%	6 20.0%	7 23.3%	14 46.7%	1 3.3%	7 23.3%
窯業	5 26.3%	14 73.7%	2 10.5%	3 15.8%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%
化学	6 26.1%	5 21.7%	9 39.1%	5 21.7%	3 13.0%	9 39.1%	0 0.0%	1 4.3%
金属	8 33.3%	7 29.2%	8 33.3%	11 45.8%	4 16.7%	8 33.3%	0 0.0%	5 20.8%
機械	14 58.3%	12 50.0%	6 25.0%	8 33.3%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	8 33.3%
その他の製造	31 43.1%	40 55.6%	23 31.9%	11 15.3%	14 19.4%	27 37.5%	1 1.4%	15 20.8%
非製造業	139 48.9%	168 59.2%	87 30.6%	52 18.3%	32 11.3%	30 10.6%	6 2.1%	67 23.6%
卸売	26 37.7%	44 63.8%	18 26.1%	12 17.4%	10 14.5%	8 11.6%	0 0.0%	24 34.8%
小売	34 51.5%	46 69.7%	21 31.8%	9 13.6%	10 15.2%	8 12.1%	2 3.0%	18 27.3%
情報通信	15 51.7%	16 55.2%	12 41.4%	8 27.6%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%
飲食・宿泊	10 32.3%	16 51.6%	7 22.6%	2 6.5%	8 25.8%	7 22.6%	2 6.5%	5 16.1%
サービス	23 52.3%	17 38.6%	15 34.1%	5 11.4%	2 4.5%	3 6.8%	1 2.3%	4 9.1%
建設	31 68.9%	29 64.4%	14 31.1%	16 35.6%	1 2.2%	4 8.9%	1 2.2%	13 28.9%
観光関連	15 36.6%	28 68.3%	14 34.1%	5 12.2%	6 14.6%	7 17.1%	3 7.3%	5 12.2%
	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	その他	有効回答	無回答	
全業種	43 8.1%	61 11.4%	28 5.2%	63 11.8%	31 5.8%	534 100.0%	5	
製造業	26 10.4%	26 10.4%	12 4.8%	25 10.0%	12 4.8%	250 100.0%	1	
西陣	1 4.2%	3 12.5%	1 4.2%	2 8.3%	0 0.0%	24 100.0%	0	
染色	3 8.8%	4 11.8%	1 2.9%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%	0	
印刷	2 6.7%	3 10.0%	2 6.7%	2 6.7%	0 0.0%	30 100.0%	0	
窯業	2 10.5%	3 15.8%	3 15.8%	4 21.1%	1 5.3%	19 100.0%	0	
化学	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	4 17.4%	5 21.7%	23 100.0%	0	
金属	4 16.7%	1 4.2%	2 8.3%	0 0.0%	2 8.3%	24 100.0%	1	
機械	5 20.8%	5 20.8%	1 4.2%	2 8.3%	1 4.2%	24 100.0%	0	
その他の製造	5 6.9%	5 6.9%	2 2.8%	8 11.1%	2 2.8%	72 100.0%	0	
非製造業	17 6.0%	35 12.3%	16 5.6%	38 13.4%	19 6.7%	284 100.0%	4	
卸売	2 2.9%	6 8.7%	0 0.0%	5 7.2%	7 10.1%	69 100.0%	1	
小売	0 0.0%	10 15.2%	5 7.6%	7 10.6%	4 6.1%	66 100.0%	1	
情報通信	5 17.2%	6 20.7%	3 10.3%	4 13.8%	3 10.3%	29 100.0%	0	
飲食・宿泊	1 3.2%	6 19.4%	1 3.2%	6 19.4%	3 9.7%	31 100.0%	2	
サービス	6 13.6%	6 13.6%	2 4.5%	11 25.0%	1 2.3%	44 100.0%	0	
建設	3 6.7%	1 2.2%	5 11.1%	5 11.1%	1 2.2%	45 100.0%	0	
観光関連	0 0.0%	6 14.6%	1 2.4%	7 17.1%	4 9.8%	41 100.0%	2	

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	13	(2.4)
明治	17	(3.2)
大正	10	(1.9)
昭和19年以前	30	(5.6)
20～39年	205	(38.0)
40～29年	92	(17.1)
昭和50年以降	91	(16.9)
平成	81	(15.0)
無回答	0	(0.0)
不明	0	(0.0)
合計	539	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	531	(98.5)
個人	8	(1.5)
無回答	0	(0.0)
合計	539	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	251	(46.6)	非製造業	288	(53.4)
西陣	24	(4.5)	卸売	70	(13.0)
染色	34	(6.3)	小売	67	(12.4)
印刷	30	(5.6)	情報通信	29	(5.4)
窯業	19	(3.5)	飲食・宿泊	33	(6.1)
化学	23	(4.3)	サービス	44	(8.2)
金属	25	(4.6)	建設	45	(8.3)
機械	24	(4.5)	不明	0	(0.0)
その他の製造	72	(13.4)	合計	539	(100.0)

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）

43 (8.0)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～100万円	1	(0.2)	3001～5000	84	(15.8)
101～200	0	(0.0)	5001～1億円	47	(8.9)
201～500	40	(7.5)	1億円超	11	(2.1)
501～1000	199	(37.5)	無回答	0	(0.0)
1001～3000	149	(28.1)	合計	531	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0～4人	67	(12.4)	50～99人	70	(13.0)
5～9人	93	(17.3)	100人以上	45	(8.3)
10人～19人	109	(20.2)	無回答	0	(0.0)
20人～29人	70	(13.0)	合計	539	(100.0)
30～49人	85	(15.8)			

第100回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成23年9月5日（月）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名									
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話		—	
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)				年	従業員数			人
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造								
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設								
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。								
主な製品、商品、サービス									
御記入者	部課：		役職：			氏名：			

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期 間	平成23年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			平成23年10月～12月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴社の業況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益（税引前）		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価、販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製品・商品在庫量		過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同業他社との競争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | | |

（裏面も御記入ください。）

(5) 貴社の求人ニーズについてお尋ねします。

A. 現在及び今年度末までの間で求人予定はありますか。下記から一つを選び、○印を付けてください。

1 求人募集の予定がある	2 求人募集の予定はない	3 未定
--------------	--------------	------

B. Aで「1 求人募集の予定がある」と回答された方にお尋ねします。

<求人内容>

求人予定数及び雇用形態の内訳、年齢層の内訳はどのようなものですか。下表の当てはまるものすべてに予定人数を記入してください。

	職 種							
	営業職	専門・技術職	サービス職	事務職	企画職	労務・作業員	管理職	その他
求人予定数	人	人	人	人	人	人	人	人
(雇用形態の内訳)								
正規	人	人	人	人	人	人	人	人
非正規	人	人	人	人	人	人	人	人
正規・非正規を問わない	人	人	人	人	人	人	人	人
(年齢層の内訳)								
新卒	人	人	人	人	人	人	人	人
既卒3年以内	人	人	人	人	人	人	人	人
若年(30代まで)	人	人	人	人	人	人	人	人
中年(50代まで)	人	人	人	人	人	人	人	人
高年(60代以上)	人	人	人	人	人	人	人	人
年齢層を問わない	人	人	人	人	人	人	人	人

<求人予定時期>

求人を予定している時期はいつ頃ですか。 → 募集：()年()月頃 採用：()年()月頃

C. Aで「2 求人募集の予定はない」と回答された方にお尋ねします。

求人予定がない理由を下記から選び、○印を付けてください。(複数回答可(最大3つまで))

1 既存社員で充足しているから	2 教育・育成ができないから	3 採用業務が負担だから
4 事業拡大を予定していないから	※5を選択した方はいずれかに○を付けてください	
5 売上の減少など事業が停滞しているから	→ [主に震災による要因 ・ 震災以外の要因]	
6 その他 ()		

(6) 雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズのミスマッチ)についてお尋ねします。

ミスマッチの原因はどこにあるとお考えですか。以下の事例を参考にして、自由に記入してください。

例：採用側の課題(広報・周知不足、採用計画不足、過度な厳選採用等)

求職者側の課題(大企業・ブランド志向、企業研究の不足、一般常識の欠如等)

就職活動環境の課題(WEBサイトによる就職活動の偏り、職業教育の不足等)

--

(7) 雇用、人材育成面で、行政に求める施策についてお尋ねします。

下記から選び、○印を付けてください。(複数回答可(最大3つまで))

1 企業説明会等のマッチング機会の提供	2 雇用関連助成金(トライアル雇用奨励金など)の新設・充実
3 職業訓練の強化	4 雇用法制の規制緩和(雇用の流動化の促進など)
5 求職者の相談機関の充実	6 雇用・求人に関する企業の相談機関の充実
7 その他 ()	

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)